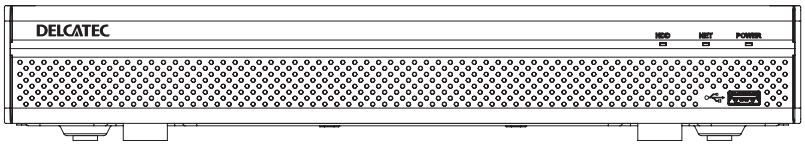
DELCATEC

取扱説明書

デジタルビデオレコーダー 屋内用

CCE3R421・CCE3R441・CCE3R461
CCE3R841・CCE3R881



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

- **この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巣、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。**

DXアンテナ株式会社

2022年12月　2.2版

もくじ

はじめに 2

安全上のご注意 5

使用上のお願い 8
- 録画について 8
- 使用上のご注意 8
- 商標について 8

用語 9
- このマニュアルで使われている用語 .. 9
- このマニュアルで使われている記号 .. 9

本製品の概要 10

管理画面について 11

準 備 12

準 備 12

接続方法 13

マウスの使い方 15

キーボード入力の方法 16

設 定 17

設定—初期設定 17

初期設定 18

ログイン・ログアウト 27
- ログイン 27
- ログアウト 29

シャットダウン 30
- シャットダウン 30

設定—カメラ映像を見る 31

ライブビュー画面 32
- ライブビューコントロールバー 33
- コンテキストメニュー 34
- シーケンスを設定する 35
- ナビゲーションバー 36

カメラを操作する 37
- パン・チルト・ズーム操作を行う .. 37

録画映像を再生する 38
- 再生画面について 38
- 基本的な再生方法 40
- タイムライン表示 40
- マークした映像を再生する 41
- イベントとして登録された映像を再生する 42
- ファイル管理画面 43

設定—録画設定をする 45

録画画質を設定する 46

録画スケジュールを設定する 48

設定—その他の使い方 51

録画データをバックアップする 52
- モニター管理画面で操作する場合 .. 52
- Web ブラウザ管理画面で操作する場合 55

データをバックアップする 57

アラームを設定する 58
- 動体検知の設定をする 58
- ビデオロスの設定をする 62
- マスキングの設定をする 65
- ビデオ診断の設定をする 68

映像を拡大して見る（デジタルズーム） 71

ツアー表示機能を使う 73

設定—設定リファレンス編 76

設定メニューについて 77
- メインメニュー画面 77

カメラ 78
- 画像 78
- エンコード 80
- オーバーレイ 83
- PTZ 86
- チャンネルタイプ 87
- 同軸アップグレード 88

ネットワーク 89
- TCP/IP 89
- ポート 90
- Wi-Fi 91
- 3G/4G 92
- PPPoE 93
- DDNS 94
- UPnP 95
- 電子メール 96
- SNMP 97
- マルチキャスト 98
- アラームセンター 99
- 自動登録 99
- P2P 100

ストレージ 101
- 基本設定 101
- スケジュール 102
- チャンネル 103
- 録画モード 104
- HDD 検出 105
- 録画計算 106
- FTP 108

システム 110
- 基本設定 110
- 日付時刻 111
- 休日設定 112

IP フィルタ 113
- セキュリティステータス 113
- システムサービス 114
- 攻撃防御 116
- CA 証明書 119
- A/V 暗号化 121
- セキュリティ警告 122

アカウント 124
- ユーザー 124
- グループ 127
- ONVIF ユーザー 128
- パスワードリセット 129

アラーム 130
- アラーム情報 130
- アラーム 131
- アラーム入力ポート 131
- アラーム出力ポート 131
- ビデオ検出 132
- 異常処理 134
- 解除 136

SMART 検出 137
- インテル検索 137
- パラメータ 138

メンテナンス 146
- ログ 146
- システム情報 147
- ネット情報 149
- 管理者 150

バックアップ 154
- バックアップ 154
- USB ストレージデバイスの フォーマット 155

出力表示 157
- 出力表示 157
- ツアー 158
- 孫画面設定 158

音声 159
- ファイル管理 159
- 自動出力 161

設定—ブラウザから Web 管理画面にアクセスする 162

Web 管理画面について 163

設定メニューについて 164

メインメニュー画面 164

メニュー画面の基本操作 165

ライブビュー画面 166

メニュー一覧 168

その他 173

その他—こんなときは 173

共通 174

Web 管理画面 177

その他—付録編 178

使用上のご注意 179

設置上のご注意 181

このマニュアルについて 182

動作環境 183

各部の名称とはたらき 184

パソコンの IP アドレスの確認方法 186

Windows10 の場合 186

サポートサービスについて 187

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

⚠危険	この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険が切迫して生じる可能性が想定される内容を示しています。
⚠警告	この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

一般的な注意事項	水ぬれ禁止	接触禁止	指示を守る
一般的な禁止事項	分解禁止	ぬれ手禁止	プラグを抜く

⚠警告

指定の電源で使用する
- 必ず付属の電源ケーブル・専用 AC アダプターを使用する。
  他の機器の電源ケーブルや AC アダプターなどを使用すると火災や感電の原因となります。
- 付属の電源ケーブル・専用 AC アダプターは AC100V（50/60Hz）コンセントを使用する。
  100V 以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。

ケーブルに無理な力を加えたり、傷つけたりしない
- ケーブル類は、傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、重いものを載せる、加熱する（熱器具に近づける）、引っぱるなどをしない。
  電源コードなどが傷んだときは（心線の露出、断線など）、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。そのまま使用すると火災や感電などの原因となります。

通風孔をふさいだり、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだりしない
火災や感電の原因となります。

結露した状態で使用しない
故障の原因となります。
電源を切り、結露がとれたあとで、電源を供給し直してください。

ぬれた手でさわらない
感電の原因となります。

雷が鳴り出したら本体やコードに触れない
感電の原因となります。

分解、改造、修理はしない
感電・火災・故障の原因となります。
故障した場合は、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。

⚠お手入れは、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜き行う
感電の原因となります。

⚠警告

異常があるときは、すぐに使用を中止する
次のような異常時は、電源プラグ・AC アダプターをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、工事店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。
- 煙がでる、変な臭いがする
- 内部に水や昆虫、物が入った
- 異音が鳴る
- 電源プラグ・AC アダプターのコードや本体の外部が破損、劣化している

火災、感電、けが、故障の原因となります。

長期間使用しないときは、安全のため必ず電源プラグ・AC アダプターを AC コンセントから抜く
火災の原因となります。

電源プラグ・AC アダプターは、風通しの悪い場所で使用しない
風通しを悪くすると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
- 押入れ、本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする
- 布や布団でおおったり、包んだりする

電源プラグ・AC アダプターに水をかけたり、濡らしたりしない
また、AC アダプターの上に水や薬品の入った容器を置かない
水や薬品が中に入った場合、火災や感電の原因となります。また、ペットなどの動物が AC アダプターの上に乗らないように注意してください。尿や糞が中に入った場合、火災や感電の原因となります。

電源プラグ・AC アダプターは、AC コンセントに根元までしっかりと差し込む
すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、AC アダプターは定期的に AC コンセントから抜いて掃除してください。

万一、AC アダプターを落としたり、破損したりした場合、電源プラグ・AC アダプターを AC コンセントから抜いて販売店に連絡する
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源プラグ・AC アダプターを AC コンセントから抜くときは、コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。必ず電源プラグ・AC アダプター本体を持って抜いてください。

本製品を移動する場合、必ず電源プラグ・AC アダプターを AC コンセントから抜く
コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。

本製品にホースなどで直接水をかけない
火災や感電の原因となります。

雷の発生が予想されるときは、前もって、電源プラグ・AC アダプターを AC コンセントから抜く
落雷によって、火災の原因となることがあります。

電源（AC100V）を入れたまま配線工事をしない
火災や感電の原因となります。

雷のときは配線工事をしない
感電の原因となります。

⚠警告

次の場所に設置しない

- 強度の不足する場所、不安定な場所
  落下や転倒によるけがの原因となります。
- 継続的に振動が発生する場所（工事現場など）
  落下や転倒によるけがの原因となります。
- 人や車両の通行の妨げになる場所
  ぶつかったり、接触したりして、けがや破損の原因となります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湿気やホコリの多い所
  火災や感電、故障の原因となります。
- 浴室やシャワー室、プールなどの湿気の多い所
  湿気や湯気による故障の原因となります。
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所
  取付部が劣化し、落下によるけがや事故、故障の原因となります。
- 可燃性ガスが発生している場所
  爆発によるけがの原因となります。
- 可燃物のそば
  - わらぶき屋根の軒下
  - ベランダなど、洗濯物や布団などが機器に触れる場所
  - 風により可燃物が飛んできて機器を覆う恐れのある場所
  - 油脂類などの可燃物のそば

  火災の原因となります。

設置、点検時は次のことに注意する

- 設置や配線、点検時は電源を切ってから作業する。
  感電やショート・誤配線による火災の原因となります。
- 本体や部品、工具類を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
  けがや故障の原因となります。
- ケーブル類は正しく配置する。
  引っ掛けると落下や転倒によるけが、故障の原因となります。

電源工事が必要な場合は、電気工事が行えるお買い上げの販売店または工事店に依頼する

電気工事士の資格がない場合、電気工事をすることは、法律で禁止されています。

乳幼児の手の届く場所に付属品などを置かない

乳幼児が付属品などを飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

コードをステップルなどで固定する場合は、被ふくが変形しないように固定する

ショートや断線により、漏電、感電、火災、故障の原因となります。

お手入れの注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。
溶けたり、変形や変色の原因となります。

使用上のお願い

録画について

本製品の故障や誤動作などの原因によって、本製品の内蔵メモリに正常に録画できなかった内容の補償、録画した内容の損失、直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。内蔵メモリの書き込み回数は、約 1000 回です。（ただし、使用環境によって異なります。）

使用上のご注意

- 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
- 停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して使用してください。

商標について

- iOS の商標は、米国 Cisco のライセンスに基づき使用されています。
- Android、アンドロイドは、Google.LLC の商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

用語

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	デジタルビデオレコーダー「CCE3R シリーズ」を称して「本製品」と表記しています。
4ch モデル	最大 4 チャンネルの映像入力を行える機種です。 型番：CCE3R421 ／ CCE3R441 ／ CCE3R461
8ch モデル	最大 8 チャンネルの映像入力を行える機種です。 型番：CCE3R841 ／ CCE3R881

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
✎	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
4ch	4ch モデルの機種のみ該当する記述です。 型番：CCE3R421 ／ CCE3R441 ／ CCE3R461
8ch	8ch モデルの機種のみ該当する記述です。 型番：CCE3R841 ／ CCE3R881

本製品の概要

本製品は、ハードディスク搭載デジタルビデオレコーダーです。本製品と当社監視カメラ（CCE3C シリーズ）を接続することで、すぐに利用いただくことが可能です。

●PoC 対応
カメラ接続用ポートはすべて PoC（Power over Coaxial）に対応。PoC 対応カメラに同軸ケーブルを接続することで給電することができます。

●USB ポート
USB ポートを搭載し、USB メモリーを挿すことで映像の書き出しができます。

●カメラ設定
接続しているカメラの設定を、本製品の管理画面から簡単に変更することができます。

●DDNS サービス
ダイナミック DNS サービス「SkyLinkDDNS」に対応し、IP アドレスが変更されても同一カメラの映像を見ることが可能です。

●モバイル用アプリ対応
以下のモバイル用アプリに対応し、スマートフォンや（Android/iOS 版）タブレットから監視カメラのライブビュー・録画再生映像を見ることができます。

モバイル用アプリ
・Android 版：Easy Viewer Pro
・iOS 版：Easy Viewer Plus

●本書に記載されているイラスト、画面などは開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

管理画面について

本製品の管理画面を表示する方法は以下の 2 通りあります。

●本製品に直接モニターを接続する方法（モニター管理画面）

●LAN 経由でパソコン上のウェブブラウザから操作する方法（Web 管理画面）

LAN 経由でアクセスする方法（Web 管理画面）については、「設定—ブラウザから Web 管理画面にアクセスする」（➡ 162 ページ）をご参照ください。

準 備

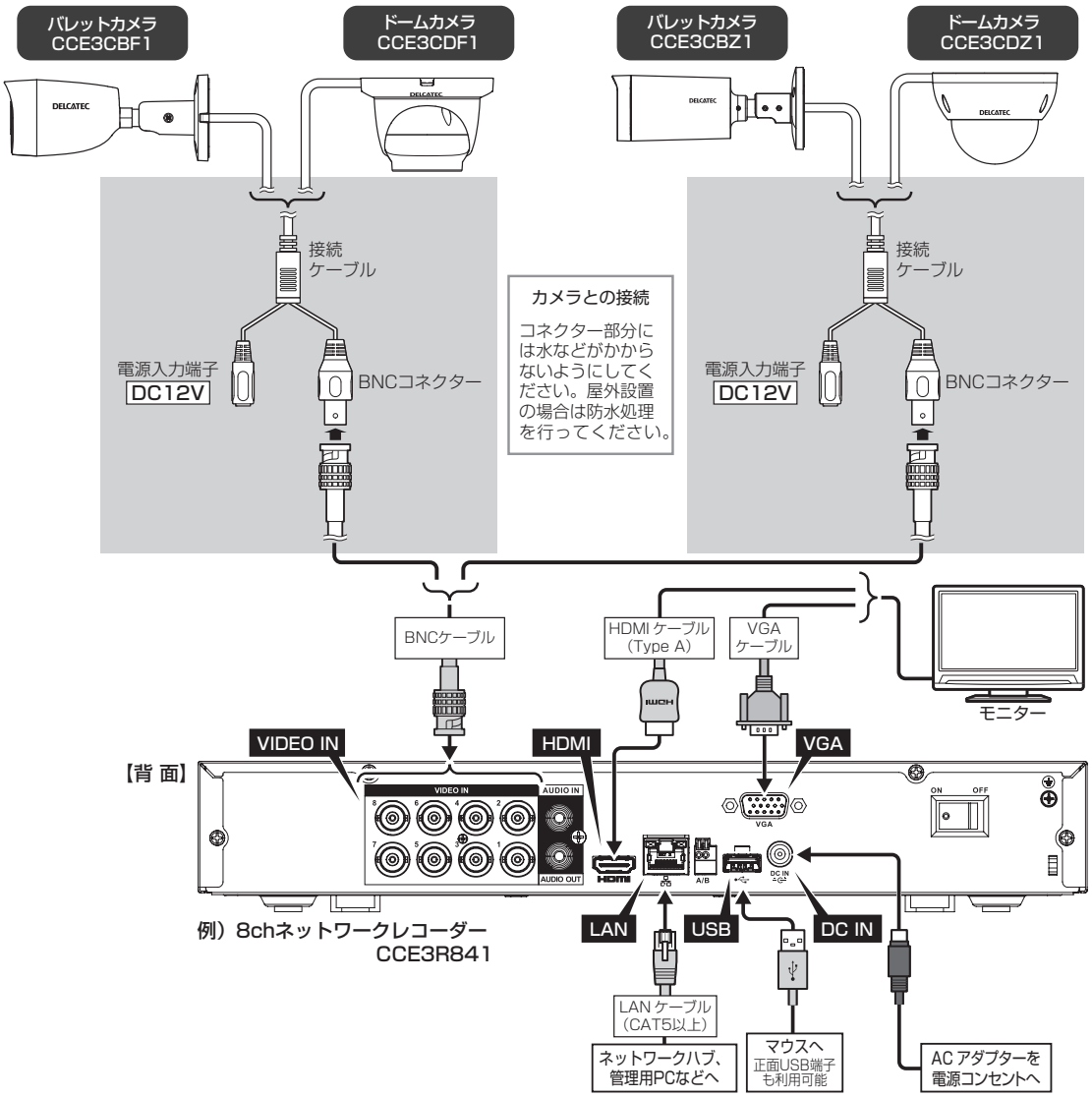
接続方法

■ CCE3R シリーズの接続例

各カメラの設置･接続方法は、カメラ付属の取扱説明書、またはユーザーズマニュアル（PDF 版）を参照してください。

重要 ＜モニター接続時の注意＞

- ●電源を入れる前に、必ず VGA または HDMI 端子にモニターを接続してください。
- ●デジタルビデオレコーダーの出力解像度は、HDMI 端子で 1920 × 1080、1280 × 1024、1280 × 720（4ch モデル未対応）に対応しています。VGA 端子で 1920 × 1080（4ch モデル未対応）,1280 × 1024（4ch モデル未対応）,1280 × 720 に対応しています。接続するモニターが上記解像度に対応していない場合は、接続する前にデジタルビデオレコーダーの出力解像度を設定してください。（➡ 157 ページ「出力表示」参照）



重要 ＜ VGA 接続時の注意＞

接続するモニターによっては、対応している信号であっても正しく表示できなかったり、まったく表示されない場合があります。モニター側の表示調整機能にて、調整をお試しください。（モニターや解像度によっては、調整を行っても正しい表示にはならない場合もあります。）

- ●CCE3C シリーズ同軸カメラは、カメラを本製品の VIDEO IN 端子に接続するだけで、ご利用いただけます。
- ●8ch モデルは、2 つのモニターをそれぞれ HDMI 端子と VGA 端子につなぐと、別のカメラ映像を映して運用することができます。（4ch モデルの場合は両方つなぐと、両方に同じ画面が映ります。）

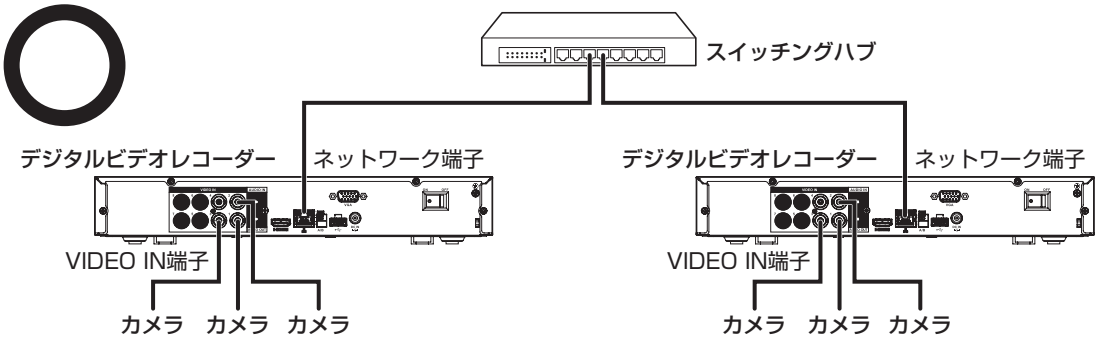
■同軸カメラの接続可能台数について

●バレットカメラ／ドームカメラ

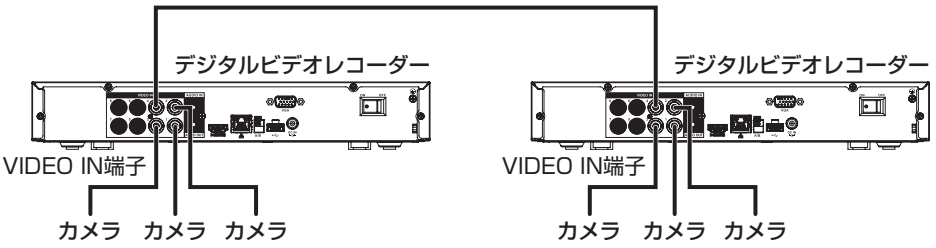
デジタルビデオレコーダー	バレットカメラ／ドームカメラ
4ch モデル	4 台まで
8ch モデル	8 台まで

同一ネットワーク上に複数のデジタルビデオレコーダーを接続する場合

デジタルビデオレコーダーはスイッチングハブ経由でネットワーク端子で接続してください。デジタルビデオレコーダー同士を VIDEO IN 端子を利用して接続すると、誤動作の原因となります。



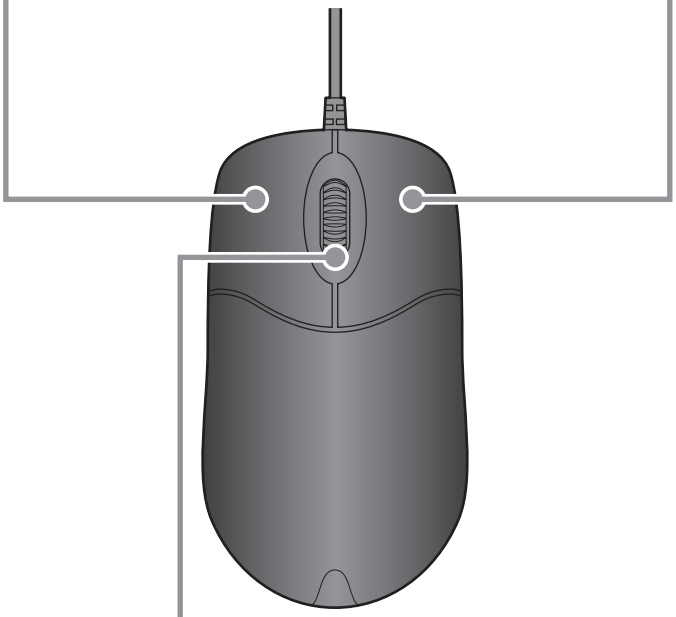
デジタルビデオレコーダー同士をVIDEO IN端子で接続しない。



マウスの使い方

左ボタン	
クリック	・メインメニューに移動
ダブルクリック	・ライブビューでフルスクリーン表示にする ・フルスクリーン表示から通常表示に戻す
ドラッグ	・動き検出範囲ウィンドウなどで範囲を設定

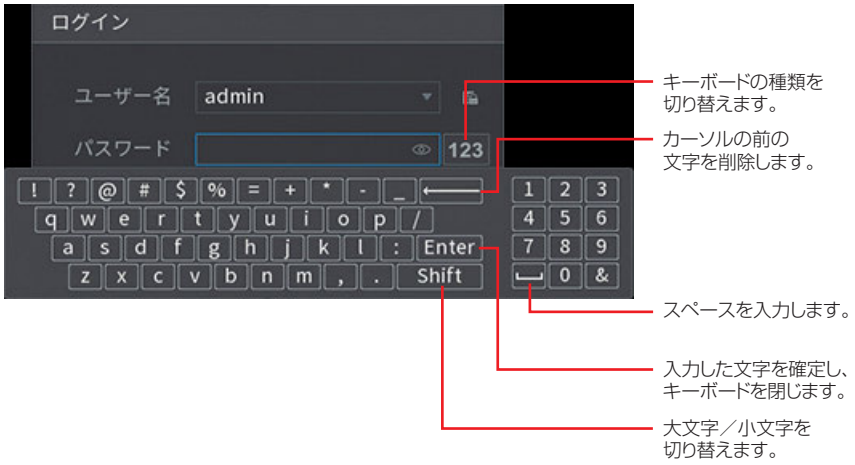
右ボタン	
右クリック	・コンテキストメニューの表示 ・ズームの終了 ・ウィンドウを閉じる



ホイール	
回転	メニューのスクロールまたは、ビューの拡大

キーボード入力の方法

入力欄をクリックすると、ソフトキーボードが表示されます。マウスのカーソルを入力したい文字に合わせてクリックして文字を入力します。



入力後、「Enter」をクリックすると入力が確定します。

時間や年など数字のみの入力の場合は、テンキーだけが表示されます。

入力を確定するには、入力欄をクリックします。
テンキーが消え、入力が確定します。

本製品に USB キーボードを接続しても、ご利用になれません。

設定—初期設定

初期設定

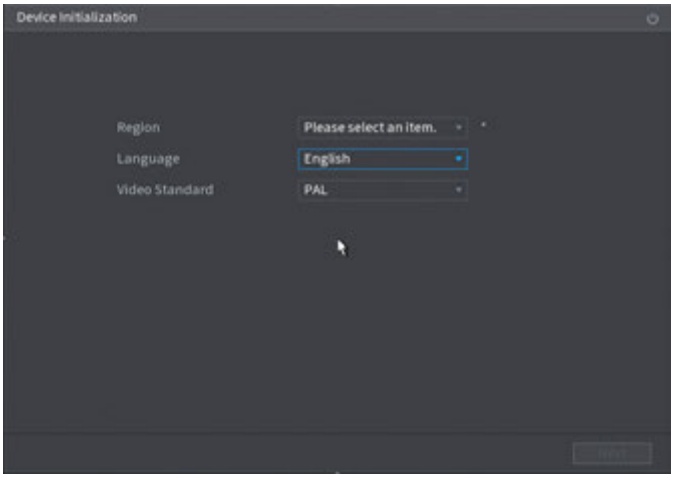
本製品の電源を入れると、モニターに初期設定ウィザードが表示されますので、画面に従って設定します。
●初期設定の内容は、後からでも設定できます。

重要 **電源を入れる前に、必ず VGA または HDMI 端子にモニターを接続してください。**

CCE3C シリーズ同軸カメラは、カメラを本製品の VIDEO IN 端子に接続するだけで、ご利用いただけます。

初めて電源を入れたときは、ご使用の地域を選択する英語表記の画面が表示されます。

初期設定中に「Resolution is automatically adjusted.」や「解像度が変更されました !」と表示された場合は、都度［OK］をクリックしてください。



※以下の手順に従って設定を完了すると、次回以降この画面は表示されません。

1 **一番上の項目“Region”のプルダウンメニューから“Japan”を選択します。**
“Language”欄に“日本語”、“Video Standard”欄に“NTSC”が自動的に表示されます。

2 画面右下の［Next］をクリックすると、再起動します。

再起動が完了すると「デバイス初期化」画面が表示されます。［次へ］をクリックします。

3 「時間帯」「時刻」を設定します。

時間帯・システム時刻の各欄に、現在の設定が表示されます（設定を変更する場合「日付時刻」設定 ➡ 111 ページ）。変更の必要がない場合はそのまま画面右下の［次へ］をクリックします。

4 「パスワード」を設定します。

ユーザー名は初期値の admin のままで、パスワードを設定します。（ユーザー名は後で変更が可能です。）

※パスワードは数字・大文字・小文字・記号のうち、いずれか２つを組み合わせた８～32 文字で設定してください。（使用できない記号… ‘ “ : ; &）

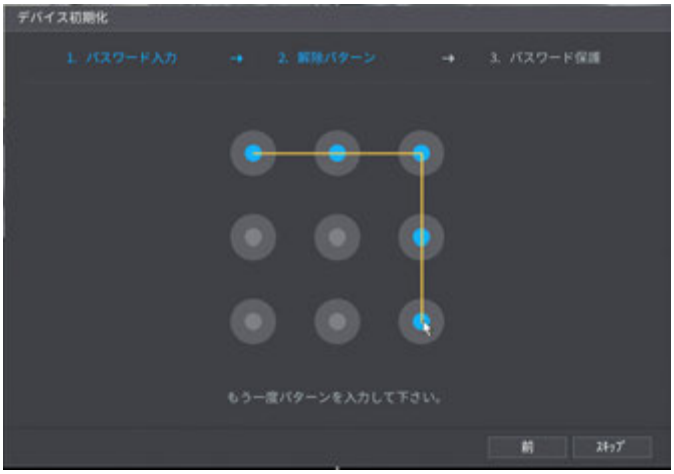
「パスワードアシスト」欄の入力は任意です。設定すると、ログイン画面に入力したヒントが表示されます。
パスワードを思い出すヒントとなるものを入力してください（例：Taro's birthday など）。
※パスワードアシストは英数字・記号が入力できます。
※パスワード自体をこの欄に入力しないでください。

パスワードを入力後、画面右下の［次へ］をクリックします。

5 「解除パターン」を設定します（任意）。

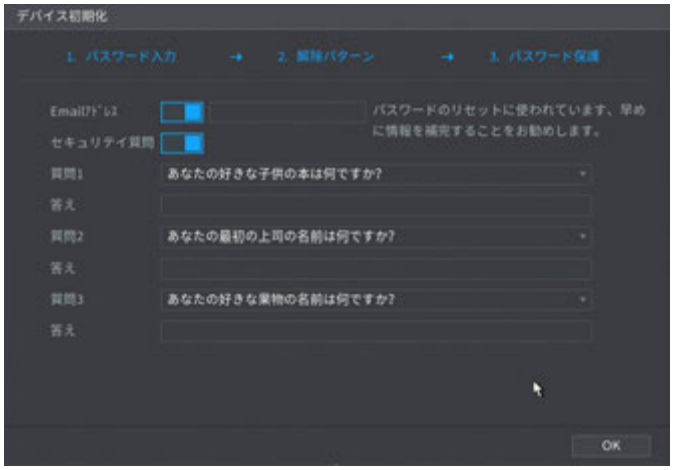
本機に接続したマウスでクリック＆ドラッグしながら、〇を結ぶお好きなパターンを設定します。

※確認のため同じパターンを２回入力する必要があります。



6 「パスワード保護」を設定します。

パスワードを忘れた際、パスワードをリセットするための設定を登録します。



※各項目の横にあるスライダーをクリックすると、使用する･使用しないを切り替えることができます。(使用する…青、使用しない…グレー表示)

＜ Email アドレス＞　パスワードリセットの際に使用するメールアドレスを入力します。

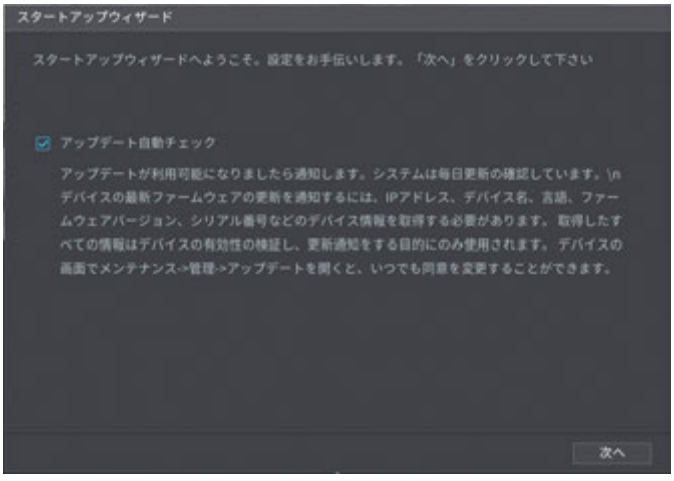
＜セキュリティ質問＞　パスワードリセットの際、確認に使用する質問と回答を設定します。
質問 1 ～ 3 をそれぞれ選び、各回答を入力します。英数字と記号のみ入力できます。

Email アドレス・セキュリティ質問は、初期設定終了後に変更することも可能です。
変更の方法については［アカウント］＞［パスワードリセット］(➡ 129 ページ) を参照してください。

設定後、画面右下の［OK］をクリックします。

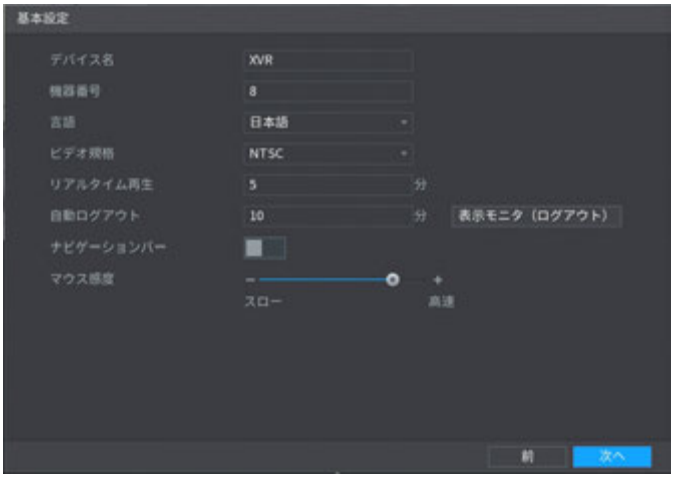
7 「スタートアップウィザード」画面が表示されます。

アップデートの自動チェックについての説明が表示されますので内容を確認し、画面右下の［次へ］をクリックします。
変更の方法については［メンテナンス］＞［管理者］＞［アップデート］(➡ 153 ページ) を参照してください。



8 「基本設定」画面が表示されます。

必要に応じて内容を変更し、画面右下の［次へ］をクリックします。
変更の方法については［システム］＞［基本設定］（➡ 110 ページ）を参照してください。

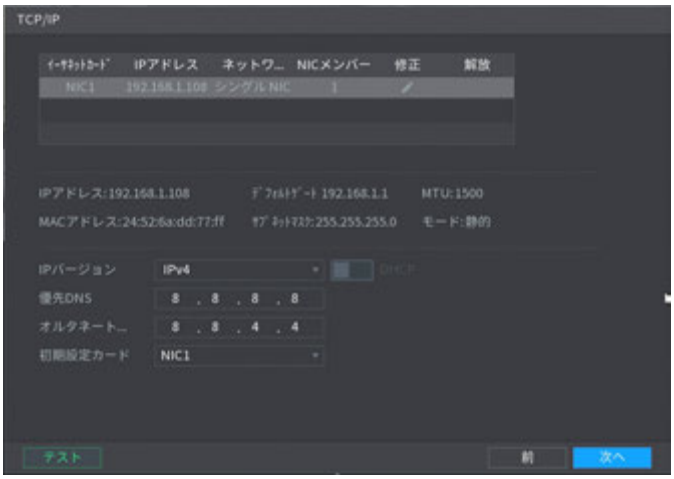


9 「日付時刻」設定画面が表示されます。

必要に応じて内容を変更し、画面右下の［次へ］をクリックします。
変更の方法については［システム］＞［日付時刻］（➡ 111 ページ）を参照してください。

10 「TCP/IP」設定画面が表示されます。

必要に応じてネットワークの設定を行い、画面右下の［次へ］をクリックします。
変更の方法については［ネットワーク］＞［TCP/IP］（➡ 89 ページ）を参照してください。



11 「P2P」設定画面が表示されます。

デバイスのリモート管理を行う場合に設定します。

スライダーをクリックすると、使用する・使用しないを切り替えることができます。

リモートで映像を見ない、クローズド環境で使用する場合は「有効」をオフ（グレー表示）にしてください。

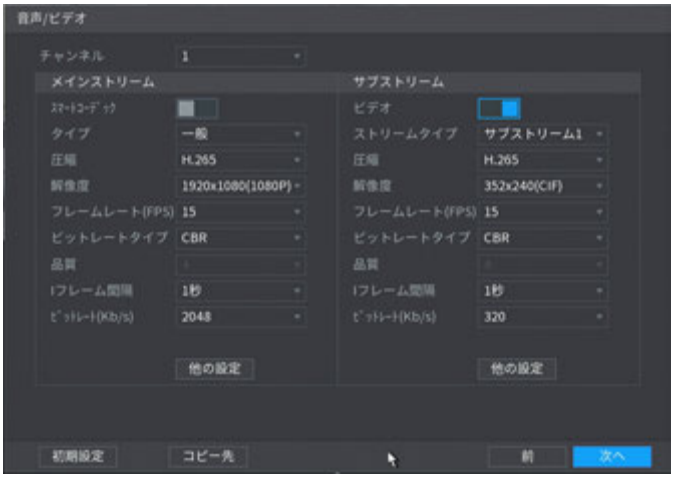
変更の方法については［ネットワーク］＞［P2P］（➡ 100 ページ）を参照してください。

必要に応じて設定を行い、画面右下の［次へ］をクリックします。

12 「音声／ビデオ設定」画面が表示されます。

メインストリーム・サブストリームの解像度やビットレートなどをチャンネルごとに設定することができます。

変更の方法については［カメラ］＞［エンコード］＞［音声 / ビデオ］（➡ 80 ページ）を参照してください。

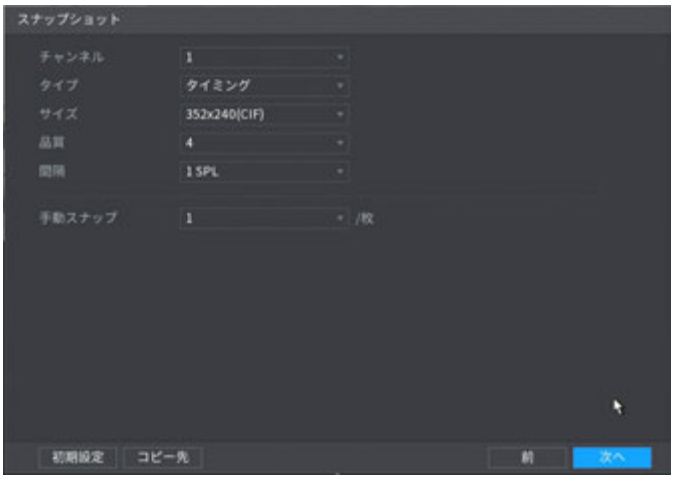


必要に応じて設定を行い、画面右下の［次へ］をクリックします。

13「スナップショット」設定画面が表示されます。

スナップショットの画質やファイルサイズなどをチャンネルごとに設定することができます。

変更の方法については［カメラ］＞［エンコード］＞［スナップショット］（➡ 82 ページ）を参照してください。



必要に応じて設定を行い、画面右下の［次へ］をクリックします。

14「基本設定」画面が表示されます。

HDD の容量が一杯になったときの対応を設定をすることができます。

変更の方法については［ストレージ］＞［基本設定］＞（➡ 101 ページ）を参照してください。

必要に応じて設定を行い、画面右下の［次へ］をクリックします。

15 「録画設定」画面が表示されます。

録画スケジュールを、チャンネルごとに設定することができます。

変更の方法については［ストレージ］＞［スケジュール］＞［録画］＞（➡ 48 ページ）を参照してください。

必要に応じて設定を行い、画面右下の［次へ］をクリックします。

16 「スナップショット」画面が表示されます。

録画と同様に、スナップショットの撮影スケジュールをチャンネルごとに設定することができます。

変更の方法については［ストレージ］＞［スケジュール］＞［スナップショット］＞（➡ 48 ページ）を参照してください。

必要に応じて設定を行い、画面右下の［終了］をクリックします。

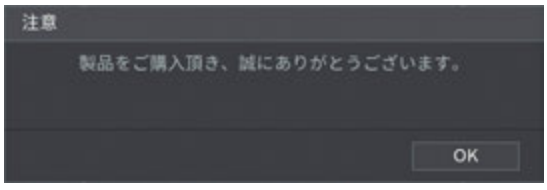
17 解像度の自動設定が行われます。

［OK］をクリックすると、解像度を変更します。

※モニターの解像度により自動設定しない場合があります。

18 スタートアップウィザードが完了します。

［OK］をクリックすると、スタートアップウィザードが完了します。



初期設定が終了し、ライブビュー画面が表示されます。

●カメラは接続するだけで、特別な設定を行わなくても映像が表示され、録画も常時行われるようになります。

●カメラ映像が表示されるまで少し時間がかかる場合があります。

➡カメラ映像が表示されない場合は、「カメラを本製品に接続しても認識されない」（➡ 174 ページ）をご参照ください。

4ch モデルは 4 分割画面、8ch モデルは 9 分割画面が表示されます。

ログイン・ログアウト

ログイン

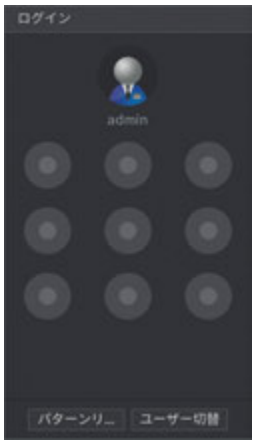
ログアウト状態からシステムを操作するには、以下のいずれかの方法でログインします。

解除パターンでログインする

※“admin”ユーザーのみのログイン方法です。“admin”以外のユーザーでログインする場合は、パスワードを入力してログインしてください（次ページ参照）。

1 ライブビュー画面を右クリックし、表示されたコンテキストメニューから「メインメニュー」をクリックします。

2 解除パターン入力画面が表示されるので、登録している解除パターンを入力します。



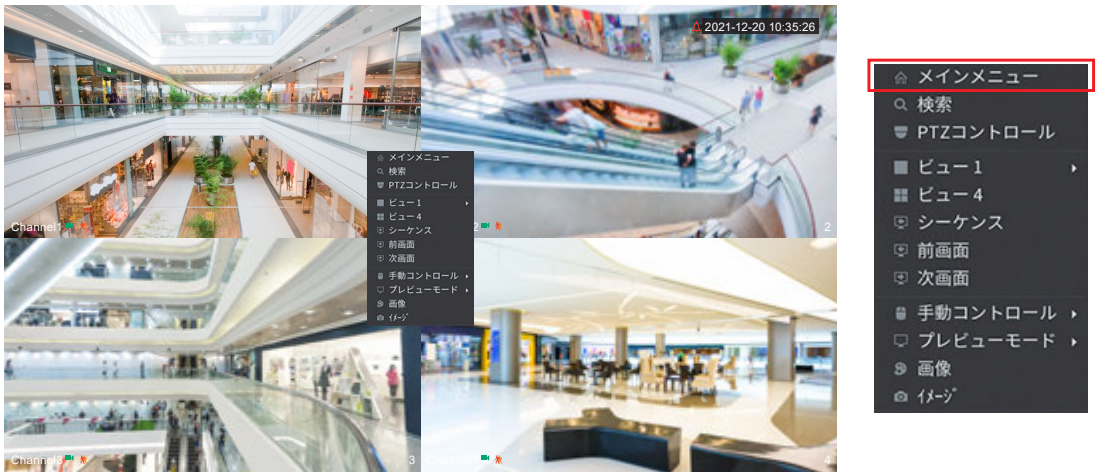
ログインに成功するとメインメニューが表示されます。

画面をライブ映像に切り替えるにはマウスを右クリックします。

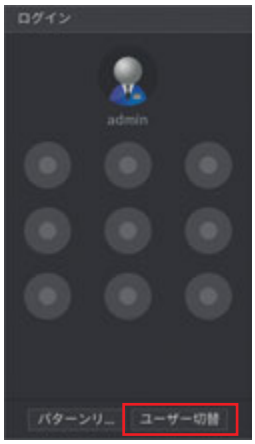
パスワード入力でログインする

パスワード入力を規定回数以上間違えると、そのユーザーアカウントはロックされ、30 分間ログインできなくなります。その場合は 30 分待ってから再度ログインするか、一度システムの電源を切ってから（30 ページ）、再び操作を行ってください。

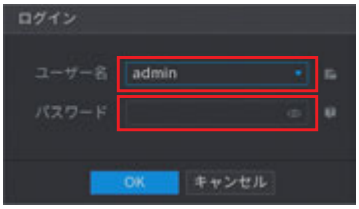
1 ライブビュー画面を右クリックし、表示されたコンテキストメニューから「メインメニュー」をクリックします。



2 解除パターン入力画面が表示されるので、画面下部の「ユーザー切替」をクリックします。



3 ユーザー名およびパスワードの入力画面が表示されるので、ログインするユーザー名をプルダウンから選び、パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



※“admin”は管理者権限が設定されたユーザー名です。

ログインに成功するとメインメニューが表示されます。

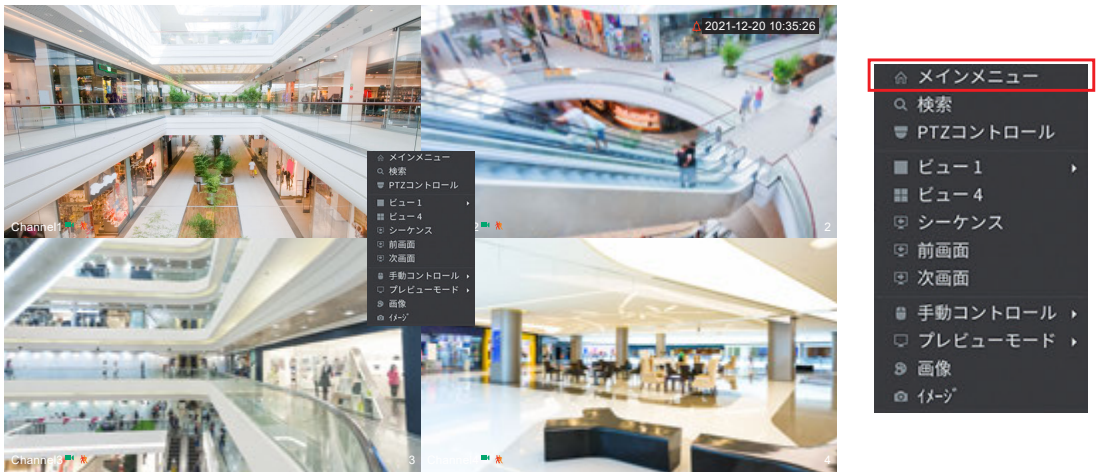
画面をライブ映像に切り替えるにはマウスを右クリックします。

ログアウト

セキュリティの観点から、ご使用後はログアウトされることを推奨致します。

一定時間以上操作が行われないと、自動的にログアウトされます。

1 ライブビュー画面を右クリックし、表示されたコンテキストメニューから「メインメニュー」をクリックします。



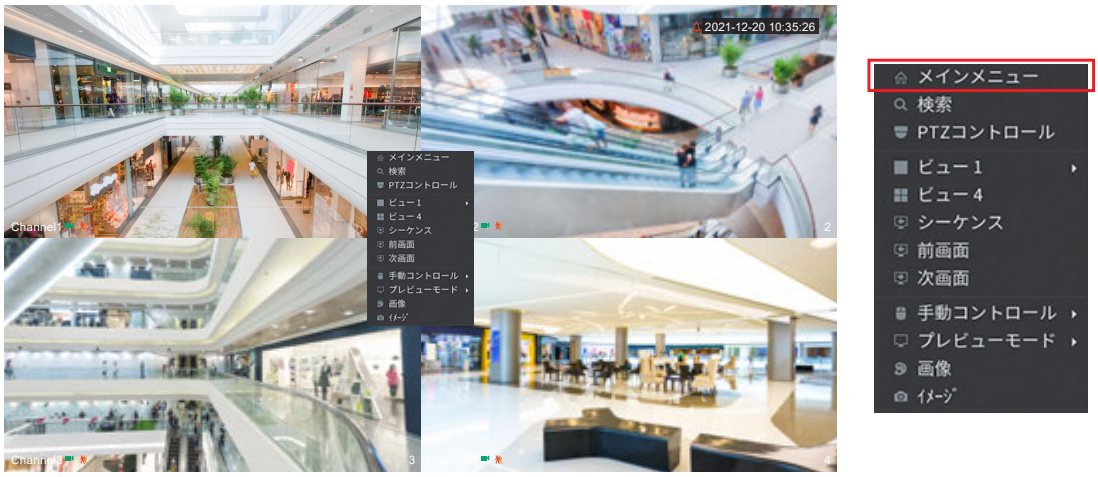
2 メインメニュー画面右上の をクリックし、表示されたプルダウンから「ログアウト」をクリックします。

シャットダウン

シャットダウン

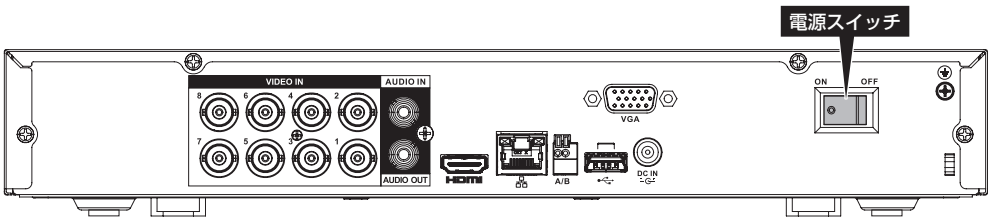
システムの電源を切る場合は、以下の手順で行います。

1 ライブビュー画面を右クリックし、表示されたコンテキストメニューから「メインメニュー」をクリックします。



2 メインメニュー画面右上の をクリックし、表示されたプルダウンから「シャットダウン」をクリックします。

3 画面に「電源をオフにしてください」のメッセージが表示されたら、レコーダー背面の電源スイッチを「OFF」にします。



再起動をする場合

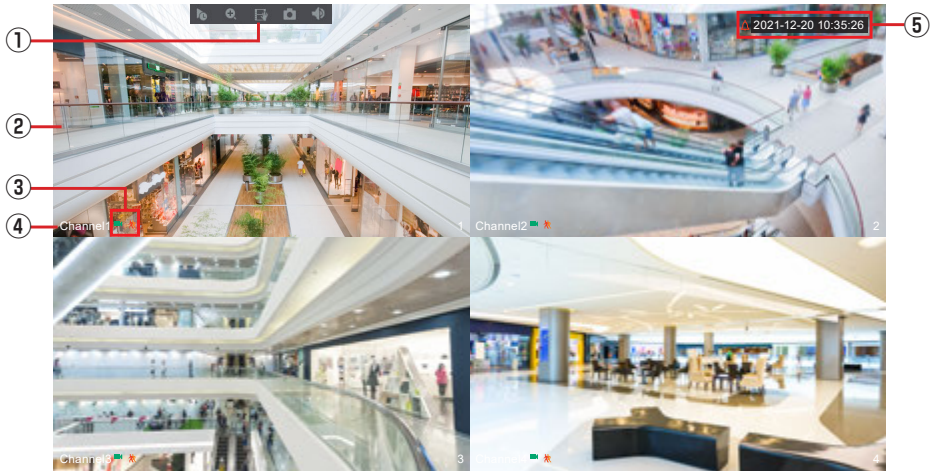
上記手順2で「再起動」をクリックします。

設定—カメラ映像を見る

ライブビュー画面

ライブビュー画面には接続しているカメラのライブ映像や動作状態などが表示されます。
（下図は画面表示が４分割表示に設定されている場合です。）
１画面表示にしたい場合は、１画面表示にしたい画面上でダブルクリックすると、表示が切り替わります。再度ダブルクリックすると４分割表示に戻ります。

※ダブルクリックが遅いとメインメニューが表示されます。メインメニュー画面を右クリックすると、ライブビュー画面に戻ります。



番号	項目	内容
①	**ライブビュー コントロールバー**	選択しているカメラに対するメニューです。各ライブビュー映像画面の上部中央付近にマウスカーソルを合わせると表示されます。 ※「ライブビューコントロールバー」（➡ 33 ページ）
②	**ライブビュー**	カメラの現在の映像が表示されます。
③	**状態アイコン**	カメラの状態をアイコンで示します。 録画中です。 動体を検知しています。 カメラの映像入力信号がありません。 カメラにロックが設定されています。 アカウントの「ライブ」（➡ 126 ページ）権限により、指定したカメラのライブ映像を表示させないよう設定されている場合に表示されます。
④	**カメラ名**	カメラの名称が表示されます。
⑤	**現在日時**	現在の日付と時刻を表示します。

ライブビューコントロールバー

ライブビュー画面でライブビュー映像の上部付近にマウスカーソルを合わせると、ライブビューコントロールバーが表示されます。

番号	項目	内容
①	**リアルタイム再生**	クリックすると、最新の録画映像を簡易的に再生します。 さかのぼる時間は 5 ～ 60 分に設定することができます（初期設定：5 分）。
②	**デジタルズーム**	クリック後、拡大表示したい範囲をドラッグすると拡大表示します。 右クリックで拡大表示を解除します。
③	**インスタントレコード**	接続した USB デバイスに録画映像をバックアップ保存します。 ※あらかじめ USB デバイスの接続およびセットアップが必要です。
④	**手動スナップ**	表示中の画面をキャプチャーし、接続した USB デバイスに保存します。
⑤	**ミュート**	クリックすると、ミュートのオン／オフを切り替えます。 ※ 1 画面表示中のみ使用できる機能です。 ミュート中 ミュート解除中

ライブビューでは、同時に複数のカメラの音声を有効にはできません。

コンテキストメニュー

ライブビュー画面を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。

※例）8chモデルのコンテキストメニュー

番号	項目	内容	参照ページ
①	**メインメニュー**	メインメニュー画面を表示します。	77 ページ
②	**検索**	検索再生画面を表示します。	38 ページ
③	**PTZ コントロール**	パン・チルト・ズームの操作画面を表示します。	37 ページ
④	**ビュー〇（〇は数字）**	表示する分割画面の数を指定します。	—
⑤	**シーケンス**	ライブビューに表示するチャンネルの順序を入れ替えます。	35 ページ
⑥	**前画面・次画面**	ライブビュー映像をチャンネル番号順（前画面…逆送り・次画面…順送り）に手動で切り替えて表示します （1 画面表示と、8ch モデルの 4 画面表示で有効です）。	—
⑦	**手動コントロール**	**録画モード**：録画やスナップショットの設定を行います。 **警告モード**：（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）	104 ページ
⑧	**プレビューモード**	**一般**：顔リストを表示しません（通常の表示状態）。 **顔リスト表示**：画面下部に顔検出結果を表示します。	157 ページ
⑨	**画像**	レコーダー側で輝度・彩度などの映像調整を行います。 対象のチャンネルの画面枠内で右クリックすると、映像の調整画面が表示されます。	78 ページ

<table>
<tr><th>番号</th><th>項目</th><th>内容</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td>⑩</td><td>イメージ</td><td>カメラ本体側で輝度・彩度などの映像調整を行います。
対象のチャンネルの画面枠内で右クリックすると、映像の調整画面が表示されます。
※ライブビュー映像が表示されているチャンネルのみ設定できます。
<table>
<tr><td>ビデオ規格</td><td>ビデオ規格を選択できます。
※NTSC から変更しないでください。</td></tr>
<tr><td>解像度</td><td>カメラの解像度およびフレームレートを選択します。</td></tr>
<tr><td>輝度</td><td>画像の明暗を調節できます。</td></tr>
<tr><td>コントラスト</td><td>画像の明るい部分と暗い部分の差を調節できます。</td></tr>
<tr><td>彩度</td><td>画像の色の濃さを調節できます。</td></tr>
<tr><td>シャープネス</td><td>画像の輪郭を強調できます。</td></tr>
<tr><td>ガンマ</td><td>画像の明暗部の強調度合を変更できます。</td></tr>
<tr><td>反転</td><td>画像を反転できます。</td></tr>
<tr><td>昼／夜</td><td>白黒、カラー、自動（夜や暗い場所で白黒に変更）を選択できます。</td></tr>
<tr><td>デフォグ</td><td>霧を除去して被写体を見やすくできます。</td></tr>
</table></td><td>—</td></tr>
</table>

シーケンスを設定する

1 ライブビューのカメラ映像を右クリックし、コンテキストメニューから「シーケンス」をクリックします。

分割画面の右側に「シーケンス」のチャンネルリストが表示されます。

※例）8chモデルのシーケンスチャンネルリスト

2 任意のチャンネルをドラッグ＆ドロップして入れ替えます。

入れ替えたいチャンネルをチャンネルリストから左ドラッグで選択し、分割画面のビューの上でドロップすると、表示チャンネルを入れ替えることができます。分割画面のビューを別のビューにドラッグ移動しても入れ替えできます。

3 ［適応］をクリックし、入れ替えた画面設定を確定します。

ナビゲーションバー

ナビゲーションバーを表示させると、よく使う機能をライブビュー画面下部に表示させておくことができます。
※初期設定では「非表示」です。用途に合わせてお使いください。➡ 110 ページ「基本設定」

設定を「表示」にすると、ライブビュー画面でクリックしたとき、メインメニューに替わりナビゲーションバーが表示されるようになります。右クリックで非表示にできます。
※ナビゲーションバーとライブビューコントロールバーは同時に表示できません。

※例）8chモデルのナビゲーションバー

番号	項目	内容
①	**メインメニュー**	メインメニュー画面を表示します。
②	**表示切替**	ナビゲーションバーの縮小表示／展開表示を切り替えます。
③	**画面分割数**	チャンネルを選択して 1 画面のみ表示します。 4 分割表示します。 8 分割表示します。（8ch モデルのみ） 9分割表示します。（8ch モデルのみ）
④	**前画面／次画面**	ライブビュー映像をチャンネル番号順（前画面…逆送り・次画面…順送り）に手動で切り替えて表示します。
⑤	**ツアーコントロール**	シーケンス表示のオン／オフを切り替えます。 ツアーコントロールをオンにすると、設定した間隔で自動的に画面表示が切り替えられます。画面レイアウト、画面数、時間間隔は、［メニュー］－［メニュー］－［システム］－［画面表示］で設定することができます。「出力表示」（➡ 157 ページ） ツアーコントロールオフ ツアーコントロールオン
⑥	**お気に入り設定**	現在の画面表示設定に名前を付けて、お気に入りとして保存・呼び出しできます。
⑦	**PTZ コントロール**	パン・チルト・ズームの操作画面を表示します。※現在はご利用になれません。
⑧	**画像**	輝度・彩度など、映像の調整画面を表示します。
⑨	**検索**	検索再生画面を表示します。
⑩	**イベント**	カメラのアラーム状態とカメラの状態を表示します。
⑪	**チャンネル情報**	チャンネルごとのカメラの状態を表示します。
⑫	**ネットワーク**	TCP/IP 設定の画面を表示します。
⑬	**チャンネル**	ディスクマネージャー画面を表示します。
⑭	**USB を管理する**	USB 管理画面を表示します。

カメラを操作する

パン・チルト・ズーム操作を行う

電動可変焦点同軸カメラ CCE3CDZ1、CCE3CBZ1 の 2 機種は、ズーム制御・フォーカス調整を設置後に行うことができます。

お使いの機種にかかわらず、ズーム機能についてはデジタルズーム機能もご利用になれます。
※「映像を拡大して見る（デジタルズーム）」（➡ 71 ページ）

1 ライブビューのカメラ映像を右クリックし、コンテキストメニューから PTZ コントロールをクリックします。

2 PTZ 制御パネルでカメラを制御します。

番号	項目	内容
①	**カメラ方向**	矢印の方向に、カメラの撮影方向を移動させることができます。 （斜め方向はパン・チルト同時に機能します。） ※パン制御、チルト制御は将来の機能拡張用の設定項目となります。現在はご利用になれません。
②	**スピード**	カメラのパン、チルトの速度を調整できます。※現在はご利用になれません。
③	**ズーム**	ズームを操作します。ズームはマウスのホイールでも操作できます。クリックを押し続ける事で早い調整、ワンクリックで微調整が可能です。 （対応機種：CCE3CBZ1、CCE3CDZ1）
④	**PTZ 設定**	（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
⑤	**フォーカス**	フォーカスを操作します。クリックを押し続ける事で早い調整、ワンクリックで微調整が可能です。
⑥	**アイリス**	アイリス（絞り）を操作します。（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

より詳細な設定を行うこともできます。「PTZ」（➡ 86 ページ）

録画映像を再生する

再生画面について

1 ライブビュー画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから［検索］をクリックします。（または、メインメニューの「検索」をクリックします。）

2 再生画面が表示されます。

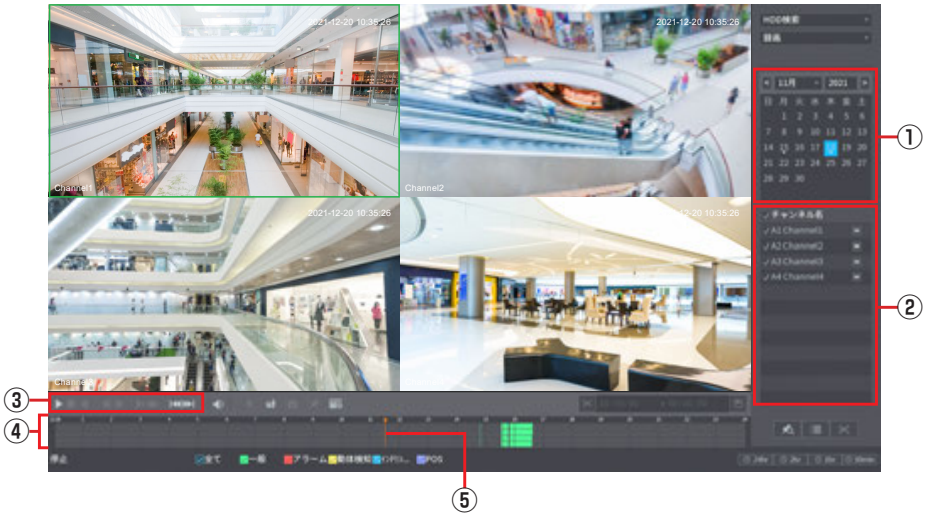
※4台のカメラの再生をしている画面例

番号	項目	内容
①	**映像表示部**	録画映像が再生表示されます。選択中の映像には緑色の枠が表示されます。 画面をダブルクリックするたび、1 画面表示→全画面表示→分割表示に切り替えることができます。
②	**音量**	にカーソルを合わせるとスライダーが表示されます。 スライダーを動かして音量を調節します。 をクリックすると に切り替わり、ミュートになります。

<table>
<tr><th>番号</th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>③</td><td>コントロール
パネル</td><td>再生操作に使用するボタンです。
<table>
<tr><td> </td><td>再生／一時停止</td></tr>
<tr><td> </td><td>停止</td></tr>
<tr><td> </td><td>逆再生</td></tr>
<tr><td> </td><td>前フレーム／次フレーム
一時停止中に押すと、前のフレーム／次のフレームにコマ送りします。</td></tr>
<tr><td> </td><td>スロー再生
再生中に押すと、スロー再生をします。押すたびに 1/2 倍速→ 1/4 倍速→ 1/8 倍速→ 1/16 倍速倍速の順に切り替わります。</td></tr>
<tr><td> </td><td>早送り
再生中に押すと、倍速再生をします。押すたびに 2 倍速→ 4 倍速→ 8 倍速→ 16 倍速の順に切り替わります。</td></tr>
<tr><td> </td><td>前日／翌日
録画検索の日付を前日／翌日に切り替えます。
※再生中に押した場合、再生は停止します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>④</td><td>タイムライン</td><td>選択中のカメラ（緑色枠）の再生位置などが表示されます。
※「タイムライン表示」（➡ 40 ページ）</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>ステータス表示</td><td>「再生」・「停止」・「一時停止」など、現在の再生状態が表示されます。</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>検索条件</td><td>録画データの保存先（HDD または USB デバイス）や、再生する対象を指定して絞り込みができます。</td></tr>
<tr><td>⑦</td><td>カレンダー</td><td>再生する年月日を選択します。
録画データがある日付の下部には白色の「•」が表示されます。</td></tr>
<tr><td>⑧</td><td>チャンネル選択</td><td>映像を停止中に、再生するカメラ（チャンネル）を指定できます。
各チャンネル名の横にある□（チェックボックス）をクリックするたび、選択／解除が切り替わります。
また、M をクリックすると、M（メインストリーム）・S（サブストリーム）のどちらで再生するかを選択できます。
上部にある「チャンネル名」の□をクリックすると、一括選択／解除できます。</td></tr>
<tr><td>⑨</td><td>マークリスト</td><td>マークリストを表示します。</td></tr>
<tr><td>⑩</td><td>ファイルリスト</td><td>ファイルリストを表示します。</td></tr>
<tr><td>⑪</td><td>全画面表示</td><td>全画面表示で再生します。右クリックで元の画面に戻ります。</td></tr>
<tr><td>⑫</td><td>マーク追加</td><td>再生中または一時停止中に をクリックすると、検索可能なマークが追加されます。</td></tr>
<tr><td>⑬</td><td>録画種別</td><td>再生する映像の録画種別を指定できます。
※「タイムライン表示」（➡ 40 ページ）</td></tr>
<tr><td>⑭</td><td>スライダー</td><td>ドラッグして再生位置を指定したり、録画映像をビューで確認できます。</td></tr>
<tr><td>⑮</td><td>ビデオクリップ</td><td>ビデオの一部を切り取ることができます。
再生中または一時停止中に、切り取りを開始したい位置で をクリックし、終了したい位置でもう一度クリックして指定します。
指定後、 をクリックすると保存先や保存内容などの詳細画面が表示されます。
［バックアップ］ をクリックすると切り取った映像を保存することができます。</td></tr>
<tr><td>⑯</td><td>表示時間単位</td><td>タイムラインの表示時間単位を24時間／2時間／1時間／30分に切り替えます。
※「タイムライン表示」（➡ 40 ページ）</td></tr>
</table>

基本的な再生方法

1 再生したい日付（①）やカメラ（②）を選びます。
録画データがある場合、タイムライン（④）上に録画種別ごとに色分けされたバーが表示されます。



※4台のカメラの再生をしている画面例

2 コントロールパネル（③）の「再生」をクリックするか、タイムラインのバーをクリックすると、録画映像の再生が始まります。

画面分割数は選んだチャンネル数で自動に選択されます。

再生中はタイムラインに白線と時刻が表示されます。

スライダー（⑤）を利用し、タイムライン上でスライダーをドラッグすると、録画映像を確認しながら再生スタート位置を決められます。

タイムライン表示

番号	項目	内容
①	**タイムライン**	選択中のカメラ（緑色枠）の状態が表示されます。 ※タイムライン上でドラッグすると、タイムラインの時間を動かすことができます。
②	**マーク追加**	再生中または一時停止中に をクリックすると、検索可能なマークが追加されます。
③	**録画種別**	再生する映像の録画種別を指定できます。 □（チェックボックス）にチェックをつけた録画種別のデータがプログレスバー上に表示されます。 （全て／一般／アラーム／動体検知／インテリジェンス／ POS）

番号	項目	内容
④	**スライダー**	ドラッグして再生位置を指定したり、録画映像をビューで確認できます。
⑤	**録画内容・時間**	通常録画された映像データは緑色、アラーム検知で録画された箇所は赤色、動体検知で録画された箇所は黄色で表示されます。再生中は白線と時刻が表示されます。
⑥	**表示時間単位**	タイムラインの表示時間単位を24時間／2時間／1時間／30分に切り替えます。

マークした映像を再生する

マーク（タグ付け）した映像を検索して再生することができます。

1 **マーク付けしたい日付（①）・カメラ（②）を選びます。**

2 **マーク付けしたい画像を再生します。**

3 **タイムラインの上側にある [マーク追加]（③）をクリックした時間に、マークが追加されます。**
マーク追加のウィンドウにマーク名を英数字記号で入力するか、初期設定をクリックし、初期設定名「Tag」を入力後、「OK」をクリックすると記録されます。「戻る」をクリックすると、すべてキャンセルされます。

4 **再生したい日付・カメラを選び、再生画面で画面右下の [マークリスト]（④）をクリックします。**
※録画映像が再生中の場合はクリックできません。再生を停止してから操作してください。
※チャンネル（カメラ）は1つのみ選択してください。複数選択すると検索できません。

5 「マーク時間タイトル」（⑤）にマーク付けしたタイトルのリストが表示されます。

タイトルをダブルクリックすると再生が始まります。

マークされた映像を検索するには以下の方法で行います。

1.検索するカメラを選択します。選択するカメラのチェックボックスにチェックを入れます。

2.マーク名で絞り込む場合は「マーク名」欄に入力します。

3.検索する日時の範囲を指定します。

4.［検索］ボタンをクリックします。

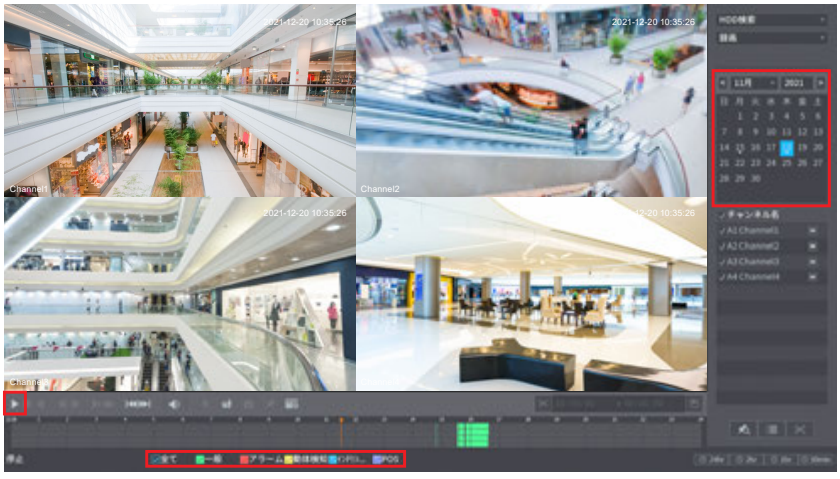
入力したマークに該当するタイトルがリスト表示されます。

イベントとして登録された映像を再生する

イベント別に映像を再生することができます。

1 **再生したいイベントを選びます。**

再生画面で、再生画面下にある録画種別［一般］［アラーム］［動体検知］［インテリジェンス］［POS］の中から、再生したいイベントの□（チェックボックス）にチェックをつけます。



2 **選択したイベントがタイムラインに表示されます。**

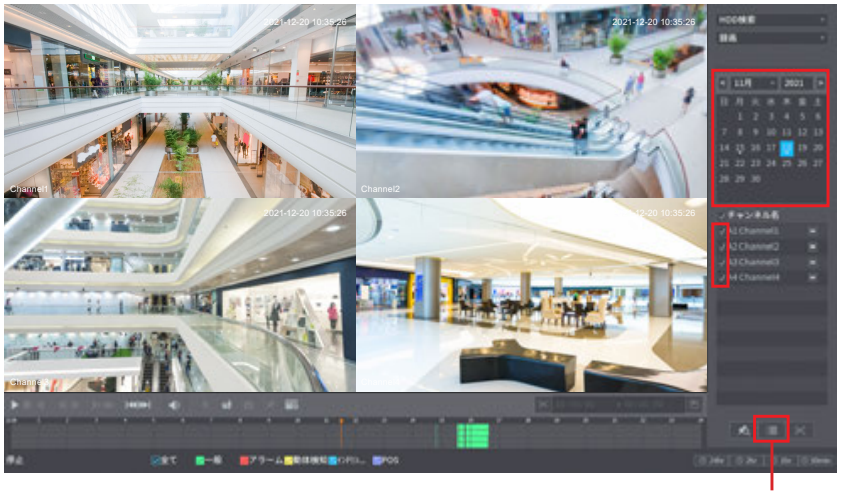
選択した条件に当てはまるイベントがタイムライン上に表示されます。

※画面右上のカレンダー上に、録画データがある日付の下部に白色の「·」が表示されます。日付をクリックすると選択した日付のタイムラインに切り替わります。

3 **再生ボタンをクリックすると再生を開始します。**

ファイル管理画面

[ファイルリスト] ボタンを押すと [ファイルリスト] が表示され、映像ファイルを USB ストレージにバックアップしたり、ロック（上書きしない）することができます。



ファイルリストボタン

ファイルをバックアップする

1 メインメニューの「検索」をクリックして再生画面を表示させ、リスト表示したい日付・カメラを選びます。

※ カメラ選択は 4 チャンネル以内としてください。
5 チャンネル以上を一度にリスト表示したい場合は「バックアップ」（➡ 52 ページ）を参照してください。

2 再生画面で画面右下の [ファイルリスト] をクリックします。

チャンネル別に録画ファイル一覧が表示されます。

※ ①のチャンネル切替の数字は、チャンネル番号ではありません。選択されたチャンネルに数字を順に割り振られた番号です。チャンネルの確認をするには、タイムラインをクリックし、再生状態にしてください。

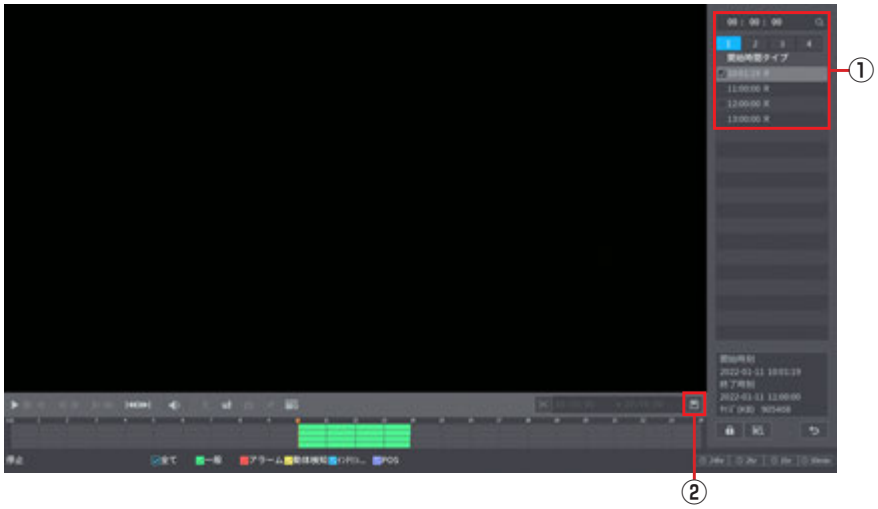
3 USB メモリを USB 端子に差し込みます。

[バックアップ] ボタンをクリックする前に差し込んでください。

4 保存したいファイルを選択し、保存します。

① チャンネル別のファイル一覧から、保存したいファイルのチェックボックスにチェックを入れます。

② [バックアップ] ボタンをクリックします。



ファイルの一部分だけ切り取った画像を保存したい場合は、クリッピング機能をご利用ください。
クリッピングの方法は「ビデオクリップ」（➡ 39 ページ）をご参照ください。

ファイルをロックする

1 メインメニューの「検索」をクリックして再生画面を表示させ、リスト表示したい日付・カメラを選びます。

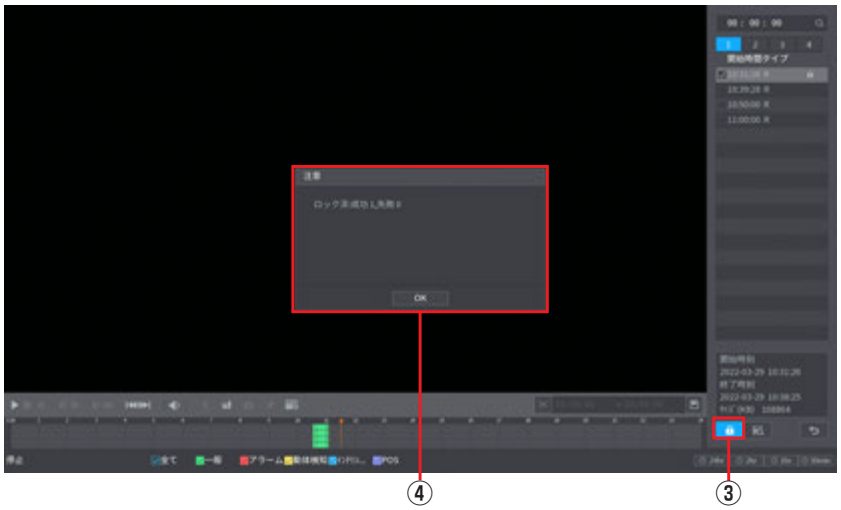
※カメラ選択は 4 チャンネル以内としてください。

2 再生画面で画面右下の［ファイルリスト］をクリックします。

チャンネル別に録画ファイル一覧が表示されます。

3 ロックしたいファイルを選択し、保存します。

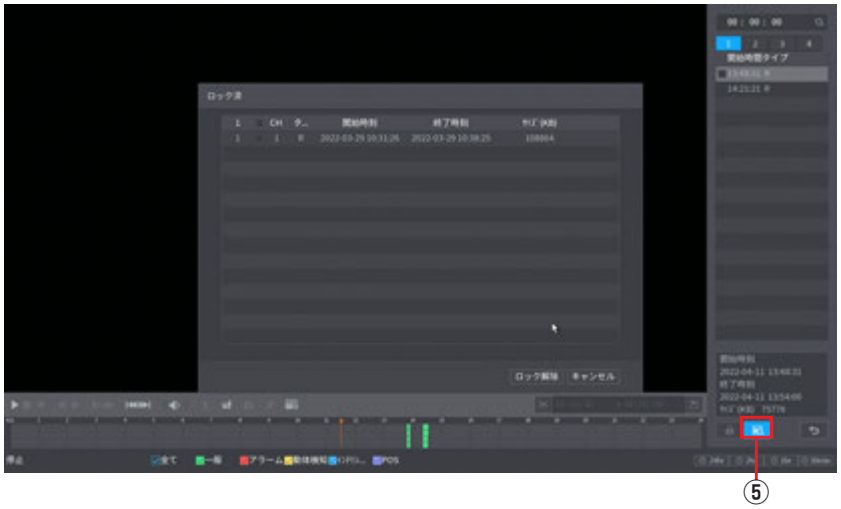
1. チャンネル別のファイル一覧から、ロックしたいファイルのチェックボックスにチェックを入れます。
2. ［ロック］ボタン（③）をクリックします。確認ウインドウ（④）が表示されると共に、ファイルリストの右にロックマークが付き、ファイルがロックされます。



4 ロックしたファイルを検索します。

メインメニューの「検索」をクリックして再生画面を表示させ、任意の日付・カメラを選択し、［ファイルリスト］をクリックします。

［ロックファイル検索］ボタン（⑤）をクリックすると、ファイルリストにロックされたファイルが表示されます。



設定―録画設定をする

録画画質を設定する

録画映像の解像度やフレームレート、画質を適切なものに設定します。

1 ライブビュー画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから［メインメニュー］をクリックします。

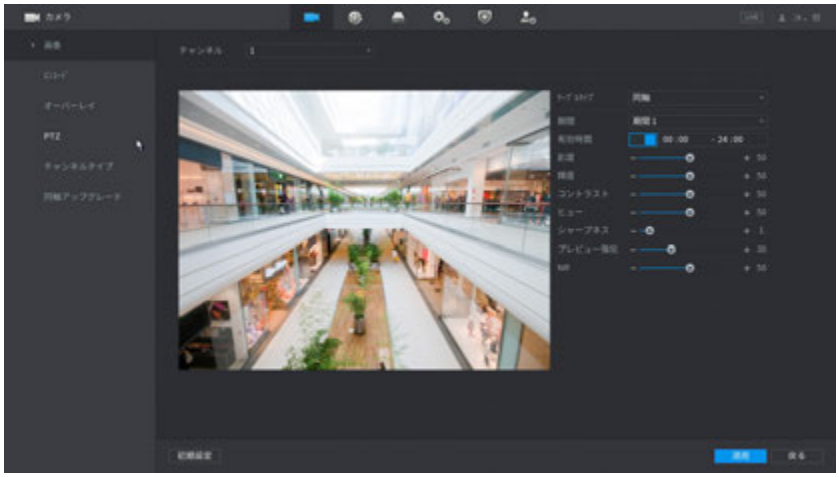
2 ［カメラ］をクリックします。

カメラの設定メニューが表示されます。必要に応じて以下の設定を行います。

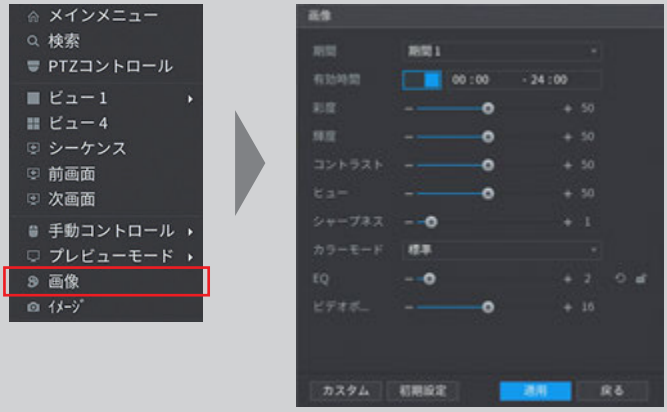
[画像]

映像の画質を設定します。

※詳しい設定内容は「画像」（➡ 78 ページ）



ライブビュー映像を右クリックして表示されるコンテキストメニューから、［画像］を選んでも簡易的に設定することができます。



[エンコード]

映像の解像度や圧縮方法の設定を行います。

※詳しい設定内容は「エンコード」（➡ 80 ページ）

録画スケジュールを設定する

初期設定では録画は 24 時間 365 日行われます。夜間や休日に録画をしないときなどは、スケジュール設定をします。

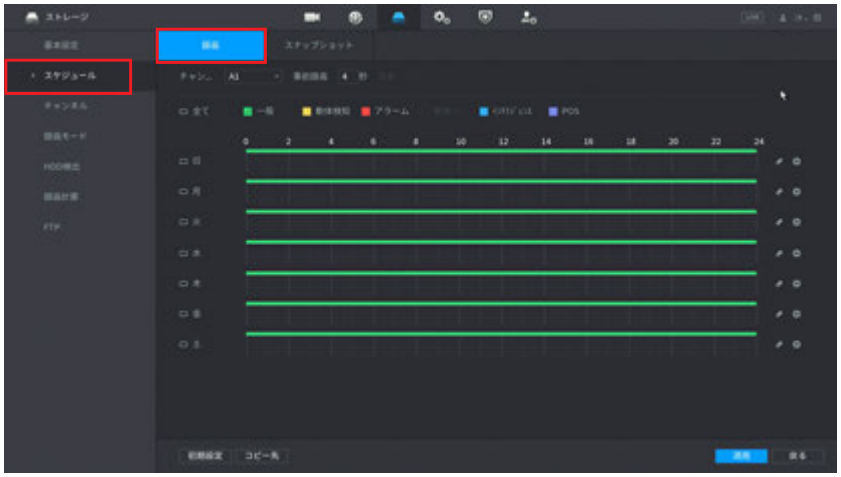
1 **ライブビュー画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから［メインメニュー］をクリックします。**

2 **［ストレージ］をクリックします。**

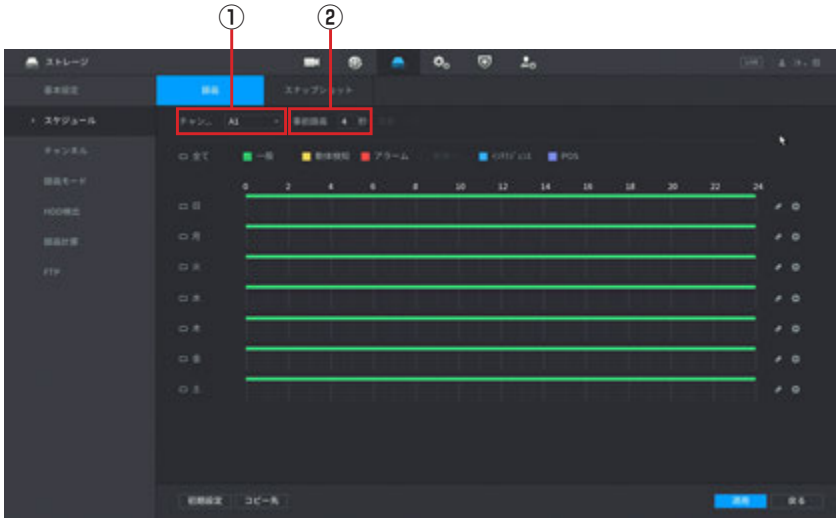
ストレージの設定メニューが表示されます。

3 **［スケジュール］をクリックし、［録画］タブをクリックします。**

※録画映像（動画）ではなく、画像（スナップショット）で記録する場合は、［スナップショット］タブをクリックして以降の設定を行ってください。（本書では録画を行う場合で説明しています。）



4 設定するカメラを選択し、録画設定をします。

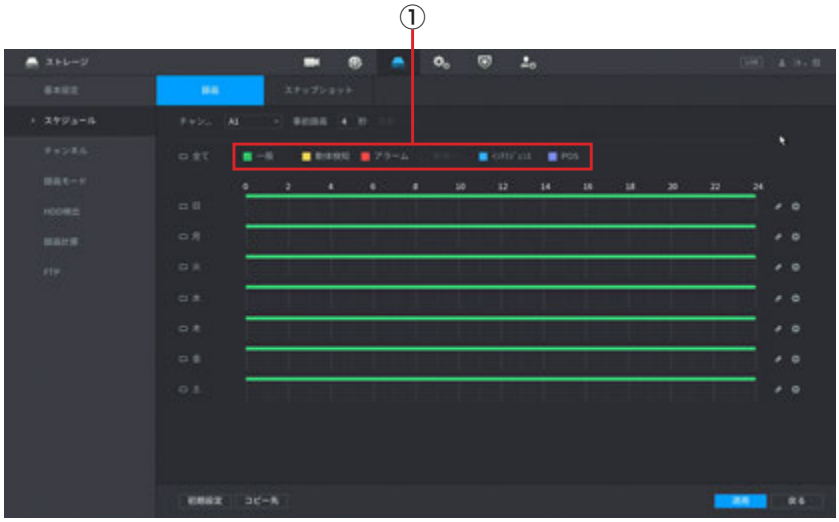


①スケジュール設定するカメラを［チャンネル］から選択します。

注意 別のカメラを選択すると、現在設定中の内容はリセットされます。
設定中にカメラを変更する場合は、［適用］をクリックして設定を確定してからカメラを選択してください。

②［事前録画］を設定します。（「スナップショット」の場合は設定不要です。）
事前録画：指定した時間だけスケジュールの録画開始時間より前に録画を開始します。

5 スケジュール設定を行います。



①スケジュールに割り当てたい録画の種類を、□部分をクリックして選択します。
選択すると□にチェックマーク（✓）が付きます。

項目	内容
一般	通常の録画を行います。
動体検知	指定した時間に動体検知をしたときに録画を行います。 動体検知機能が［有効］になっている必要があります。 ※「動体検知の設定」（➡ 58 ページ）
アラーム	指定した時間にアラーム発生したときに録画を行います。 ※「アラームの設定をする」（動体検知・マスキング・ビデオロス）（➡ 58 ページ）
動検＋...	（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

項目	内容
インテリジェンス	指定した時間に、顔検知・侵入検知・トリップワイヤー・動体検知・アラームが同時発生したときに録画を行います。
POS	（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

②スケジュール表をクリックして色を塗り、スケジュールを設定します。

※スケジュール表の設定する時間にカーソルを合わせてクリックすることで入力します。

［全て］をクリックすると、∞が表示された曜日を一括して設定できます。

※［全て］をクリックして一度すべての曜日を選択してから、日曜だけをクリックして対象外にする（∞が消える）、といった使いかたもできます。

5 ［適用］をクリックして設定を保存します。

注意 **［適用］を押す前に他のカメラを選択すると、設定がリセットされますのでご注意ください。**

6 他のカメラも同様に設定します。

［コピー先］をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

設定—その他の使い方

録画データをバックアップする

モニター管理画面で操作する場合

本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存することができます。

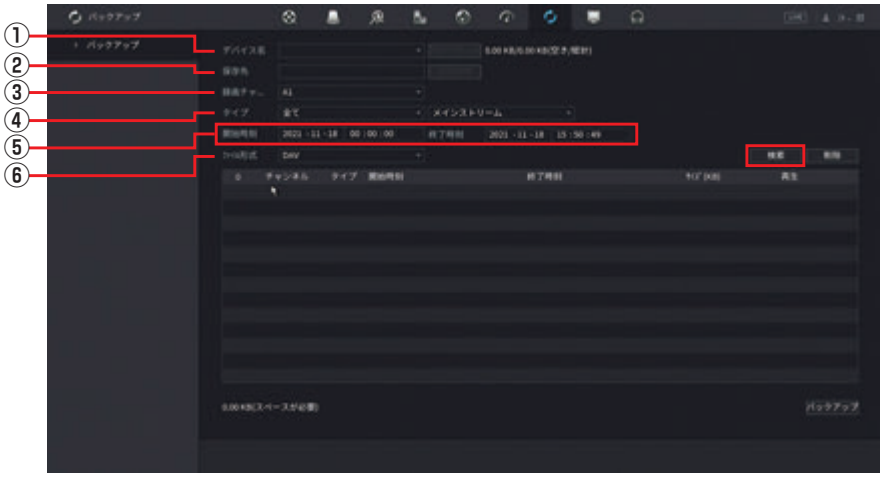
- USB ストレージデバイスは、パーティションを FAT32 または NTFS フォーマットでフォーマットし、本製品背面の USB 端子に接続してください。
- 映像のファイル形式は「.dav」または「.mp4」です。

1 ライブビュー画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから［メインメニュー］をクリックします。

2 メインメニューが表示されたら、 をクリックしてページを切り替えます。

3 ［バックアップ］をクリックします。

4 バックアップの設定メニューが表示されます。

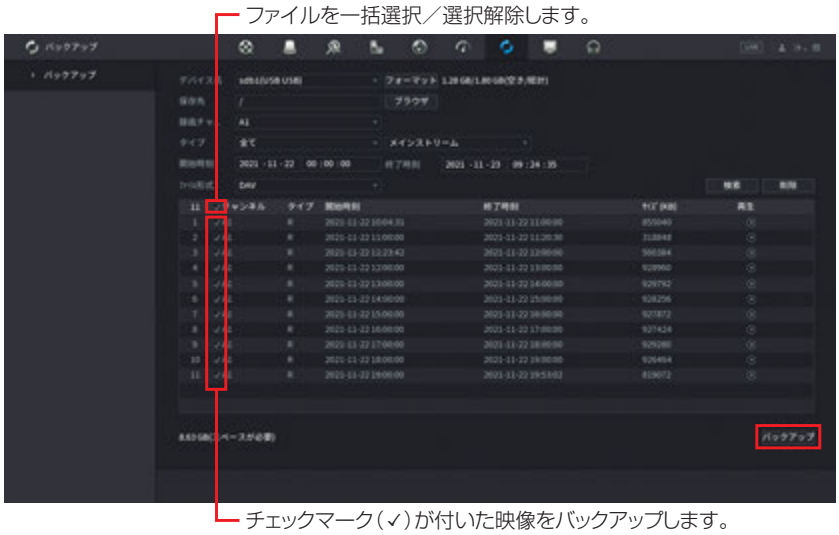


番号	項目	内容
①	**デバイス名**	バックアップ先のデバイス名、容量が表示されます。
②	**保存先**	バックアップ先のディレクトリを設定します。 ［ブラウザ］をクリックするとディレクトリを指定できます。
③	**録画チャンネル**	バックアップするチャンネルを設定します。
④	**タイプ**	バックアップするイベントの種類 * とメインストリーム／サブストリームを設定します。 * 全て／アラーム／動体検知／アラーム＆動体検知／一般／インテリジェンス／POS ／画像 ※イベントの設定、および録画スケジュールでイベントの録画設定を行っていない場合はバックアップされません。 ※「アラームの設定をする」（動体検知・マスキング・ビデオロス）（➡ 58 ページ）
⑤	**開始時刻・終了時刻**	バックアップする映像の開始・終了時刻を設定します。
⑥	**ファイル形式**	バックアップファイルのファイル保存形式（DAV または MP4）を設定します。 ※DAV ファイル保存形式を設定した場合、DAV 再生ソフト（SmartPlayer.exe）も同時にダウンロードされ、パソコンで再生ができます。

バックアップを行いたいファイルの条件を指定し、［検索］をクリックします。

5 検索結果画面が表示されます。

対象の映像をすべてバックアップする場合は、そのまま［バックアップ］をクリックします。
バックアップする映像を個別に選択する場合は、「チャンネル」欄の□（チェックボックス）にチェックを入れ、［バックアップ］をクリックします。



- 本製品では、連続録画を有効にしている場合、約 1 時間のファイルとして内部で管理しています。イベント録画も有効にしている場合は、そのイベント毎のファイルが別に生成されます。
- 録画データのバックアップの際に、外付けの USB メモリを使用する場合、ファイルやフォルダに、2 バイト文字（全角文字）が含まれていると、正しく表示されない場合があります。
  ※外付けの USB メモリのフォーマット形式は FAT32 または NTFS に対応しています。

6 バックアップが完了すると、USB デバイス内のディレクトリ画面が表示されます。

［OK］をクリックすると元の画面に戻ります。

- 接続されている USB ストレージデバイスの容量が 2TB を超える場合は、［フォーマット］をクリックすると、NTFS ファイルシステムにフォーマットされます。容量が 2TB 以下の場合、FAT32 または NTFS ファイルシステムにフォーマットされます。
- バックアップファイルの名前は、チャンネル名、メインまたはサブストリーム、開始時刻、終了時刻を表す名前となります。
  （例：XVR_ch1_main_20210630183546_20210630184010.mp4）
- バックアップ設定メニューでタイプを「画像」に設定すると、ファイルをバックアップできます。

Web ブラウザ管理画面で操作する場合

本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、管理用パソコンにファイルとして保存することができます。

●映像のファイル形式は、「.dav」または「.mp4」です。

詳しい WEB 管理画面の表示方法は「Web 管理画面について」（➡ 163 ページ）をご参照ください。

1 管理用 PC で InternetExplorer を開き、以下のページを表示します。

http://192.168.1.108（初期 IP アドレス）

●管理用 PC の IP アドレスを「192.168.1.100」など同じネットワークセグメント内に設定し、ブラウザから上記アドレスにアクセスしてください。

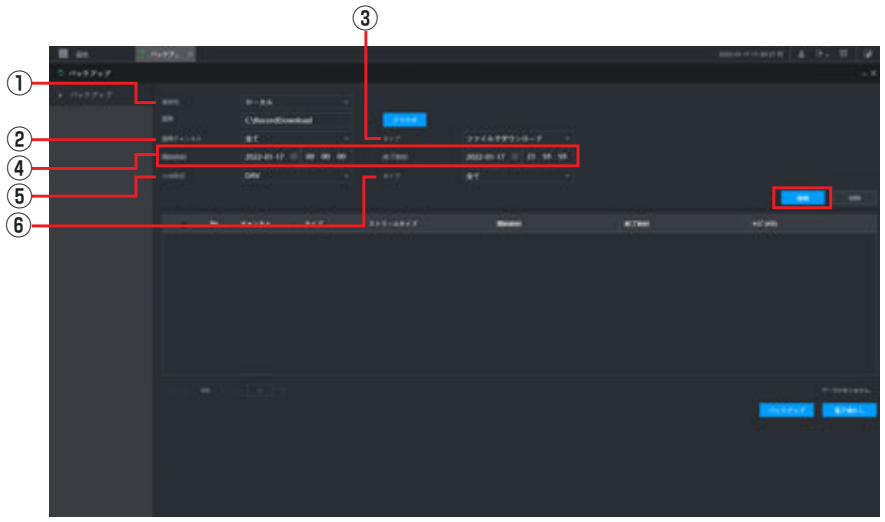
2 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力してログインします。

ユーザー名：admin

パスワード：設定したパスワード

3 メインメニューから［バックアップ］を選択します。

バックアップの設定メニューが表示されます。

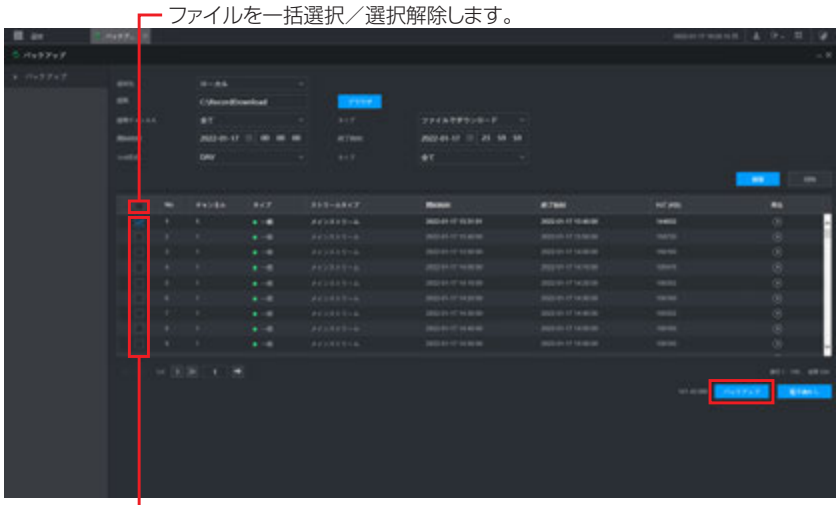


番号	項目	内容
①	**保存先**	バックアップ先のディレクトリを設定します。 ［ブラウザ］をクリックするとディレクトリを指定できます。
②	**録画チャンネル**	バックアップするチャンネルを設定します。
③	**タイプ**	ファイルでダウンロード／時間でダウンロードの選択をします。
④	**開始時刻・終了時刻**	バックアップする映像の開始・終了時刻を設定します。
⑤	**ファイル形式**	バックアップファイルのファイル保存形式（DAV または MP4）を設定します。
⑥	**タイプ**	バックアップするイベントの種類を設定します。 ［全て／アラーム／動体検知／アラーム＆動体検知／一般／インテリジェンス／POS ／画像］

バックアップを行いたいファイルの条件を指定し、［検索］をクリックします。

4 検索結果画面が表示されます。

対象の映像をすべてバックアップする場合は、そのまま［バックアップ］をクリックします。
バックアップする映像を個別に選択する場合は、「チャンネル」欄の□（チェックボックス）にチェックを入れ、［バックアップ］をクリックします。



データをバックアップする

本製品の設定データや録画データを USB ストレージデバイスにバックアップすることができます。

1 **USB ストレージデバイスを本製品に接続します。**

2 **［USB デバイス］画面が表示されますので、バックアップメニューをクリックします。**

バックアップ方法は以下の各参照ページをご参照ください。

番号	項目	内容	参照ページ
①	**ファイルバックアップ**	本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存します。	154 ページ
②	**バックアップ設定**	設定情報を USB ストレージデバイスに保存（エクスポート）したり、保存した設定情報を読み込む（インポート）ことができます。	150 ページ
③	**ログバックアップ**	ユーザーが実行した操作やデバイスのステータスの履歴を保存します。	146 ページ
④	**アップデート**	システムアップデートのときに選択します。	—

✎ 録画データのバックアップの際に、USB メモリを使用する場合、ファイルやフォルダに、2 バイト文字（全角文字）が含まれていると、正しく表示されない場合があります。
※外付けの USB メモリのフォーマット形式は FAT32 または NTFS に対応しています。

アラームを設定する

映像に動きや妨害行為を検知したときや、映像が中断したときにブザーやＥメールで通知することができます。

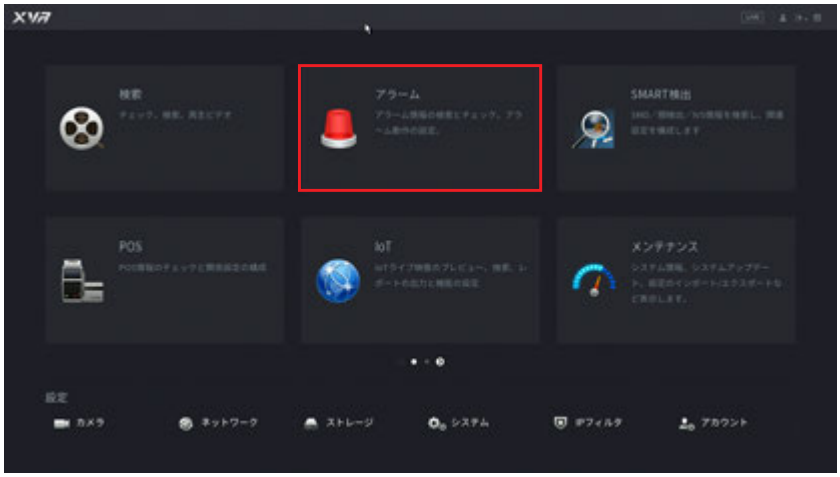
項目	内容	参照ページ
動体検知	動体検知機能を有効にすると、動きを検知したときにアラームを出力します。初期設定では有効になっています。	58 ページ
ビデオロス	カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力します。初期設定では有効になっています。	62 ページ
マスキング	マスキング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力します。初期設定では有効になっています。	65 ページ
ビデオ診断	ビデオ診断機能を有効にすると、カメラ映像に異常を検知したときにアラームを出力します。初期設定では無効になっています。	68 ページ

動体検知の設定をする

画面上に動くものを検知したときに、ブザー音を鳴らす、指定のアドレスへＥメールを送る等、アラームを出力することができます。
初期設定では有効になっています。

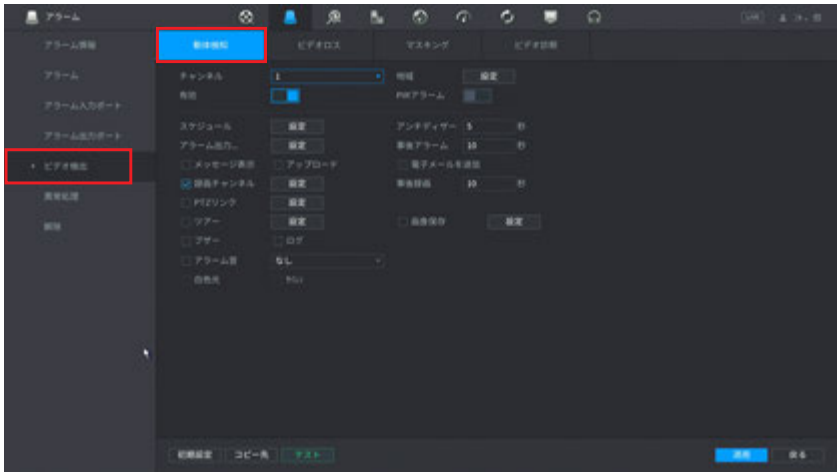
1 ライブビュー画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから［メインメニュー］をクリックします。

2 ［アラーム］をクリックします。

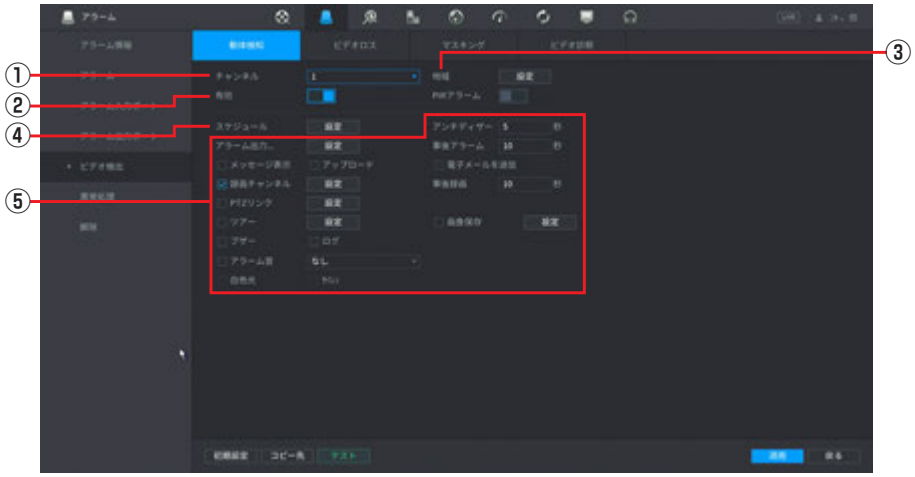


アラームの設定メニューが表示されます。

3 ［ビデオ検出］をクリックし、［動体検知］タブをクリックします。



4 動体検知を設定するカメラを選択し、設定を行います。



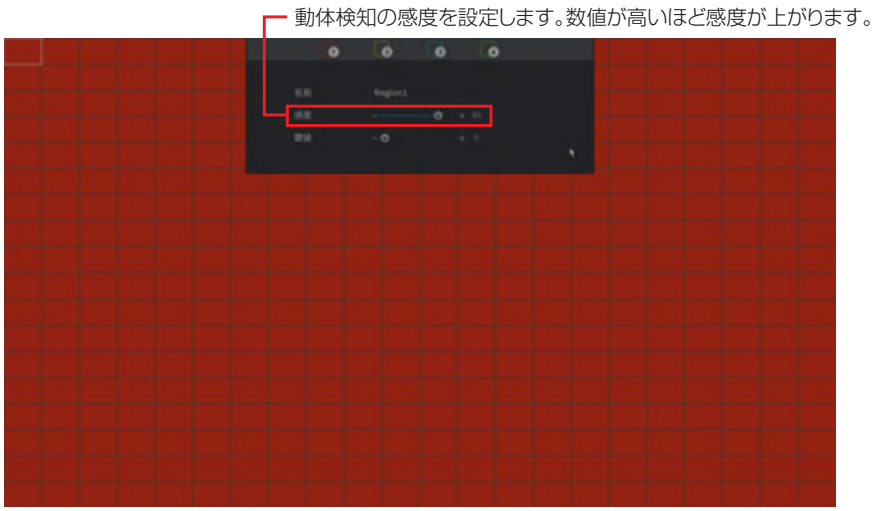
①動体検知の設定をするカメラを［チャンネル］から選択します。

②スライダーを［有効］（青色）にします。

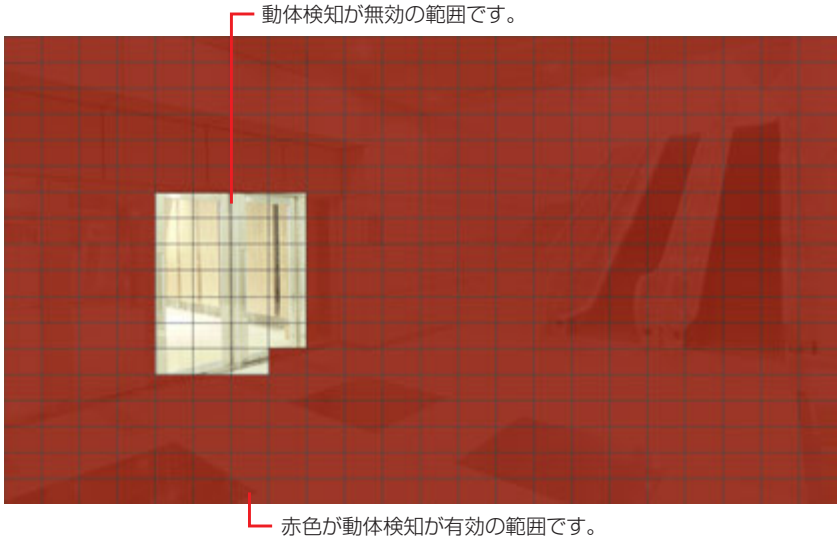
③「地域（エリア）」の［設定］をクリックし、動体検知の有効範囲を設定します。

※初期値は全範囲有効です。

最初に上部に表示されるポップアップウィンドウで、動体検知感度の設定ができます。
スライダーを動かして感度を設定します。感度の数値が高いほど（スライダーが右にあるほど）、わずかな動きでも検知しやくなります。



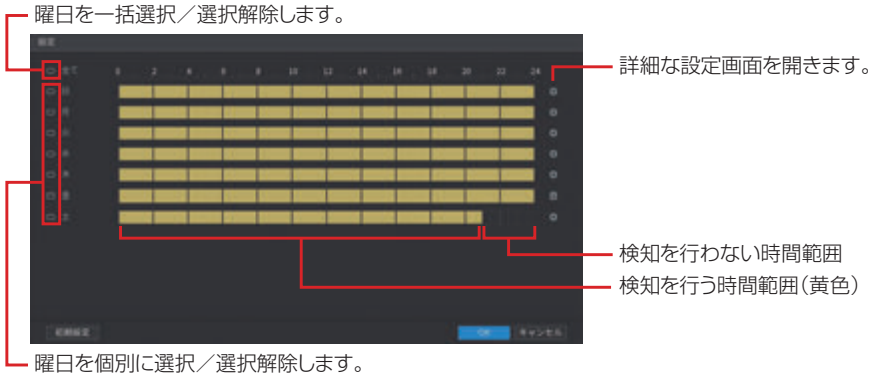
動体検知を有効または無効にする範囲を、マウスのクリック、またはクリック＆ドラッグで設定します。



※無効にした範囲をもう一度選択すると、有効（赤色）になります。
※範囲設定画面で右クリックすると、設定画面に戻ります。

④スケジュール欄の［設定］をクリックして、動体検知を有効にするスケジュールを設定します。

動体検知を有効または無効にする時間範囲を、マウスのクリック、またはクリック＆ドラッグで設定します。



［全て］をクリックすると、 が表示された曜日を一括して設定できます。
※［全て］をクリックして一度すべての曜日を選択してから、日曜だけをクリックして対象外にする（ が消える）、といった使いかたもできます。

⑤その他の項目を設定します。

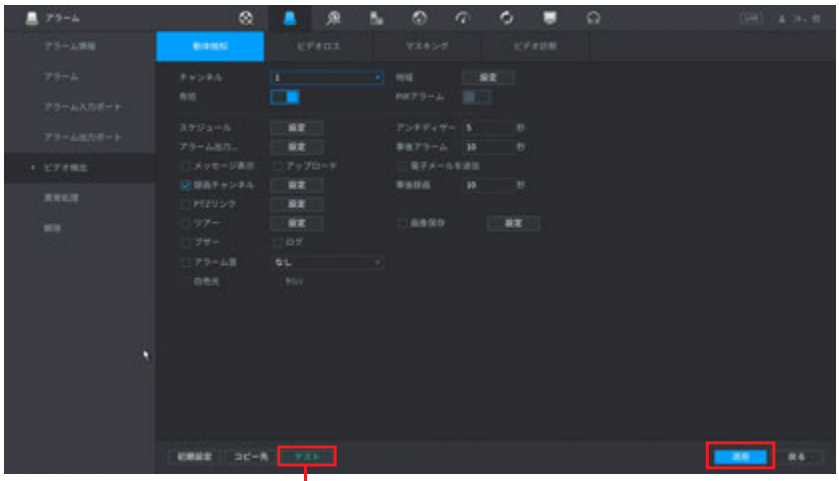
□（チェックボックス）のあるものはクリックすると✓（チェックマーク）が付き、設定が有効になります。
［設定］をクリックすると設定画面が表示され、詳細な設定が行えます。
数値を入力する項目は、入力欄をクリックするとソフトキーボードが表示されます。

項目	内容
チャンネル	動体検知を行うチャンネルを設定します。
地域	画面内で動体検知を有効にする範囲を設定します。
有効	動体検知をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：有効）
PIR アラーム	（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
スケジュール	アラームを有効にする曜日・時間を設定します。
アンチディザー	アラームの開始から終了までの時間を設定します。
アラーム出力ポート	アラームを出力した際、指定したチャンネルのアラーム出力をオンにします。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
事後アラーム	アラーム出力時間を設定します。

項目	内容
メッセージ表示	アラームを出力した際、メッセージ（ポップアップウィンドウ）を表示します。
アップロード	アラームを出力した際、アラーム信号をネットワークにアップロードします。
電子メールを送信	アラームを出力した際、設定した E メールアドレスにメールを送信します。 電子メールの設定は「電子メール」（➡ 96 ページ）をご参照ください。
録画チャンネル	録画を行うチャンネルを設定します。 ※［ストレージ］－［スケジュール］－［録画］で「インテリジェンス」のスケジュールを設定している必要があります。
事後録画	アラーム出力後の録画の遅延時間を設定します。
PTZ リンク	PTZ リンクで設定されている動作の有効／無効を設定します。
ツアー	アラームを出力した際、ツアー動作で表示するチャンネルを設定します。
画像保存	アラーム出力時に静止画を保存するチャンネルを設定します。 ※［ストレージ］－［スケジュール］－［録画］で「インテリジェンス」のスケジュールを設定している必要があります。
ブザー	レコーダーから発生するブザー音の有効／無効を設定します。
ログ	インテリジェンスのイベントログ保存をする／しないを設定します。
アラーム音	指定した音声ファイルを出力する／しないを設定します。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
白色光	カメラに搭載されたライトを点滅する／しないを設定します。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
サイレン	カメラに搭載されたサイレンを鳴動する／しないを設定します。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

● ［初期設定］ をクリックすると、設定が初期値に戻ります。

⑥ 設定後、［適用］ をクリックして設定を完了します。



5 他のカメラも同様に設定します。

［コピー先］ をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

ビデオロスの設定をする

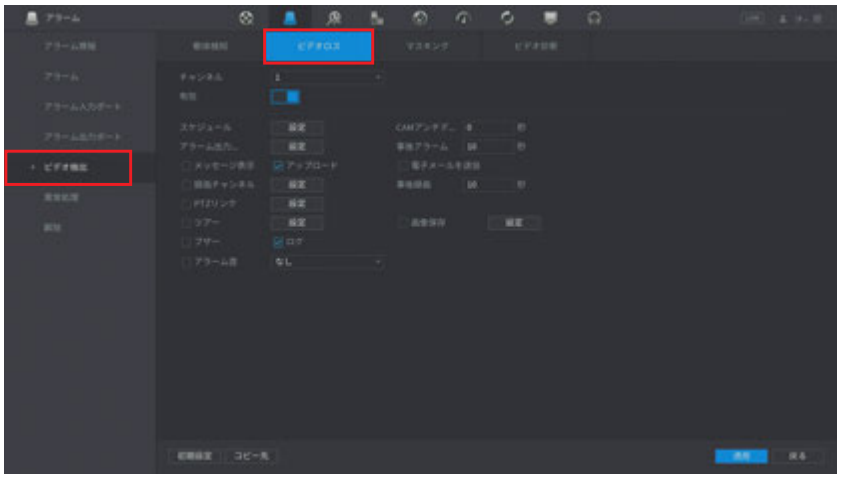
カメラからの映像信号が失われたときにブザー音を鳴らす、指定のアドレスへ E メールを送る等、アラームを出力することができます。
初期設定では有効になっています。

1 **ライブビュー画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから［メインメニュー］をクリックします。**

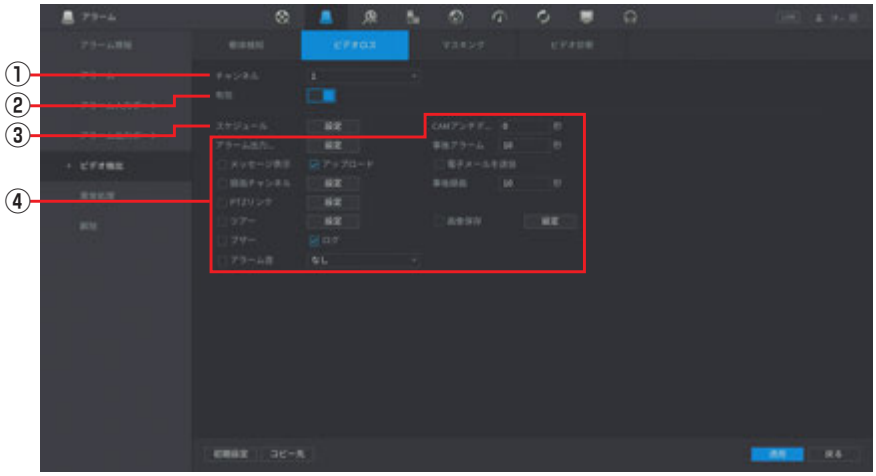
2 **［アラーム］をクリックします。**

アラームの設定メニューが表示されます。

3 **［ビデオ検出］をクリックし、［ビデオロス］タブをクリックします。**



4 ビデオロスを設定するカメラを選択し、設定を行います。

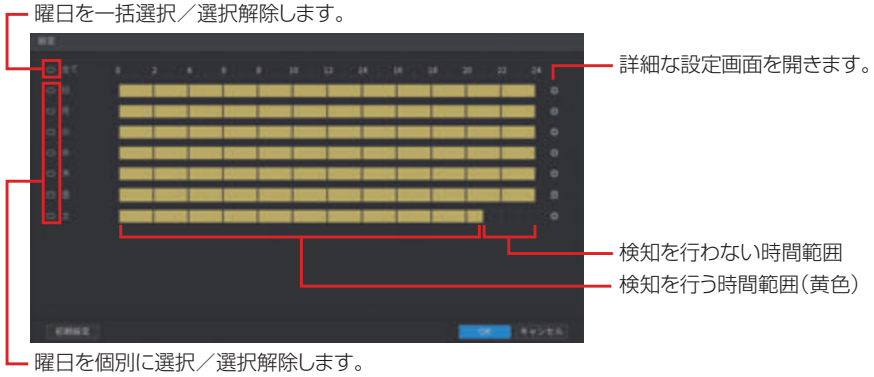


①ビデオロスの設定をするカメラを［チャンネル］から選択します。

②スライダーを［有効］（青色）にします。

③スケジュール欄の［設定］をクリックして、ビデオロスを有効にするスケジュールを設定します。

ビデオロスを有効または無効にする時間範囲を、マウスのクリック、またはクリック＆ドラッグで設定します。



［全て］をクリックすると、 が表示された曜日を一括して設定できます。

※［全て］をクリックして一度すべての曜日を選択してから、日曜だけをクリックして対象外にする（ が消える）、といった使いかたもできます。

④その他の項目を設定します。

□（チェックボックス）のあるものはクリックすると✓（チェックマーク）が付き、設定が有効になります。

［設定］をクリックすると設定画面が表示され、詳細な設定が行えます。

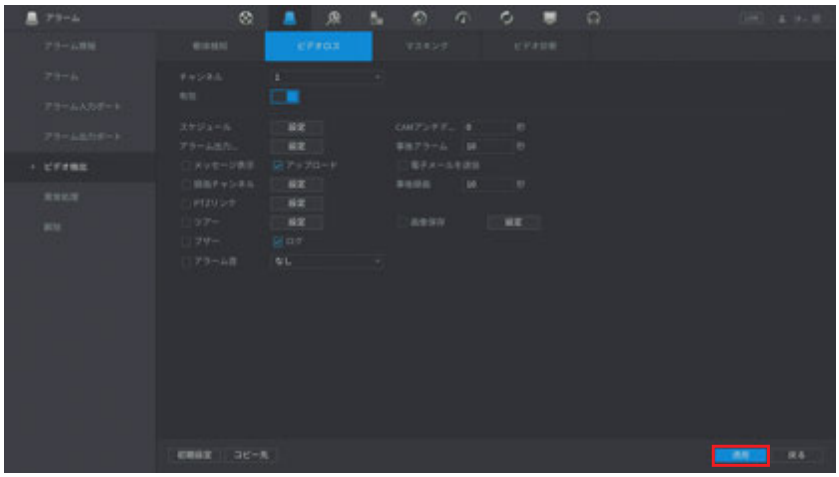
数値を入力する項目は、入力欄をクリックするとソフトキーボードが表示されます。

項目	内容
チャンネル	ビデオロス検知を行うチャンネルを設定します。
有効	ビデオロスをスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：有効）
スケジュール	アラームを有効にする曜日・時間を設定します。
CAM アンチディザ	アラームの開始から終了までの時間を設定します。
アラーム出力ポート	アラームを出力した際、指定したチャンネルのアラーム出力をオンにします。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
事後アラーム	アラーム出力時間を設定します。
メッセージ表示	アラームを出力した際、メッセージ（ポップアップウィンドウ）を表示します。
アップロード	アラームを出力した際、アラーム信号をネットワークにアップロードします。

項目	内容
電子メールを送信	アラームを出力した際、設定したEメールアドレスにメールを送信します。 電子メールの設定は「電子メール」（➡ 96 ページ）をご参照ください。
録画チャンネル	録画を行うチャンネルを設定します。 ※［ストレージ］－［スケジュール］－［録画］で「インテリジェンス」のスケジュールを設定している必要があります。
事後録画	アラーム出力後の録画の遅延時間を設定します。
PTZ リンク	PTZ リンクで設定されている動作の有効／無効を設定します。
ツアー	アラームを出力した際、ツアー動作で表示するチャンネルを設定します。
画像保存	アラーム出力時に静止画を保存するチャンネルを設定します。 ※［ストレージ］－［スケジュール］－［録画］で「インテリジェンス」のスケジュールを設定している必要があります。
ブザー	ブザー音の有効／無効を設定します。
ログ	インテリジェンスのイベントログ保存をする／しないを設定します。
アラーム音	指定した音声ファイルを出力する／しないを設定します。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

● ［初期設定］をクリックすると、設定が初期値に戻ります。

⑥設定後、［適用］をクリックして設定を完了します。



5 他のカメラも同様に設定します。

［コピー先］をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

マスキングの設定をする

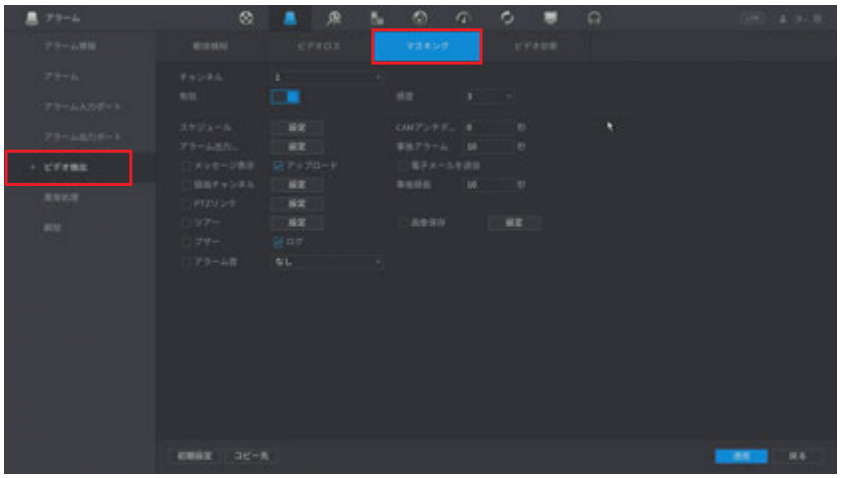
マスキング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにブザー音を鳴らす、指定のアドレスへ E メールを送る等、アラームを出力することができます。
初期設定では有効になっています。

1 **ライブビュー画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから［メインメニュー］をクリックします。**

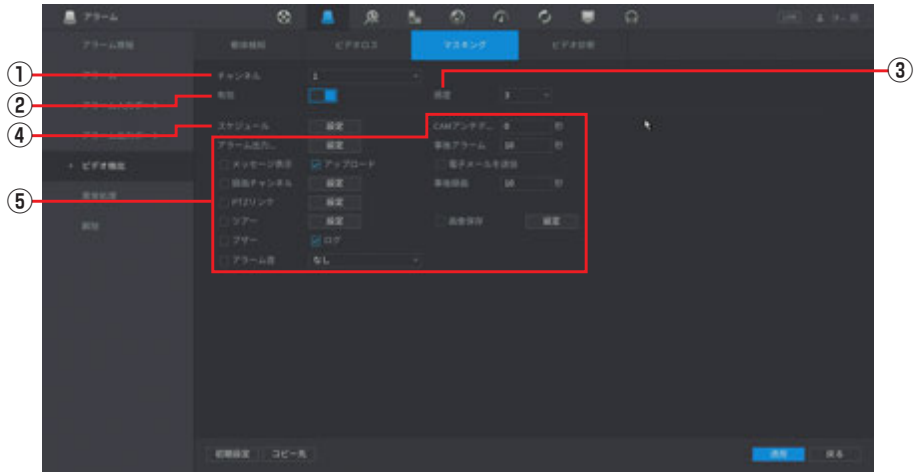
2 **［アラーム］をクリックします。**

アラームの設定メニューが表示されます。

3 **［ビデオ検出］をクリックし、［マスキング］タブをクリックします。**



4 マスキングを設定するカメラを選択し、設定を行います。



①マスキングの設定をするカメラを［チャンネル］から選択します。

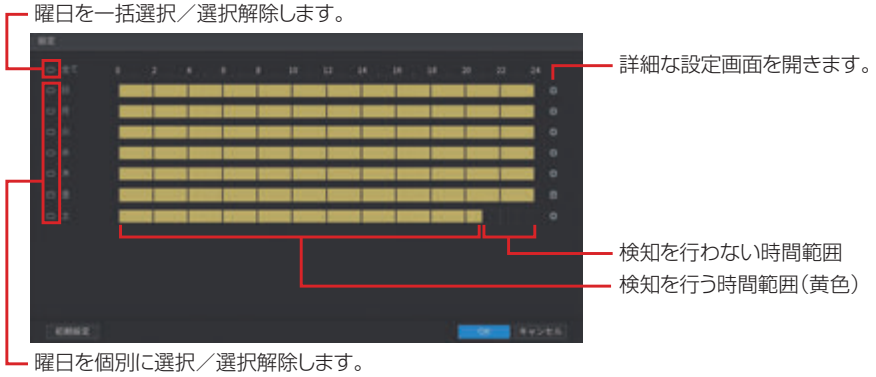
②スライダーを［有効］（青色）にします。

③「感度」を設定します。

感度の数値が高いほど検知しやくなります。

④スケジュール欄の［設定］をクリックして、マスキングを有効にするスケジュールを設定します。

マスキングを有効または無効にする時間範囲を、マウスのクリック、またはクリック＆ドラッグで設定します。



［全て］をクリックすると、 が表示された曜日を一括して設定できます。

※［全て］をクリックして一度すべての曜日を選択してから、日曜だけをクリックして対象外にする（ が消える）、といった使いかたもできます。

⑤その他の項目を設定します。

□（チェックボックス）のあるものはクリックすると✓（チェックマーク）が付き、設定が有効になります。

［設定］をクリックすると設定画面が表示され、詳細な設定が行えます。

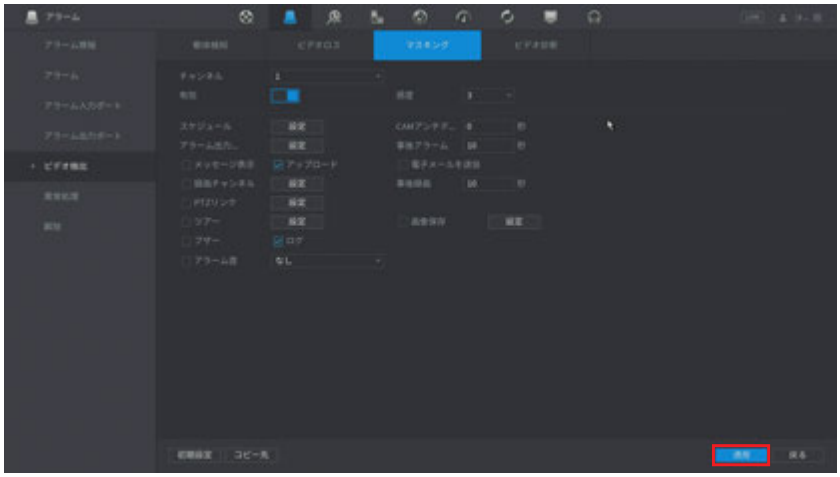
数値を入力する項目は、入力欄をクリックするとソフトキーボードが表示されます。

項目	内容
チャンネル	マスキング検知を行うチャンネルを設定します。
有効	マスキングをスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：有効）
スケジュール	アラームを有効にする曜日・時間を設定します。
CAM アンチディザ	アラームの開始から終了までの時間を設定します。
アラーム出力ポート	アラームを出力した際、指定したチャンネルのアラーム出力をオンにします。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

項目	内容
事後アラーム	アラーム出力時間を設定します。
メッセージ表示	アラームを出力した際、メッセージ（ポップアップウィンドウ）を表示します。
アップロード	アラームを出力した際、アラーム信号をネットワークにアップロードします。
電子メールを送信	アラームを出力した際、設定した E メールアドレスにメールを送信します。 電子メールの設定は「電子メール」（➡ 96 ページ）をご参照ください。
録画チャンネル	録画を行うチャンネルを設定します。 ※［ストレージ］－［スケジュール］－［録画］で「インテリジェンス」のスケジュールを設定している必要があります。
事後録画	アラーム出力後の録画の遅延時間を設定します。
PTZ リンク	PTZ リンクで設定されている動作の有効／無効を設定します。
ツアー	アラームを出力した際、ツアー動作で表示するチャンネルを設定します。
画像保存	アラーム出力時に静止画を保存するチャンネルを設定します。 ※［ストレージ］－［スケジュール］－［録画］で「インテリジェンス」のスケジュールを設定している必要があります。
ブザー	ブザー音の有効／無効を設定します。
ログ	インテリジェンスのイベントログ保存をする／しないを設定します。
アラーム音	指定した音声ファイルを出力する／しないを設定します。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

● ［初期設定］をクリックすると、設定が初期値に戻ります。

⑥設定後、［適用］をクリックして設定を完了します。



5 他のカメラも同様に設定します。

［コピー先］をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

ビデオ診断の設定をする

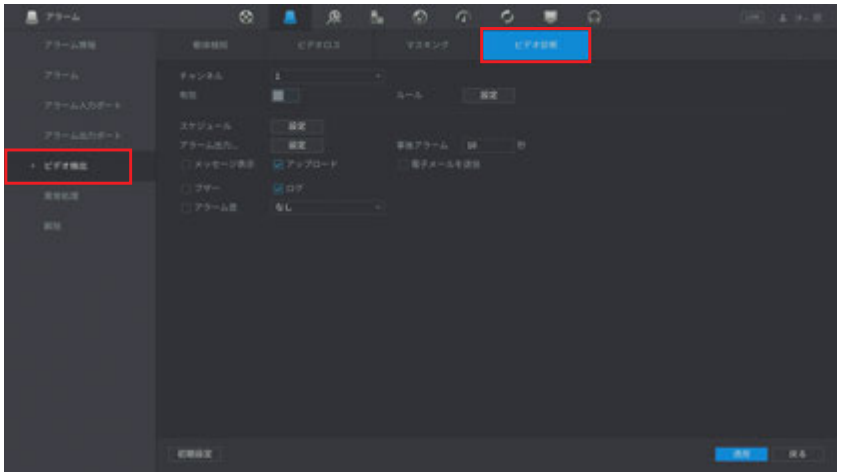
カメラからの映像にぼやけや露出過多などの異常が検知されたときにアラームを出力します。
初期設定では無効になっています。

1 **ライブビュー画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから［メインメニュー］をクリックします。**

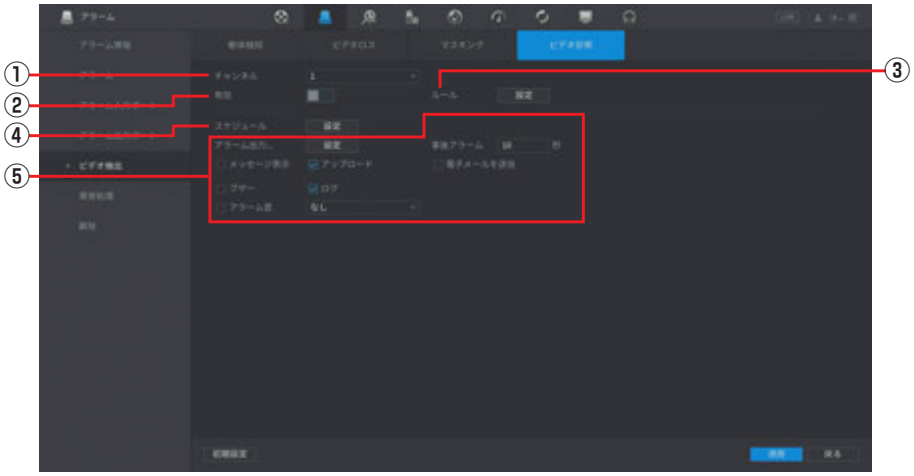
2 **［アラーム］をクリックします。**

アラームの設定メニューが表示されます。

3 **［ビデオ検出］をクリックし、［ビデオ診断］タブをクリックします。**



4 ビデオ診断を設定するカメラを選択し、設定を行います。



①ビデオ診断の設定をするカメラを［チャンネル］から選択します。

②スライダーを［有効］（青色）にします。

③「ルール」を設定します。

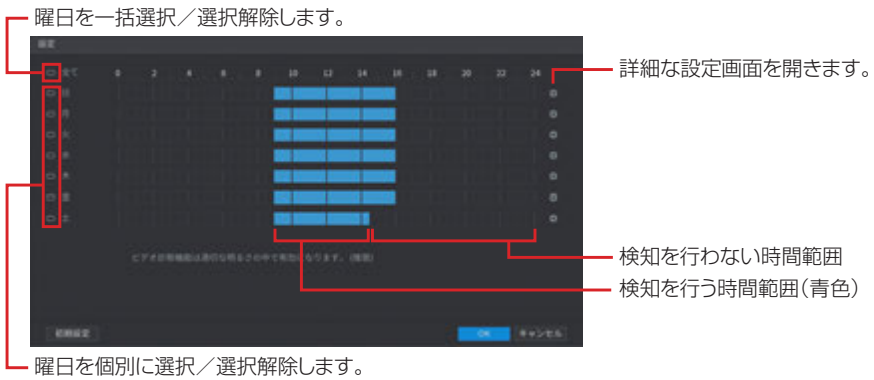
検出したい異常の種類の□（チェックボックス）をクリックすると✓（チェックマーク）が付きます。
スライダーで感度を設定します。（数値が高いほど検知しやくなります。）

項目	内容
ストライプ	画像の縞模様発生を検出します。
ノイズ	画像のノイズを検出します。
カラーキャスト	画像の色偏りを検出します。
焦点ずれ	画像の焦点ずれを検出します。
露出オーバー	画像の露出オーバー（白とび）を検出します。

④スケジュール欄の［設定］をクリックして、ビデオ診断を有効にするスケジュールを設定します。

ビデオ診断を有効または無効にする時間範囲を、マウスのクリック、またはクリック＆ドラッグで設定します。

※設定する時間にカーソルを合わせてクリックすることで入力します。



［全て］をクリックすると、∞が表示された曜日を一括して設定できます。

※［全て］をクリックして一度すべての曜日を選択してから、日曜だけをクリックして対象外にする（∞が消える）、といった使いかたもできます。

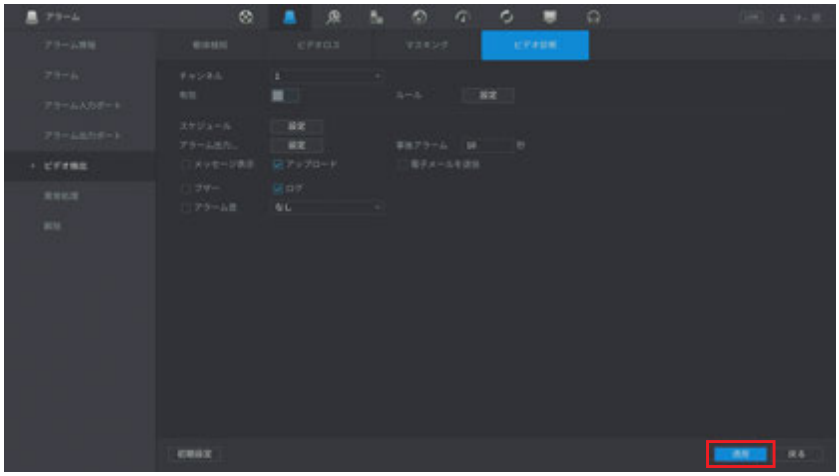
⑤その他の項目を設定します。

□（チェックボックス）のあるものはクリックすると✓（チェックマーク）が付き、設定が有効になります。
［設定］をクリックすると設定画面が表示され、詳細な設定が行えます。
数値を入力する項目は、入力欄をクリックするとソフトキーボードが表示されます。

項目	内容
チャンネル	ビデオ診断検知を行うチャンネルを設定します。
有効	ビデオ診断をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：無効）
ルール	検知する異常の種類と感度を設定します。
スケジュール	アラームを有効にする曜日・時間を設定します。
アラーム出力ポート	アラームを出力した際、指定したチャンネルのアラーム出力をオンにします。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
事後アラーム	アラーム出力時間を設定します。
メッセージ表示	アラームを出力した際、メッセージ（ポップアップウィンドウ）を表示します。
アップロード	アラームを出力した際、アラーム信号をネットワークにアップロードします。
電子メールを送信	アラームを出力した際、設定したＥメールアドレスにメールを送信します。 電子メールの設定は「電子メール」（➡ 96 ページ）をご参照ください。
ブザー	ブザー音の有効／無効を設定します。
ログ	インテリジェンスのイベントログ保存をする／しないを設定します。
アラーム音	指定した音声ファイルを出力する／しないを設定します。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

● ［初期設定］をクリックすると、設定が初期値に戻ります。

⑥設定後、［適用］をクリックして設定を完了します。



5 必要に応じて「チャンネル」を切り替え、他のカメラも同様に設定します。

映像を拡大して見る（デジタルズーム）

ライブビュー映像画面や再生画面では映像の一部をデジタルズームで拡大して見ることができます。

1 **ライブビュー映像の上部付近にマウスカーソルを合わせ、ライブビューコントロールバーを表示させます。**

2 **ライブビューコントロールバーの をクリックし、表示が に変わったことを確認します。**

3 **拡大表示したい場所でマウスをクリック＆ドラッグすると、緑色の枠が表示されます。**
拡大表示したい範囲を枠で囲ったら、クリック＆ドラッグを停止します。

ズームの状態で、マウスをクリック＆ドラッグするとアイコンが手のマークに変わり、画像の位置を動かすことができます。

4 ライブビューコントロールバーの をクリックし、表示が に変わるとデジタルズームが終了します。

ズーム表示を解除するとき

マウスを右クリックすると、拡大表示を終了し、元の画面に戻ります。

マウスのホイール操作でもデジタルズーム機能を利用できます。拡大したい部分にマウスのカーソルを合わせ、ホイールを回転させると段階的に拡大／縮小することができます。

ツアー表示機能を使う

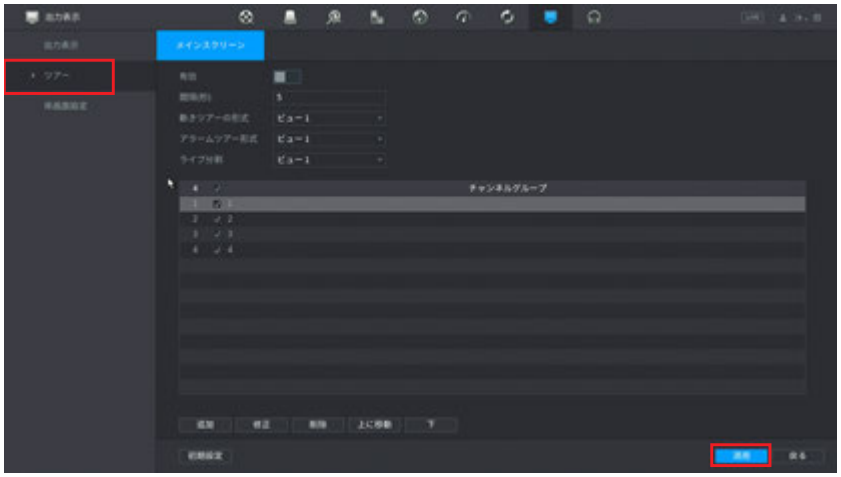
一定の時間間隔で表示画面を切り替える機能です。
①動き検知時ツアー、②通常ツアーの２種類があります。優先順位は①、②の順となります。

1 ライブビュー画面でライブビュー表示の映像を右クリックし、表示されるコンテキストメニューから［メインメニュー］をクリックします。

2 メインメニューが表示されたら、 をクリックしてページを切り替えます。

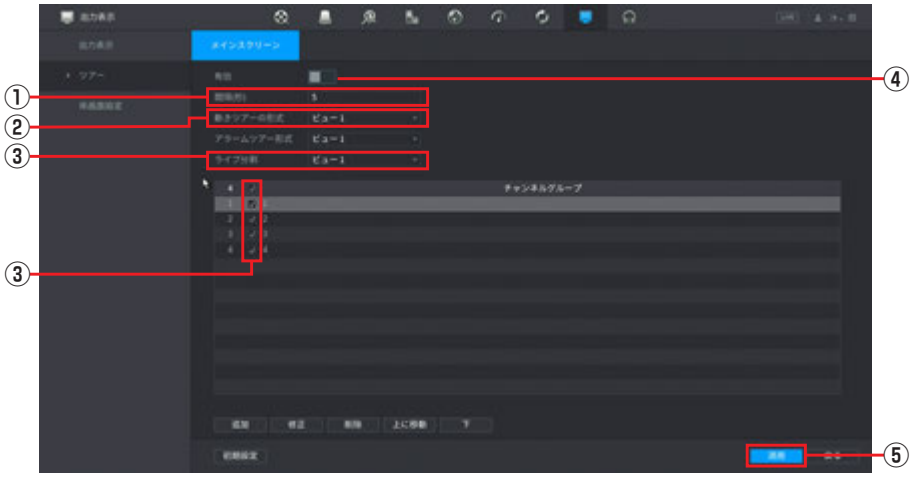
3 ［出力表示］をクリックします。

4 画面左の［ツアー］をクリックすると、設定メニューが表示されます。



項目	内容
有効	スライダーをクリックして、ツアー機能を有効にします 。（初期値：無効）
間隔（秒）	画面を切り替える表示間隔を設定します。
動きツアーの形式	動体検知、ビデオロス、マスキングでツアー設定した場合のライブビューを、１画面または８画面分割のいずれかに設定します。ビデオ検知での設定も必要です。（➡ 58 ページ） ビデオ検知で設定したチャンネルを切り替え表示します。
アラームツアー形式	（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
ライブ分割	チャンネルグループに表示するビューを選択します。 ツアービューはチャンネルグループ欄のチェックボックスで指定します。

5 ツアーの設定を行います。



①画面切替の間隔を設定します。

②動きツアーの形式の分割画面数を選択します。

不要の場合はビデオ検知でツアー設定を行わないでください。

③ライブ分割では、全てのビューを設定する必要があります。

「ライブ分割」で「ビュー」を選択し、チャンネルグループの□（チェックボックス）に✓（チェック）を入れて選択します。ビューのチャンネルグループを選択しない場合、そのビューはツアーに表示されません。ビューの表示が不要な場合は、全ての✓（チェック）を外してください。

※初期値では全てが選択されています。ツアーに不要なチャンネルグループの✓（チェック）を外してください。

※チャンネルグループを2つ以上選択すると切り替え動作をします。（ビュー9（9分割画面）では画面切替動作はしません。）

※［上に移動］［下］のボタンでツアービューのチャンネルグループ順序を変更することができます。

※ビューの順序は変更できません。全て選択した場合は、ビュー1、ビュー4、ビュー8、ビュー9の順で切り替わります。

④「有効」のスライダーをクリックして有効（青色）にします。

⑤「適用」をクリックします。

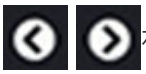
設定—設定リファレンス編

設定メニューについて

メインメニュー画面

メインメニュー（1ページ目）

設定メニュー

 をクリックしてページを切り替えます。
（マウスのホイールでも切り替えることができます。）

メインメニュー（2ページ目）

メニュー項目	内容	ページ
1 ページ目		
検索	録画映像を検索し、映像の再生を行います。	38 ページ
アラーム	アラーム入／出力の設定やシステムの警告などを設定します。	130 ページ
SMART 検出	解析内容の設定を行います。	137 ページ
POS	（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）	—
IoT		
メンテナンス	録画状態や本システムの状態、システム設定の復元／初期化、本システムのアップデートなどを行います。	146 ページ
2 ページ目		
バックアップ	録画した映像を USB ストレージデバイスにバックアップします。	154 ページ
出力表示	解像度などの表示設定を行います。	157 ページ
音声	音声に関する設定を行います。	159 ページ
設定メニュー（ページ下部）		
カメラ	映像の設定やカメラの操作を行います。	78 ページ
ネットワーク	IP アドレスなど、ネットワークの設定を行います。	89 ページ
ストレージ	録画スケジュールやハードディスクの設定を行います。	101 ページ
システム	本製品のシステム設定を行います。	110 ページ
IP フィルタ	ネットワークのセキュリティ設定を行います。	113 ページ
アカウント	アカウントに関する設定を行います。	124 ページ

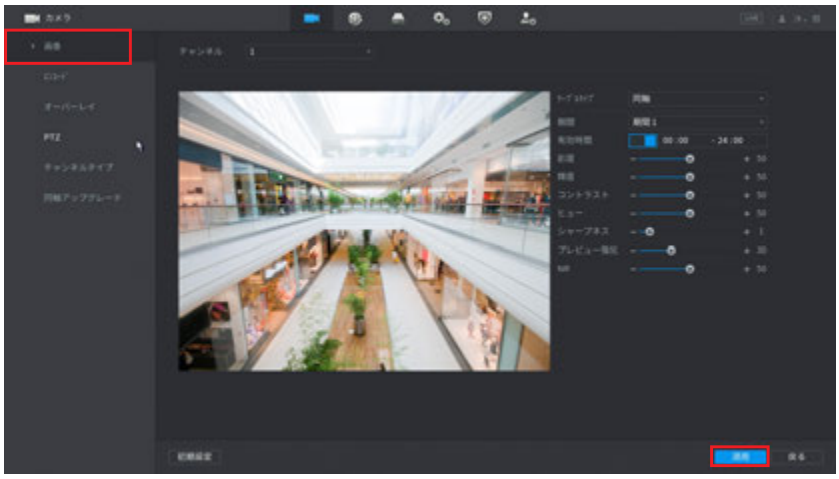
カメラ

新しくカメラを追加したり、接続しているカメラを設定することができます。

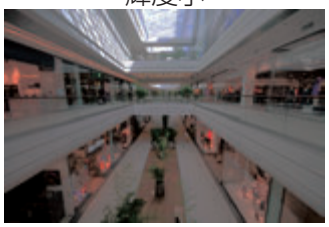
設定画面を開くには、メインメニュー下部の［カメラ］をクリックします。

画像

画質の設定を行います。



項目	内容
チャンネル	設定するカメラを選択します。
ケーブルタイプ	カメラの接続方式（同軸／ UTP）を選択します。
期間	「有効時間」の設定を２つまで（期間 1 ／期間 2）登録できます。
有効時間	有効時間を設定します。スライダーで有効にする（青色）・しない（灰色）を設定します。
彩度	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、彩度が高くなります。 彩度小 ▶ 彩度大

項目	内容		
輝度	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、映像が明るくなります。		
	輝度小 		輝度大
コントラスト	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、コントラストが強くなります。		
	コントラスト弱い 		コントラスト強い
ヒュー	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）赤みが強く、 値を小さくするほど（スライダーが左にあるほど）青みが強くなります。		
	ヒュー小 		ヒュー大
シャープネス	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、輪郭がはっきりします。		
	シャープネス弱い 		シャープネス強い
プレビュー強化	初期値 30 のままご使用ください。		
NR	値を大きくするほど（スライダーが右にあるほど）、映像中のノイズを減らします。		
	ノイズ削減 		ノイズ削減大

※画像例は効果を説明するためのサンプルで、実際の画像画質とは異なります。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

●［初期設定］をクリックすると、設定が初期値に戻ります。

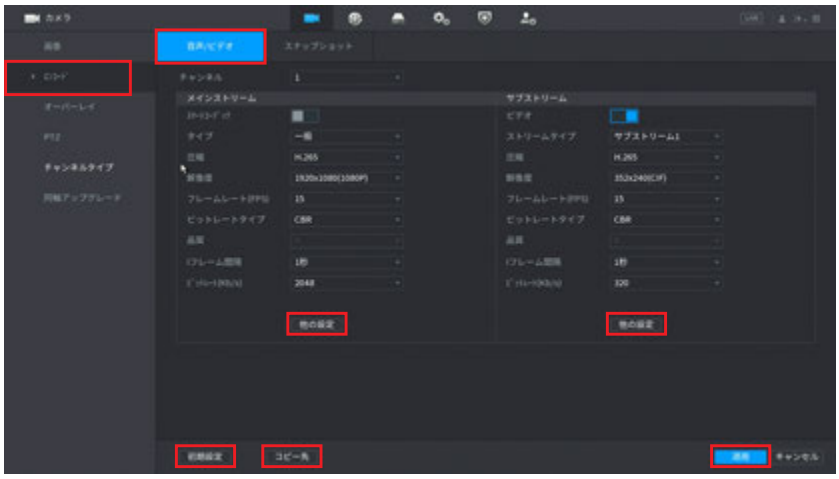
カメラ側に設定が保存される内容に関しては、この機能で工場出荷設定に戻すことができない項目もあります。

エンコード

映像のエンコード設定を行います。

音声／ビデオ

「音声・ビデオ」タブをクリックし、音声・ビデオのエンコード設定を行います。



画像データはメインストリームとサブストリームの２種類で録画できます。メインストリームは最良の画質ですが録画容量が大きく、サブストリームは普通の画質で録画容量が小さい設定です。

項目	内容
チャンネル	設定するカメラを選択します。
スマートコーデック	画像の品質を下げることで、録画容量を小さくできます。画像の品質は 1 ～ 6 から選択します。（初期値：スマートコーデック未選択）
ビデオ	サブストリームの画像を出力・停止します。（初期値：出力設定）
タイプ	録画する対象を選択します。（メインストリームのみ） ［一般（初期値）／動体検知／アラーム］
ストリームタイプ	録画する対象を選択します。（サブストリームのみ） ［初期値：サブストリーム 1］
圧縮	ビデオの圧縮規格を選択します。 ［H.265（初期値）／ H.264B ／ H.264 ／ H.264H ／ H.265］
解像度	ビデオの解像度を選択します。 ［1920 × 1080（1080P）（メインストリームの初期値）／ 960 × 1080（1080N）／ 1280 × 720（720P）／ 960 × 480（960H）／ 704 × 480（D1）／ 352 × 240（CIF）（サブストリームの初期値）］
フレームレート（FPS）	1 秒あたりのフレーム数を設定します。数値が大きいほど滑らかな映像になります。 ［1 ～ 15（初期値：15）］※チャンネル 1 のみ最大 30 ※メインストリーム解像度が 1920 × 1080（1080P）の場合
ビットレートタイプ	**CBR（初期値）**：ビデオストリームの品質を変えることによって特定のビットレートを維持します。帯域幅が限られている場合は、CBR が優先されます。ビデオの品質が変動し、シーン内の動きが増えるとビデオの品質が低下するデメリットがあります。 **VBR**：ビットレートが変わるかわりに、できるだけ映像を一定の品質に保ちます。高画質が要求される場合や、画像に動きがある場合は、VBR を選択することをおすすめします。
品質	（この設定は「VBR」を選択している場合のみ有効です。） 画質を 6 段階で設定します。数値が大きいほど品質が高くなります。 ［1 ～ 6（初期値：4）］

項目	内容
I フレーム間隔	2 つの隣接する I フレーム間のフレーム数です。 ［1 秒（初期値）／ 2 秒］
ビットレート (Kb/s)	1 秒あたりのビットレート値を選択します。 ［カスタム］を選択すると、任意の値に設定することができます。 ※ 設定可能範囲は選択している解像度により異なります。

H.264 または H.265 では一定期間で I フレーム（イントラフレーム）として、完全な画像を送り、それ以外のときには、フレーム間の画像差分データのみを送ることで、圧縮率を上げています。ネットワーク上でパケットロスが発生した場合、映像の乱れが起きますが、I フレームを受信すると復旧されます。そのため I フレーム間隔を空けると（大きくすると）、映像の圧縮率が向上し全体のデータ量が少なくなりますが、映像の乱れが起きた場合に、復旧までの時間が長くなります。

各設定欄の下部にある［他の設定］ボタンをクリックすると、音声の設定画面が表示されます。

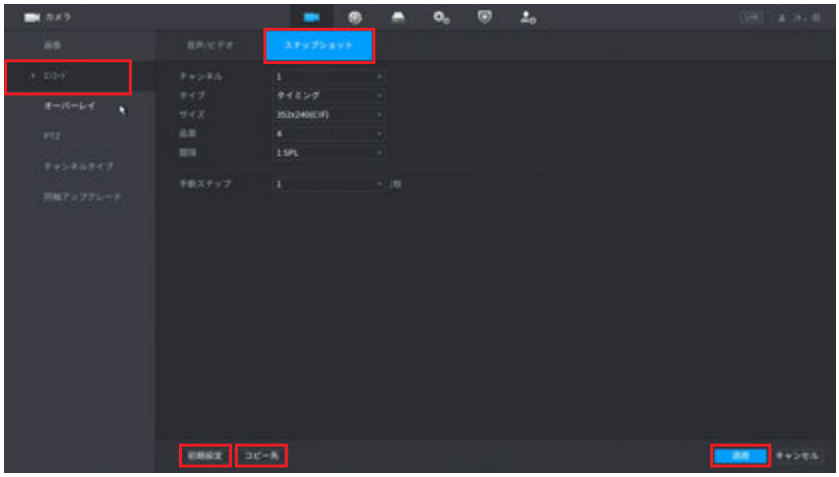
項目	内容
音声	外部マイクやマイク付カメラをご利用の場合、音声記録をスライダーで［有効］（青色）に選択します。
圧縮	録音音声の圧縮形式を選択します。 ［G.711A（初期値）／ PCM ／ G.711Mu ／ AAC（VIDEO IN 端子 1 のみ）］
音声ソース	録音する音声の音源を選択します。 **ローカル（VIDEO IN 端子 1 のみ）**：レコーダー背面の AUDIO 端子に接続したマイクの音声を出力、録音します。（VIDEO IN 端子 1 のみ） **HDCVI**：カメラのマイクの音声を出力、録音します。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

- ［初期設定］をクリックすると、設定が初期値に戻ります。
- ［コピー先］をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

スナップショット

「スナップショット」タブをクリックし、スナップショット画像のサイズや画質を設定します。



項目	内容
チャンネル	設定するカメラを選択します。
タイプ	**タイミング（初期値）**：ボタンを押したときにスナップショットを撮影します。 **イベント**：イベントが発生したときにスナップショットを撮影します。 **顔スナップショット**：顔検出をしたときのみスナップショットを撮影します。 ※顔検出機能はチャンネル 1 でのみサポートされます。
サイズ	画像の解像度を選択します。 [960 × 480（960H）／ 704 × 480（D1）／ 352 × 240（CIF）（初期値）]
品質	画質を 6 段階で設定します。数値が大きいほど品質が高くなります。 [1 ～ 6（初期値：4）]
間隔	保存の間隔を設定します。（例：1 SPL…1 秒間隔で 1 枚、2 SPL…2 秒間隔で 1 枚） [1 SPL（初期値）～ 7 SPL ／カスタム] [カスタム] を選択すると、任意の値（8 ～ 3600）に設定することができます。
手動スナップ	一度のスナップショットで記録する枚数を設定します。 [1 ～ 5（初期値：1）]

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

- ［初期設定］をクリックすると、設定が初期値に戻ります。
- ［コピー先］をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

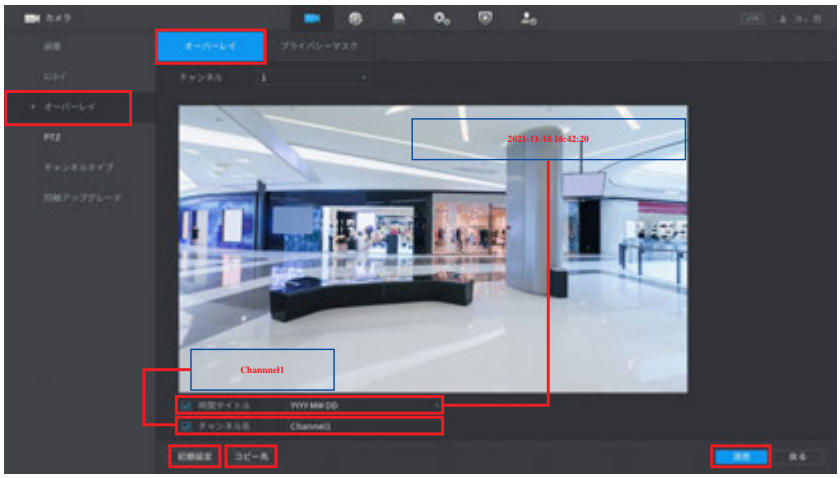
オーバーレイ

映像上に表示される文字の設定、および画面上に映したくない領域を隠す設定を行います。

オーバーレイ

「オーバーレイ」タブをクリックし、録画映像上に表示される文字の設定を行います。

※設定対象は録画映像のみです。ライブビュー画面の変更はできません。



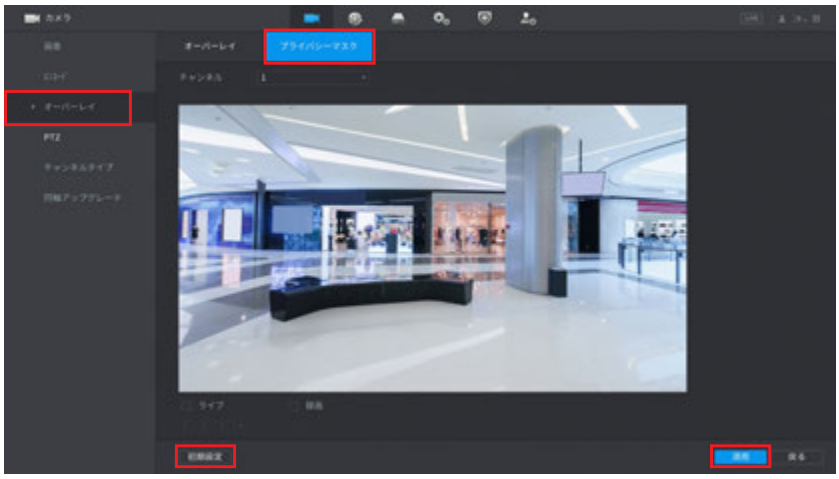
項目	内容
チャンネル	設定するカメラを選択します。
時間タイトル	□（チェックボックス）のクリックで、時間表示の有／無を設定します。 （初期値：有） ▼のクリックで、日付の表示形式を設定します。 （「YYYY」は年、「MM」は月、「DD」は日の数値表示を示しています。 [YYYY MM DD（初期値）／ MM DD YYYY ／ DD MM YYYY]
チャンネル名	□（チェックボックス）のクリックで、チャンネル名表示の有／無を設定します。 （初期値：有） 入力欄をクリックすると、チャンネル名を任意の文字に変更できます。 ※「キーボード入力の方法」（➡ 16 ページ）

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

- ［初期設定］をクリックすると、設定が初期値に戻ります。
- ［コピー先］をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

プライバシーマスク

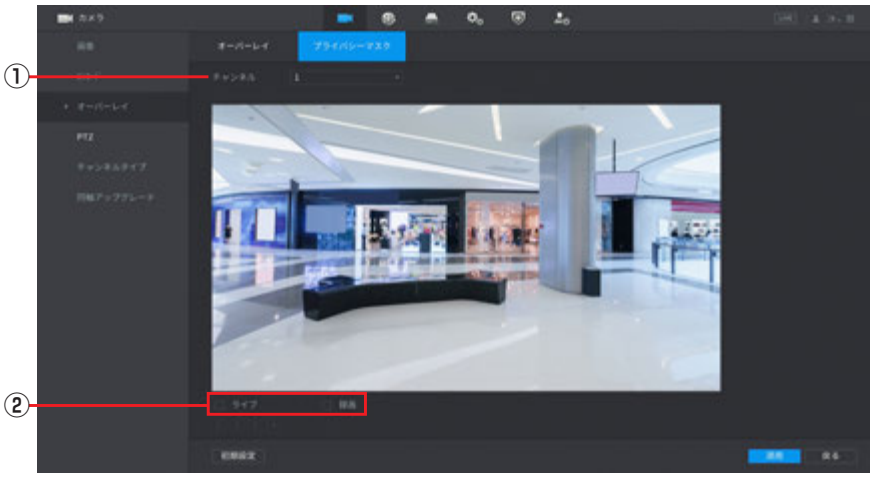
「プライバシーマスク」タブをクリックし、画面上に映したくない領域を設定します。
設定するとその部分は黒塗りになり、映像に映らなくなります。
※録画映像、ライブビュー画面を同時に、または個別に設定できます。



項目	内容
チャンネル	設定するカメラを選択します。
ライブ	□（チェックボックス）のクリックで、ライブビュー画面のプライバシーマスクを設定します。
録画	□（チェックボックス）のクリックで、録画映像のプライバシーマスクを設定します。
1～4（設定番号）	（「ライブ」または「録画」にチェックを入れると選択できるようになります。） プライバシーマスクの領域を 1 画面につき 4 つまで登録できます。 クリックして選択すると、設定番号が青色表示になります。 （もう一度クリックで選択解除します。）

プライバシーマスクを設定する

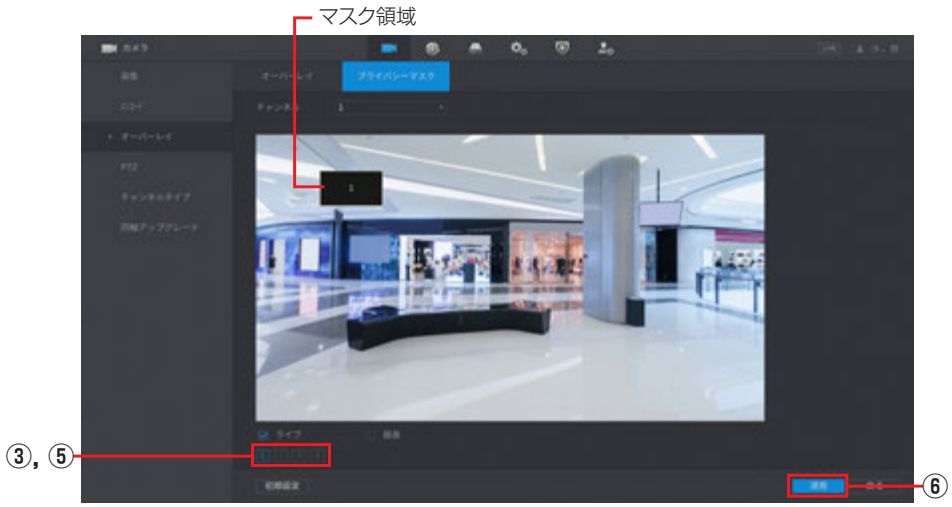
プライバシーマスクの設定は、以下の手順で行います。



①プライバシーマスクを設定するカメラを［チャンネル］から選択します。

②設定する対象（ライブ…ライブビュー画面、録画…録画映像）にチェックを入れ、選択します。
「ライブ」・「録画」を同時に選択して設定することもできます。

③設定番号（1 ～ 4 のいずれか）をクリックすると、画面にマスク領域が表示されます。



④マスク領域にマウスオーバーすると、緑色の枠が表示されるので、隠したい領域を選択します。

クリック＆ドラッグでマスク領域を移動できます。
マウスカーソルを枠上に重ねると、カーソルが ↔ 表示になります。そのままクリック＆ドラッグすると、領域を拡大／縮小できます。

⑤ 1 画面に複数の領域を設定したい場合は、手順③とは異なる設定番号をクリックし、新たにマスク領域を設定します。

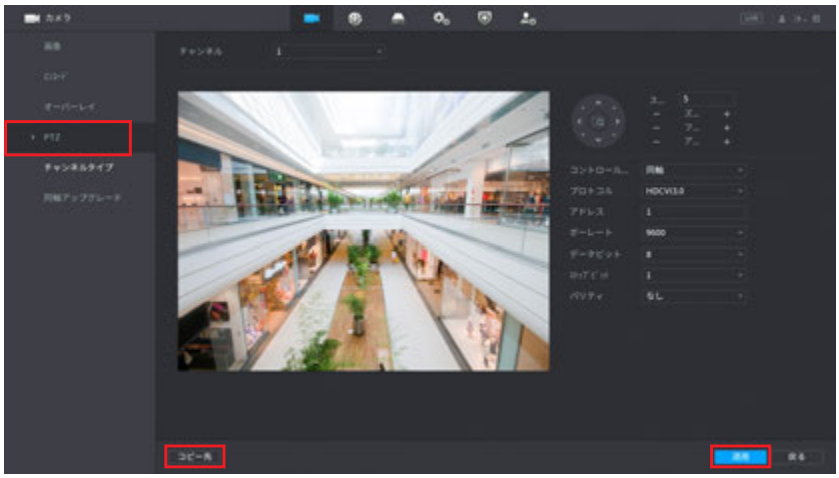
マスク領域を消したいときは、設定番号を再度クリックして灰色にしてください。

⑥領域の設定が完了したら、［適用］をクリックします。

ライブビュー画面、または録画再生画面でプライバシーマスクが設定されていることを確認してください。

PTZ

PTZ に対応しているカメラは、パン制御（P）、チルト制御（T）、ズーム制御（Z）ができます。
詳しい操作方法は➡ 37 ページ「カメラを操作する」をご参照ください。
※パン制御、チルト制御は将来の機能拡張用の設定項目となります。現在はご利用になれません。



項目	内容
チャンネル	制御するカメラを選択します。
コントロール	PTZ を制御する信号経路を選択します。 [シリアル／同軸（初期値）]
プロトコル	アナログ映像を送信する規格を選択します。 [NONE ／ HDCVI3.0（初期値）／ HDCCTV2.0]
アドレス	アドレスを設定します。初期値 1 の設定のままご使用ください。
ボーレート	デジタルデータをアナログ変調させ、シリアル転送する際の伝送速度を選択します。 [1200 ／ 2400 ／ 4800 ／ 9600（初期値）／ 19200 ／ 38400 ／ 57600 ／ 115200]
データビット	アナログ信号をデジタル信号に変換する際のビット数を選択します。 [5 ～ 8（初期値：8)]
ストップビット	1 バイトの通信が終了するビット数を選択します。 [1（初期値）／ 1.5 ／ 2]
パリティ	伝送データに誤りがないかの判定条件を選択します。 [なし（初期値）／奇数／偶数／マーク／スペース]

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

●［コピー先］をクリックすると、設定を他のカメラにコピーすることができます。

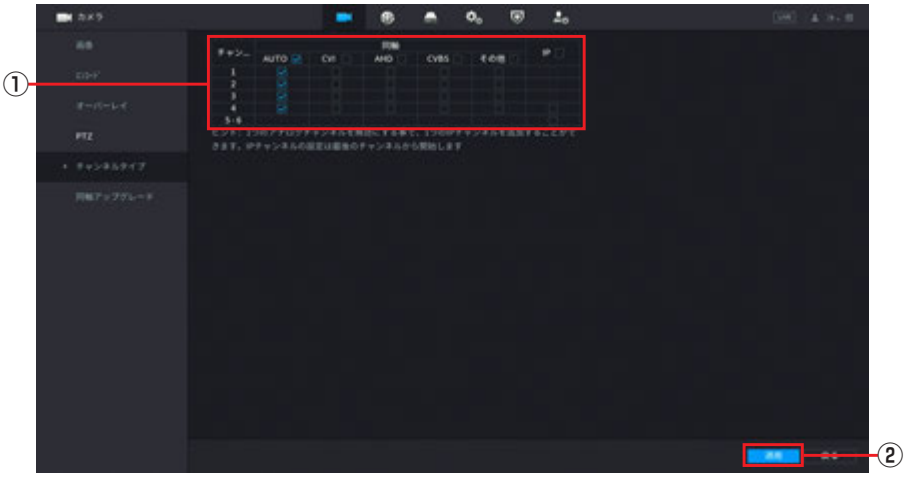
チャンネルタイプ

IP カメラの入力チャンネルの追加、またはチャンネルごとに入力できるカメラ信号を設定できます。
カメラ信号は、同軸（CVI）・AHD・CVBS（アナログ）・IP カメラに設定することができます。
初期設定では AUTO になっています。

注意 **IP カメラの追加や変更を行った場合、同軸（CVI）接続している残りのすべてのカメラの SMART 検出機能は使用できなくなりますのでご注意ください。**

チャンネルタイプの変更

チャンネルタイプの変更は、以下の手順で行います。



①チャンネルごとにカメラ信号を入力する形式を選択します。

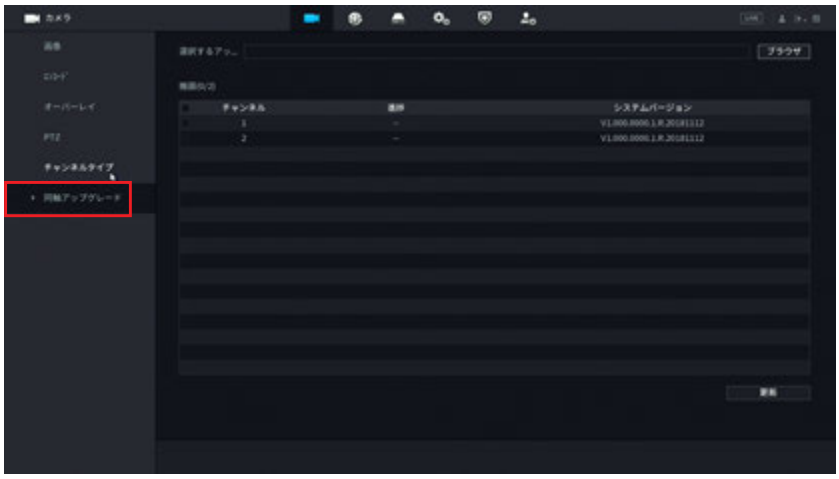
※IP の入力は最終チャンネルから順番にしか変更できません。

②設定が完了したら、［適用］をクリックします。

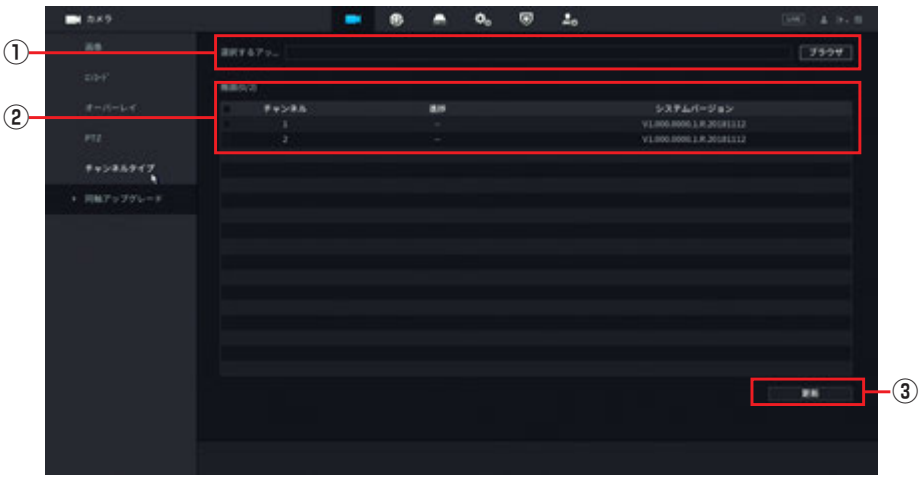
再起動の確認画面が表示されたら［OK］をクリックしてシステムを再起動させます。

同軸アップグレード

あらかじめダウンロードしておいたファームウェアファイルを指定して、DX アンテナ製の CCE3C シリーズの同軸カメラのシステムをアップデートします。



アップデートは以下の手順で行います。



①USB デバイスを接続してブラウザボタンをクリックし、保存されたアップデートファイルを選択します。

②アップデートするカメラにチェックを入れ選択します。

③［更新］をクリックします。

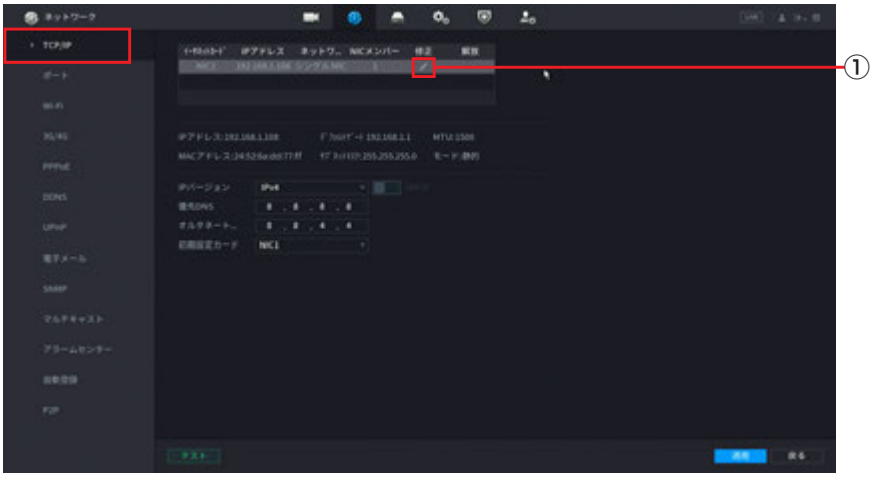
ネットワーク

設定画面を開くには、メインメニュー下部の［ネットワーク］をクリックします。

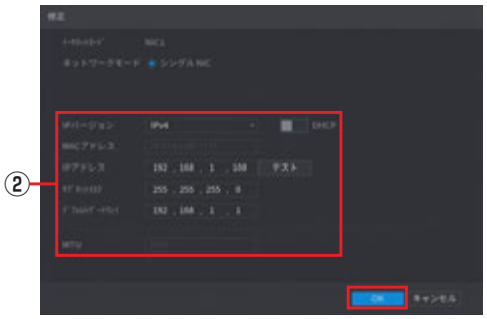
TCP/IP

レコーダーをネットワークに接続するための設定です。
設定は、以下の手順で行います。

① をクリックします。

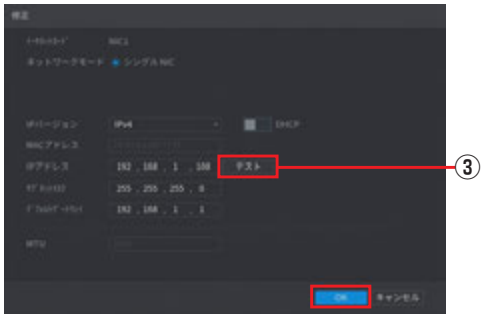


②各々の設置場所に必要な IP アドレスを入力し、設定が完了したら、［OK］をクリックします。



※各項目の設定値につきましては、設置場所のネットワーク管理者にお問い合わせください。

③［テスト］をクリックし、「IP は利用可能です」のメッセージが表示されたら［OK］をクリックします。



※「IP 重複」のメッセージが表示された場合は、同じ IP アドレスが設定されている機器がすでにネットワーク上に存在しています。設定を確認してください。

④設定が完了したら、［適用］をクリックします。

ポート

通常、ポート番号は初期設定から変更する必要はありません。
この設定はおもに UPnP 設定と合わせて設定します。

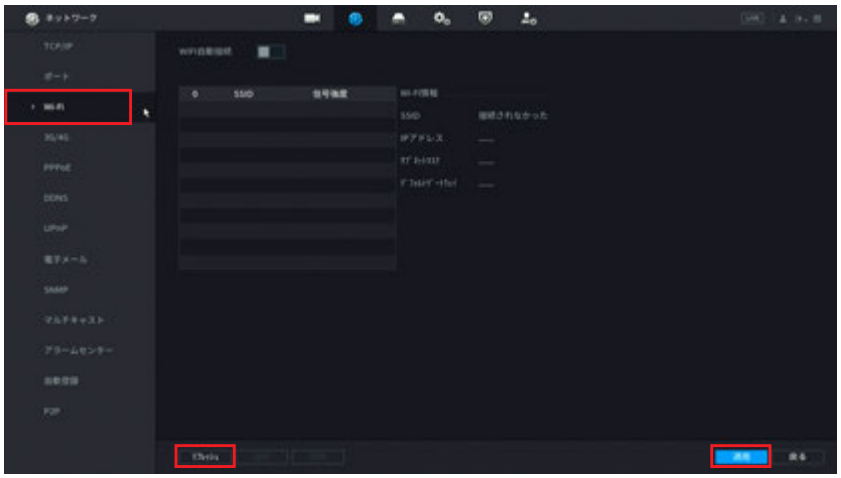
項目	内容
最大接続数	WEB、プラットフォーム、携帯電話など、デバイスに同時にアクセスできる最大クライアント数を 0 ～ 128 の範囲で設定します。（初期値：128）
TCP ポート	実際の状況に応じて値を入力します。（初期値：37777）
UDP ポート	実際の状況に応じて値を入力します。（初期値：37778）
HTTP ポート	ポート番号を設定します。（初期値：80） ポート番号は 1 から 65535 の範囲で設定できますが、以下の番号は予約されているので、設定できません。 21、23、2000、3702、60000
HTTPS ポート	HTTPS のポート番号を設定します。（初期値：443）
RTSP ポート	実際の状況に応じて値を入力します。（初期値：554）
NTP サーバーポート	実際の状況に応じて値を入力します。（初期値：123）
POS ポート	POS 設定に応じて値を設定します。（初期値：38800）

※ RTSP のライブ映像視聴は非対応

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

Wi-Fi

（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）



項目	内容
WIFI 自動接続	WiFi への自動接続を有効に設定します。（初期値：無効）

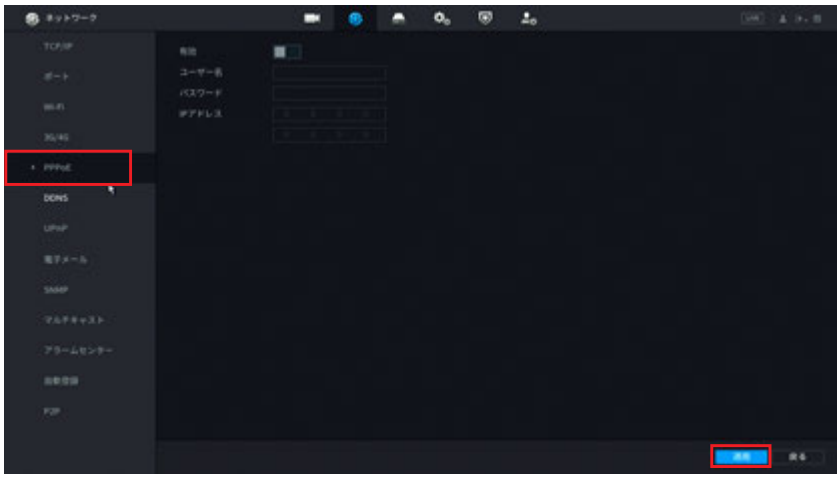
3G/4G

（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

項目	内容
イーサネットカード	イーサネットカードの名前を表示します。
有効	□（チェックボックス）に✓（チェック）を入れると有効になります。
ネットワークタイプ	ネットワークタイプを表示します。異なるタイプは異なるサプライヤーを表します。
APN	デフォルトの APN 番号を表示します。
認証タイプ	認証モードです。PAP、CHAP、または NO_AUTH を選択できます。
ダイヤルアップ番号	デフォルトのダイヤル番号を表示します。
ユーザー名	登録したアカウントを入力します。
パスワード	設定したパスワードを入力します。
ネットワーク状態	接続状態を表示します。

PPPoE

インターネットに接続する場合の設定です。

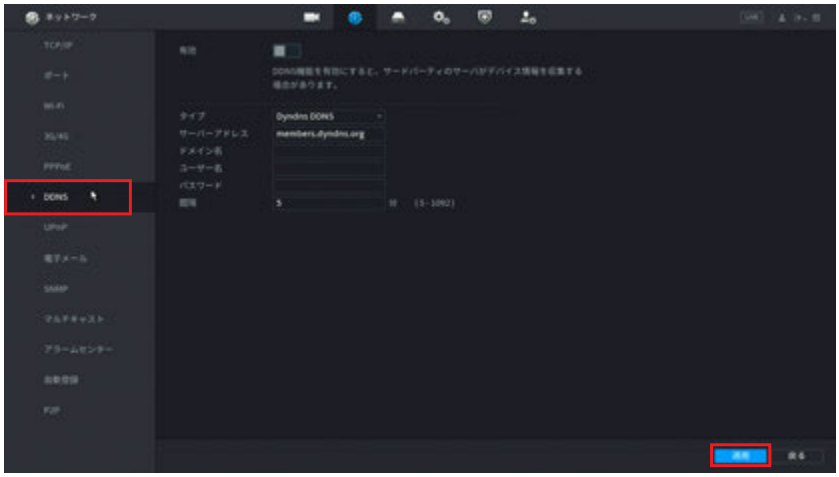


項目	内容
有効	PPPoE をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：無効）
ユーザー名	登録したアカウントを入力します。
パスワード	設定したパスワードを入力します。
IP アドレス	PPPoE を有効に設定して、接続先のユーザー名、パスワードを入力し、「適用」をクリックすると、接続先の IP 情報が表示されます。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

DDNS

DDNS（ダイナミック DNS）を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。この機能を利用するには、各種 DDNS サービスに登録する必要があります。

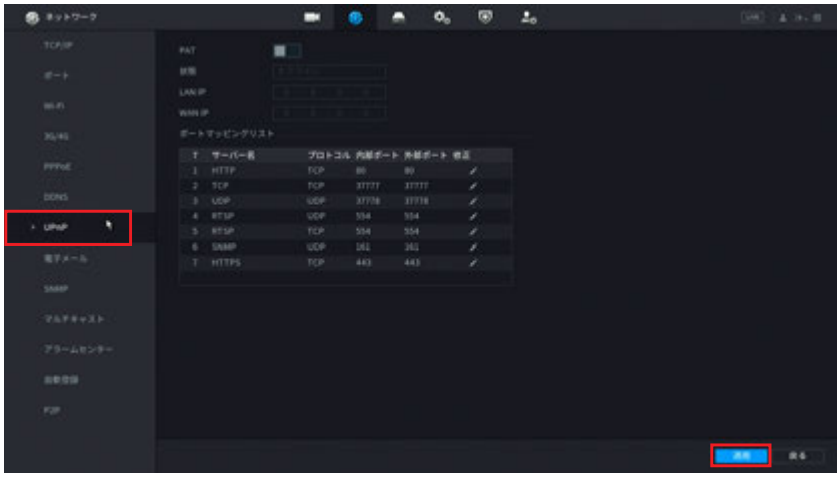


項目	内容
有効	DDNS をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：無効）
タイプ	Dyndns DDNS、No-IP DDNS、CN99 DDNS から選択できます。
サーバーアドレス	DDNS サービスタイプに基づいた、サーバーアドレスが自動で入力されます。
ドメイン名	登録したドメイン名を入力します。
ユーザー名	登録したアカウントを入力します。
パスワード	設定したパスワードを入力します。
間隔	DDNS を更新する時間を 5 ～ 1092 の範囲で設定します。（初期値：5）

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

UPnP

ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。



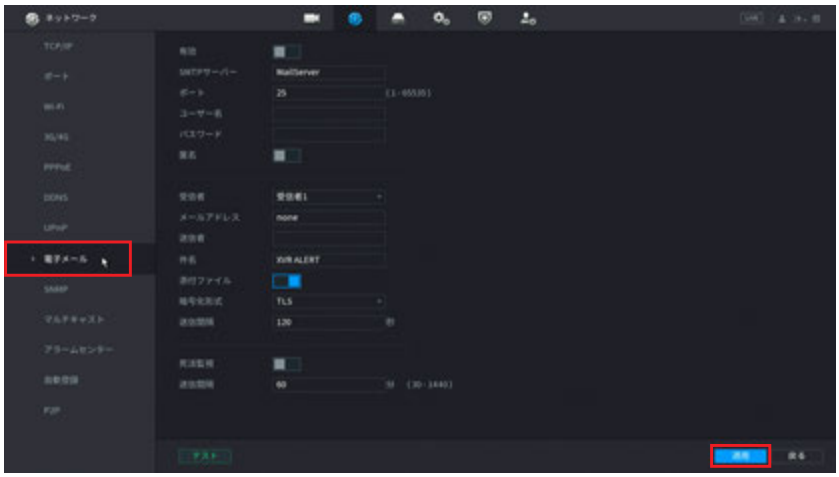
項目	内容
PAT	ポートマッピング機能をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：無効）
状態	UPnP 機能のステータスを表示します。
LAN IP	ルーターの LAN IP アドレスを入力します。
WAN IP	ルーターの WAN IP アドレスを入力します。
ポートマッピングリスト	各プロトコルのリストを表示します。

- ポートマッピングが完了したら、Web ブラウザのアドレスバーに以下を入力すると、本製品の Web 管理画面にアクセスできます。
  http://（ルーターの WAN ポート IP アドレス）:（外部 HTTP ポート）
  例）IP アドレス：10.2.2.10
  外部 HTTP ポート番号：82　の場合は、
  http://10.2.2.10:82
- この機能を使うためには、本製品が接続されているネットワーク上にあるルーターの設定も必要となります。インターネット側からのアクセスを受け入れる設定のため、セキュリティに充分配慮の上で設定を実施してください。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

電子メール

アラーム発生時に送信する電子メールの設定をします。



項目	内容
有効	電子メール機能をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：無効）
SMTP サーバー	SMTP サーバー情報を入力します。
ポート	
ユーザー名	認証用のユーザー名とパスワードを入力します。
パスワード	
匿名	メールに送信者名を表示する（青色）・しない（灰色）を設定します。
受信者	受信者の情報を入力します。宛先は最大 3 件まで登録できます。
メールアドレス	
送信者	メール送信者のメールアドレスを設定します。
件名	メールの件名を設定します。
添付ファイル	メール送信時に画像を添付する（青色）・しない（灰色）を設定します。
暗号化形式	メールに暗号化設定をします。［None ／ SSL ／ TLS（推奨 / 初期値）］
送信間隔	次のメールの送信間隔を設定します。（0 ～ 3600 秒、初期値：120 秒）
死活監視	レコーダーの起動確認をメール送信で確認する（青色）・しない（灰色）を設定します。
送信間隔	死活監視メールの送信間隔を設定します。（30 ～ 1440 分、初期値：60 分）

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

●［テスト］をクリックすると、メールの送信テストを行えます。
すべての受信者の状態が有効となっていることをご確認ください。複数の受信者を設定したときに 1 つでも受信者の設定に失敗がある場合は、正常な受信者を含めすべての受信者宛メールが送信されません。

✎ 一部の Web メールサービスではご利用いただけない場合があります。

SNMP

SNMP を使用して本製品と通信し、情報を取得します。

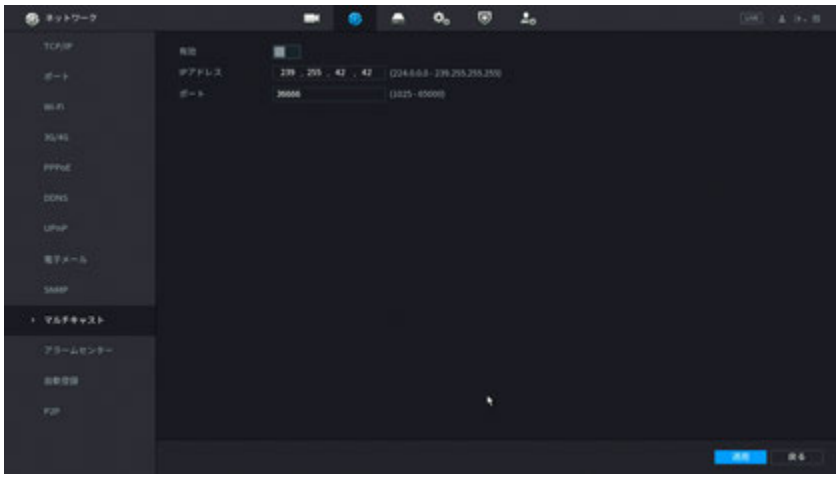
項目	内容
有効	SNMP をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：無効）
バージョン	使用している SNMP バージョンを選択します。
SNMP ポート	エージェントプログラムの監視ポートを表示します。
コミュニティ読取	エージェントプログラムでサポートされている読み取り／書き込み文字列を示します。
書き込みコミュニティ	
トラップアドレス	トラップ情報を送信するエージェントプログラムの宛先アドレスを表示します。
トラップポート	トラップ情報を送信するエージェントプログラムの宛先ポートを表示します。
読取専用ユーザ	デバイスへのアクセスを許可する、「読み取り専用」権限を持つユーザー名を入力します。
読み取り／書き込みユーザー名	デバイスへのアクセスを許可する、「読み取りと書き込み」権限を持つユーザー名を入力します。
認証タイプ	MD5 または SHA をシステムが自動的に認識します。
認証パスワード	認証用のパスワードを入力します。
暗号化形式	暗号化タイプを選択します。（初期値：CBC-DES）
暗号化パスワード	暗号化用のパスワードを入力します。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

SNMP マネージャー側で、デジタルビデオレコーダー / カメラの機器名称は取得できません。

マルチキャスト

本製品に接続する Web クライアントの数が多いときは、マルチキャストを使用することができます。



項目	内容
有効	マルチキャスト機能をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：無効）
IP アドレス	IP アドレスとポート番号を設定します。
ポート	●IP アドレスは 224.0.0.0 から 239.255.255.255 までの範囲のクラス D アドレスです。 ●以下の IP アドレスは特別な用途のために用いられます。LAN 上のみで使用されます。

224.0.0.0 ～ 224.0.0.255	LAN 上のみで使用されます。
224.0.0.1	全ホストグループのアドレス用。
224.0.0.2	サブネット上のすべてのルーター用。
224.0.0.5	すべての OSPF ルーター用。
224.0.0.13	すべての PIMv2 ルーター用。

映像ストリームの再生ソフトなどでの映像視聴はサポートしていません。マルチキャストで送信している映像を確認する場合は、Web 管理画面で「ライブビュープロトコル」を「マルチキャスト」に設定して、ご確認ください。

アラームセンター

アラームをサーバーに通知する設定です。サーバーで定期的にアラームの確認が行えます。

※この機能は、サーバーの設置と設定が必要です。通常は設定の必要はありません。

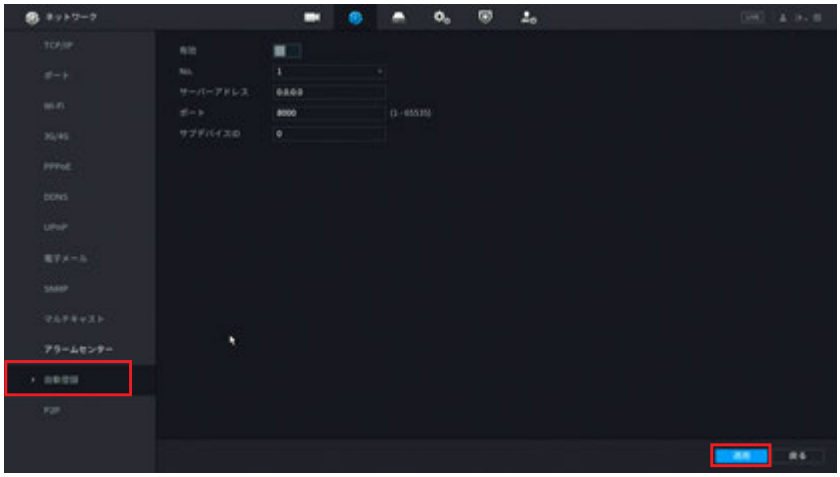
項目	内容
有効	アラームサービスをスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：無効）
プロトコルの形式	プロトコルタイプを選択します。（初期値：アラームセンター）
サーバーアドレス	アラーム情報を送信するサーバーのアドレスを入力します。
ポート	プロトコルの標準番号です。
自動報告時間	［なし／毎日（初期値）／日／月／火／水／木／金／土］ ［00:00 ～ 23:00（1 時間単位、初期値：08:00）］

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

自動登録

デジタルレコーダーをサーバーに登録する設定です。

※この機能は、サーバーの設置と設定が必要です。通常は設定の必要はありません。



項目	内容
有効	自動登録をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：無効）
No.	自動登録を有効にするチャンネル番号を選択します。
サーバーアドレス	登録する IP アドレスまたはサーバードメインを入力します。
ポート	プロトコルの標準番号です。
サブデバイス ID	サーバーによって割り当てられ、デバイスに使用される ID です。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

P2P

遠隔でレコーダーの映像の表示、録画映像の再生、設定変更を行うための設定です。

※あらかじめ TCP/IP の設定を行う必要があります。

➡ 89 ページ「TCP/IP」

項目	内容
有効	P2P をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：有効）
状態	デバイスのネットワーク状態を表示します。
P2P クライアント	アプリ（※）等からデバイスを追加する際に、QR コードをスキャンすることで、追加することができます。
機器 SN	アプリ（※）側でデバイスを登録する際に必要となるシリアル番号です。 QR コードをスキャンすることで、登録時に使用できます。

※アプリ名は Easy Viewer Pro（Android 版）/ Easy Viewer Plus(iOS 版）です。
操作方法はDサポで確認してください。

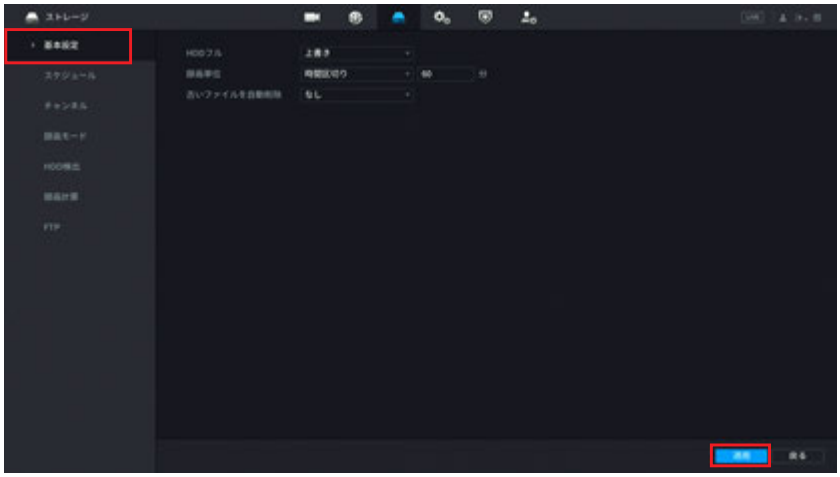
設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

ストレージ

設定画面を開くには、メインメニュー下部の［ストレージ］をクリックします。

基本設定

ストレージの基本的な設定をします。



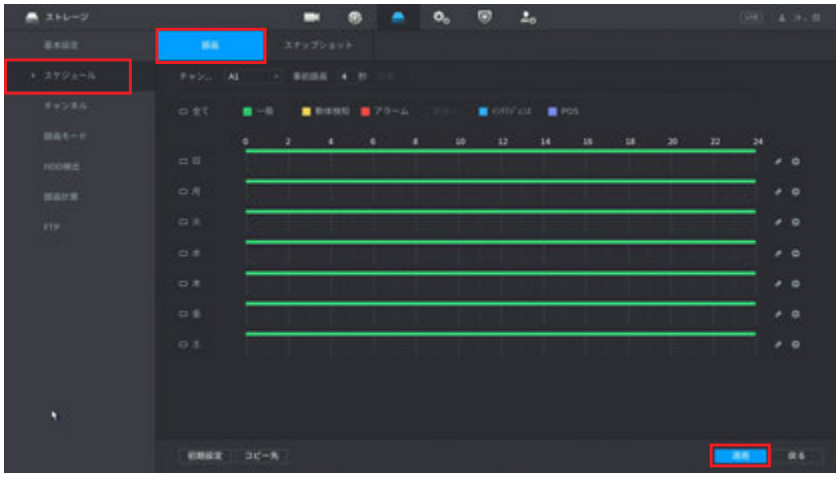
項目	内容
HDD フル	ハードディスク容量がいっぱいになったときの動作を設定します。 **停止**：録画データの書き込みを停止します。 **上書き（初期値）**：日付の古いファイルから順に削除し、新しいデータを書き込みます。
録画単位	ひとつの録画ファイルの最大基準を、時間にするか、ファイルサイズにするかを設定します。 **時間区切り（初期値）**：指定した時間を 1 つのファイルの最大時間として録画します。入力欄に時間を入力します。（初期値／最大値：60 分） **ファイルサイズ**：指定したサイズを 1 つのファイルの最大サイズとして録画します。入力欄にファイルサイズを入力します。（初期値：1024M ／最大値 2048M）
古いファイルを自動削除	古い録画ファイルを保存するか、指定した期間が過ぎたら消去するかを設定します。 **なし（初期値）**：ハードディスクがいっぱいになるまで録画データを保存します。 **カスタム**：指定した日にちが経過したファイルを自動的に削除します。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

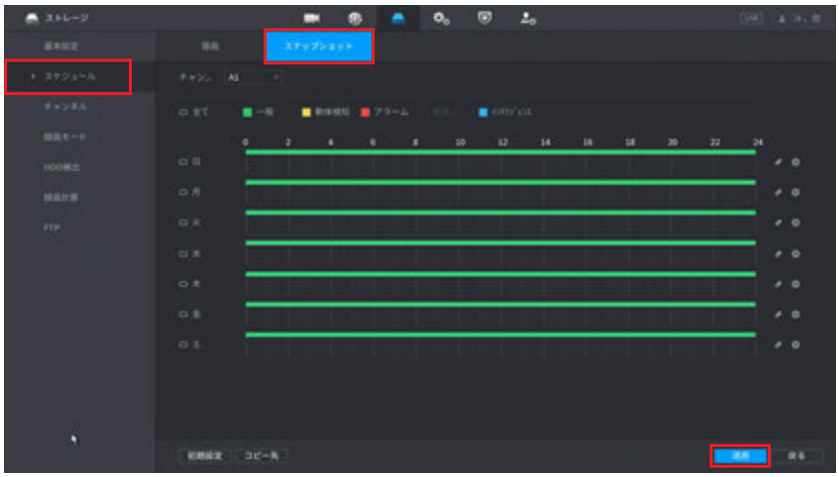
スケジュール

録画およびスナップショットのスケジュールを設定することができます。

録画



スナップショット

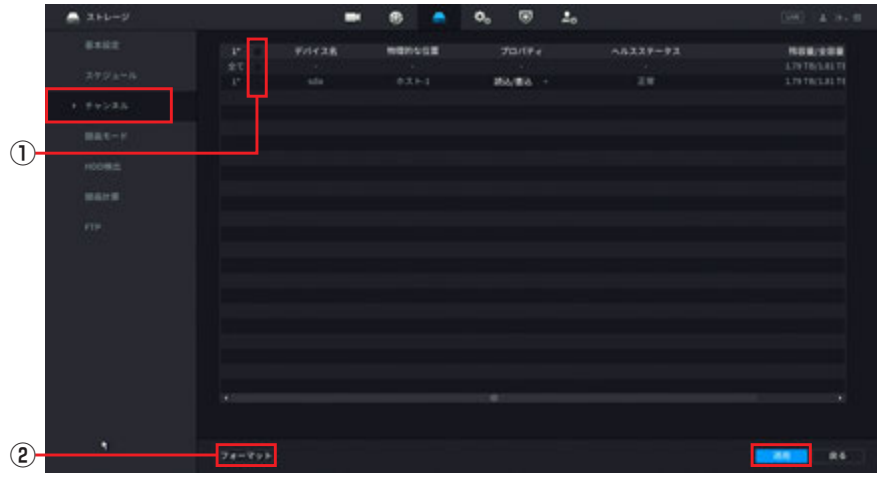


録画・スナップショットの各設定方法については「録画スケジュールを設定する」（➡ 48 ページ）をご参照ください。

チャンネル

接続している HDD のフォーマットが行えます。

本製品はあらかじめ HDD のフォーマットがされています。

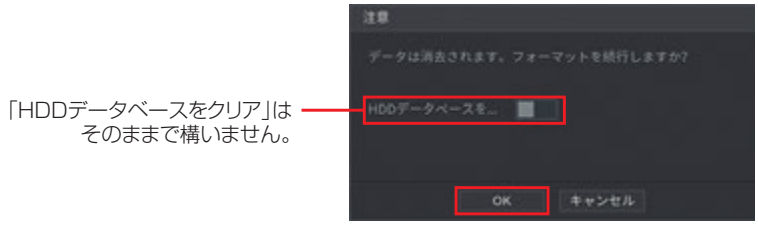


①フォーマットを行う HDD を選択します。

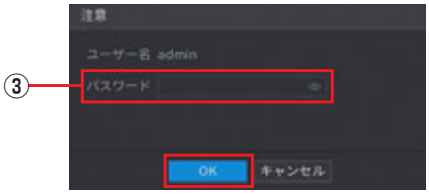
最上部、または「全て」の□（チェックボックス）に✓（チェック）を入れると、すべての HDD を選択できます。

②設定が完了したら、［フォーマット］をクリックします。

確認メッセージが表示されたら「OK」をクリックします。



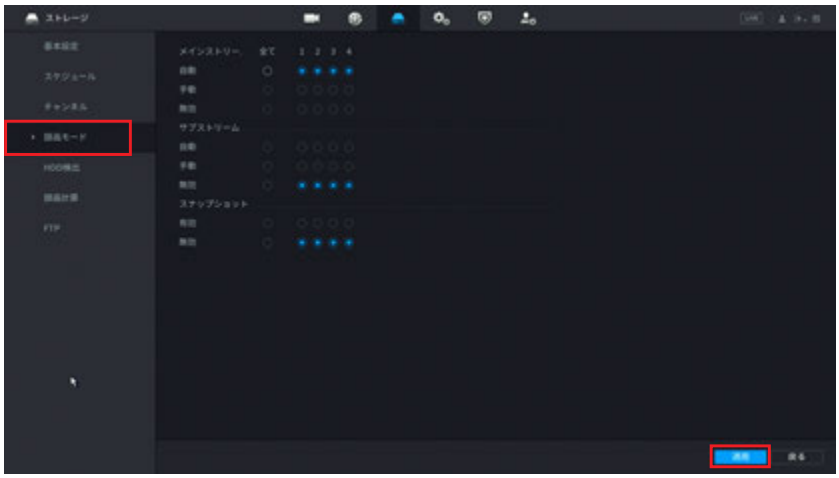
③パスワード入力画面が表示されたら「admin」アカウントのパスワードを入力し、［OK］をクリックします。



フォーマット終了後、システムが再起動します。

録画モード

チャンネルごとのメインストリーム・サブストリーム録画、およびスナップショットの録画の設定が行えます。
録画を有効にする場合は「自動」を選択、録画しない場合は「無効」を選択してください。(「手動」は使用しないでください。)
初期値は、メインストリーム、サブストリーム共に自動、スナップショットは無効です。

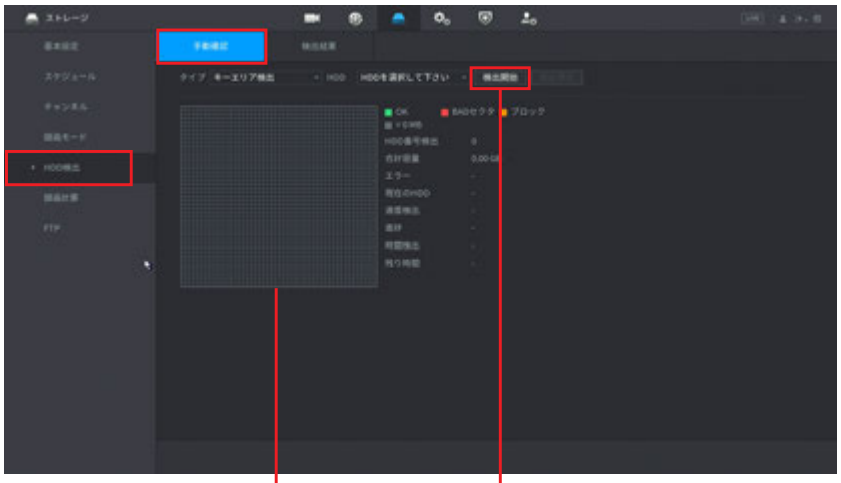


設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

HDD 検出

手動確認

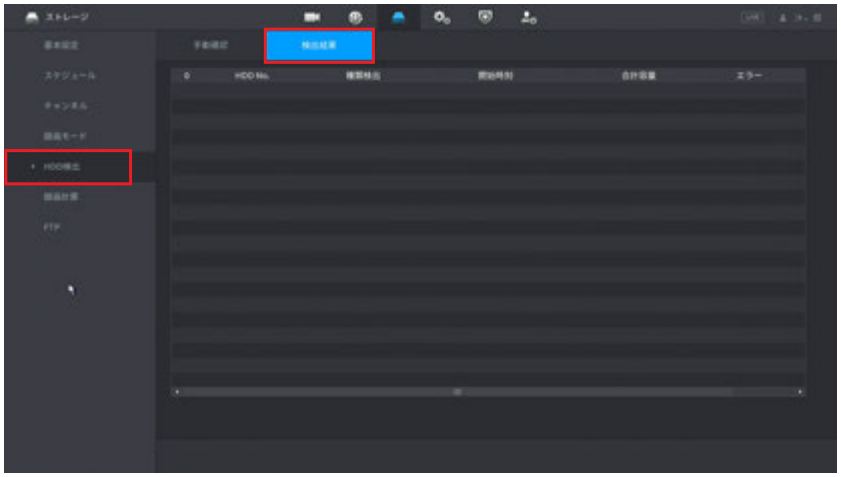
ハードディスクに不良セクタがないかチェックします。



項目	内容
タイプ	チェックする範囲を選択します。 キーエリア検出：ディレクトリなどのデータ管理エリアをチェックします。 グローバル検出：すべての範囲をチェックします。
HDD	チェックするディスクを選択します。

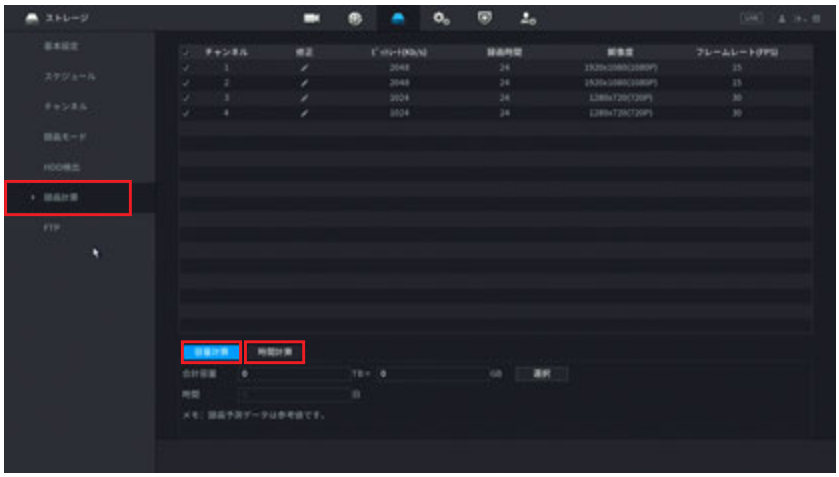
検出結果

チェックの結果を確認できます。

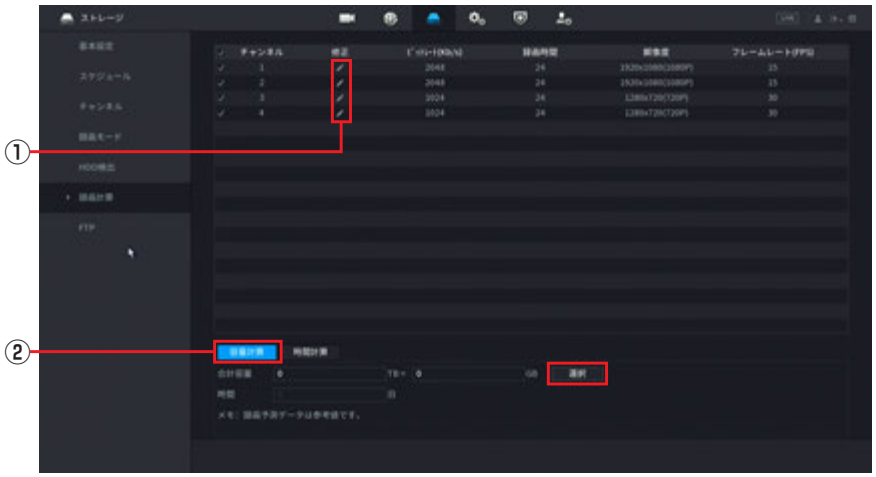


録画計算

ハードディスク容量に応じて映像を録画できる時間を計算したり、録画時間に応じて必要となるハードディスク容量を計算することができます。



録画時間を算出する



①必要に応じて をクリックし、録画に関する設定を行います。

選択したチャンネルの解像度、フレームレート、ビットレート、および記録時間を設定できます。

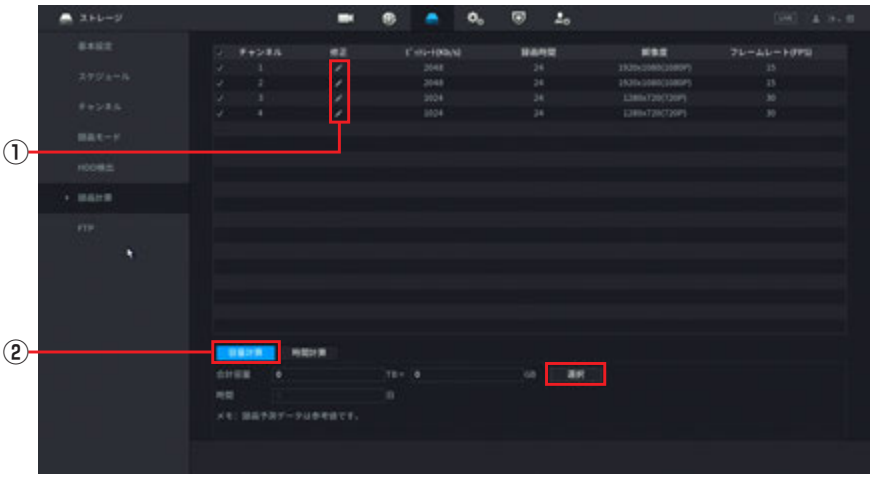
②［容量計算］をクリックし、［選択］をクリックします。

ハードディスクの選択画面が表示されます。

③録画時間計算を行うハードディスクを選択し、「適用」をクリックします。

「時間」欄に録画可能時間（日）が表示されます。

HDD 容量を算出する



①必要に応じて をクリックし、録画に関する設定を行います。

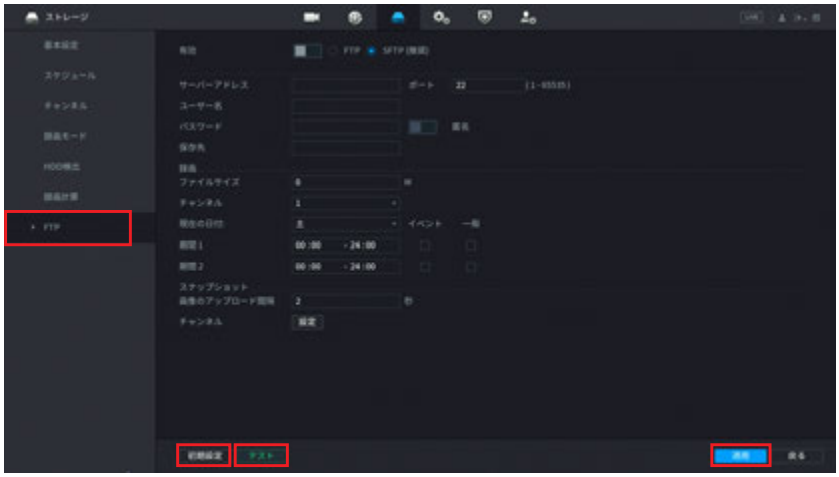
選択したチャンネルの解像度、フレームレート、ビットレート、および記録時間を設定できます。

②［時間計算］をクリックし、「時間」欄に録画日数を入力します。

「合計容量」欄に録画時間に応じて必要となるハードディスク容量が表示されます。

FTP

録画した映像とスナップショットを FTP サーバーに保存して表示できます。



項目	内容
有効	FTP アップロード機能をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：無効）
FTP ／ SFTP（推奨）	**FTP**：プレーンテキストで送信します。 **SFTP（初期値）**：テキストを暗号化して送信します。
サーバーアドレス	FTP サーバーの IP アドレスを入力します。
ポート	初期値は 22 です。
ユーザー名	FTP サーバーにログインするためのユーザー名とパスワードを入力します。
パスワード	
匿名	有効（青色）にすると、ユーザー名とパスワードを入力せずに匿名でログインできます。
保存先	FTP サーバー上にフォルダを作成します。 ※リモートディレクトリの名前を入力しない場合、システムは IP と時間に従って自動的にフォルダを作成します。 ※リモートディレクトリの名前を入力すると、システムは最初に FTP ルートディレクトリの下に入力された名前のフォルダを作成し、次に IP と時間に従って自動的にフォルダを作成します。
録画ファイルサイズ	アップロードされた録画映像の長さを入力します。 ※入力した長さが録画されたビデオの長さより短い場合、アップロードできるのは録画されたビデオの一部のみです。 ※入力した長さが録画されたビデオの長さよりも長い場合は、録画されたビデオ全体をアップロードできます。 ※入力した長さが 0 の場合、録画したビデオ全体がアップロードされます
チャンネル	FTP 設定を適用するチャンネルを選択します。
現在の日付	曜日を選択し、記録されたファイルをアップロードする期間を設定します。 **イベント**：アップロードするファイルのタイプを「イベント」にします。 **一般**：アップロードするファイルのタイプを「一般」にします。
期間 1 ／期間 2	1 週のうち 2 つの期間を設定できます。

項目	内容
スナップショット画像のアップロード間隔（秒）	スナップショット間隔を設定するには、 ［メインメニュー］＞［カメラ］＞［エンコード］＞［スナップショット］を選択します。 ※ この間隔がスナップショット間隔よりも長い場合、システムは最新のスナップショットを取得してアップロードします。たとえば、間隔は 5 秒で、スナップショット間隔はスナップショットごとに 2 秒であり、システムは 5 秒ごとに最新のスナップショットをアップロードします。 ※ この間隔がスナップショット間隔よりも短い場合、システムはスナップショット間隔ごとにスナップショットをアップロードします。たとえば、間隔は 5 秒で、スナップショット間隔はスナップショットごとに 10 秒であり、システムは 10 秒ごとにスナップショットをアップロードします。
チャンネル	FTP 設定を適用するチャンネルを選択します。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

- ［テスト］をクリックすると、成功または失敗を示すメッセージをポップアップ表示します。失敗した場合は、ネットワーク接続または構成を確認してください。
- ［初期設定］をクリックすると、設定が初期値に戻ります。

システム

設定画面を開くには、メインメニュー下部の［システム］をクリックします。

基本設定

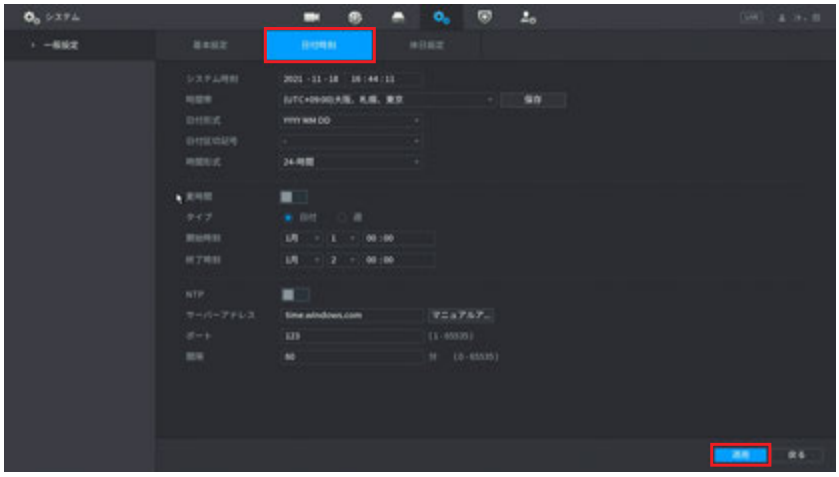
システムの基本的な設定をします。

項目	内容
デバイス名	本製品のデバイス名が表示されます。
機器番号	本製品のデバイス ID が表示されます。
言語	管理画面の表示言語を選択します。 （初期値：初期設定ウィザードで設定した言語となります。）
ビデオ規格	[PAL ／ NTSC] （初期値：初期設定ウィザードで設定した規格となります。）
リアルタイム再生（分）	ライブビュー上で簡易再生するときに、逆上る時間を設定します。 （初期値：5 分）
自動ログアウト（分）	一定時間操作しなかったときに、自動的にログアウトするまでの時間を設定します。 （初期値：10 分）
表示モニタ（ログアウト）	管理者（admin）がログアウトしているときに画面を表示する・しないを設定できます。 ✓（チェック）をはずすと表示しない設定になります。
ナビゲーションバー	ライブビュー画面下にナビゲーションバーを表示する（青色）・しない（灰色）を設定します。（初期値：表示しない）
マウス感度	マウスポインタの速度を 17 段階で設定できます。スライダーを右に移動させるほど速くなります。[1 ～ 17（初期値：14）]

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

日付時刻

本システムの時刻を設定します。

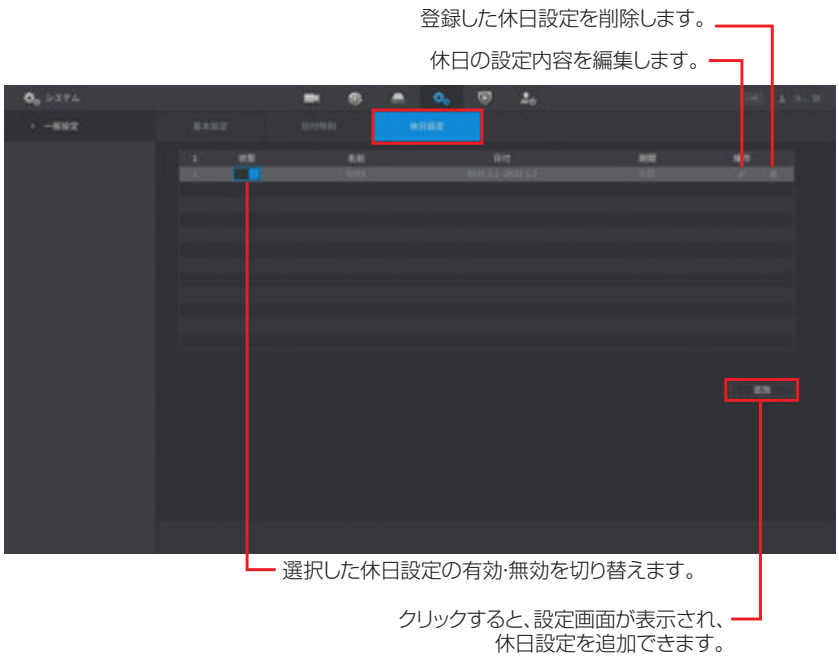


項目	内容
システム時刻	システム時刻を設定します。設定した内容を反映するには［保存］をクリックします。
時間帯	タイムゾーンを選択します。設定した内容を反映するには［保存］をクリックします。
日付形式	カメラ映像の右上に表示する日付の形式を［YYYY MM DD］、［MM DD YYY］、［DD MM YYYY］の３種類から選択します。 （YYYY：西暦、MM：月、DD：日を表します。）
日付区切記号	日付の区切り記号を［ . ］、［ - ］、［ / ］の３種類から選択します。 例）［ - ］の場合は「2021-02-12」、［ / ］の場合は「2021/02/12」と表示します。
時間形式	時間表示形式を選択します。［12 時間／ 24 時間（初期値）］
夏時間	有効（青色）にすると、指定した期間、指定した時差でサマータイムを適用できます。 （初期値：無効）
タイプ	開始時刻・終了時刻の指定を日付、または週単位に切り替えます。（初期値：日付）
開始時刻・ 終了時刻	夏時間に設定する日付を設定します。 （［タイプ］で選択している項目によって設定内容が異なります。）
NTP	NTP（ネットワークタイムプロトコル）を使用する場合は有効（青色）にします。 （初期値：無効） ※ネットワーク接続が必要です。
サーバーアドレス	NTP を使用する場合は、NTP サーバーのアドレスを入力します。 （初期値：time.windows.com）
ポート	NTP を使用する場合は、NTP サーバーのポート番号を入力します。
間隔（分）	NTP を使用する場合は、時刻を更新する間隔を分単位で設定します。 ［0 ～ 65535 分（初期値：60 分）

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

休日設定

休日を定義します。定義した休日は、録画スケジュールを設定するときに利用します。



「追加」画面

休日を追加するには、「追加」をクリックすると設定画面が表示されます。

※すでに登録済みの休日を編集する場合、 をクリックすると同様の画面が表示されます。

項目	内容
名前	休日の名称を設定します。
リピートモード	［いつも］を選択すると毎年、休日を繰り返します。 （初期値：いつも）
期間	**日付**：（西暦）/ 月 / 日で設定できます。 **週**：（西暦）/ 月 / 第何週 / 曜日で設定できます。 （初期値：日付）
開始時刻（開始日時）／終了時刻（終了日時）	休日に設定する日付を設定します。 （［リピートモード］または［期間］で選択している項目によって設定内容が異なります。）
更に追加	クリック（青色）すると複数の休日を続けて設定できます。

設定した内容を反映するには［OK］をクリックします。

IP フィルタ

設定画面を開くには、メインメニュー下部の［IP フィルタ］をクリックします。

セキュリティステータス

レコーダーのセキュリティ設定状態を把握することができます。

緑色のアイコンはスキャンされたアイテムが正常な状態であることを表します。
オレンジ色のアイコンは危険な状態であることを表します。［詳細］をクリックすると、詳細なリスクの説明が表示されます。

「最適化」をクリックし、［HTTPS］を有効にして「適用」をクリックします。その後、「戻る」をクリックし、右クリックで詳細画面を消すことができます。

「構成のセキュリティ」がオレンジ色のアイコンになっている場合、［IP フィルター］［システムサービス］［HTTPS］で HTTPS 機能をスライダーで［有効］（青色）に設定します（初期値：無効）。その後、［セキュリティステータス］で「再スキャン」してください。

● ［再スキャン］をクリックすると、セキュリティステータスをスキャンできます。

■ユーザー＆サービスの検出

項目	内容
構成のセキュリティ	デバイスの構成にリスクがある場合、リスクを警告するためにアイコンがオレンジ色になります。［詳細］をクリックすると、詳細なリスクの説明が表示されます。
ログイン認証	ログイン認証にリスクがある場合、リスクを警告するためにアイコンがオレンジ色になります。

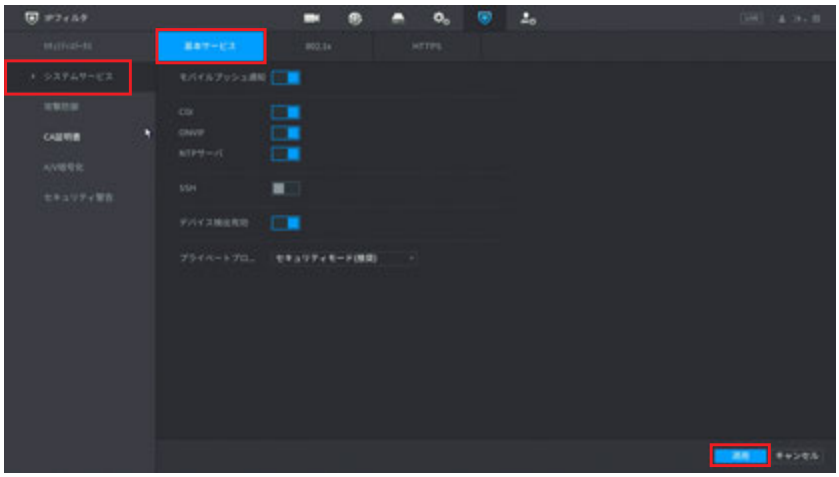
■セキュリティモジュールのスキャン

セキュリティモジュールの実行ステータスが表示されます。
セキュリティモジュールの詳細については、各アイコンにマウスオーバーすると、画面下部に説明が表示されます。

システムサービス

外部デバイスとの接続を行うために、基本サービス、802.1x、HTTPS など、レコーダーの基本情報を設定できます。

基本サービス



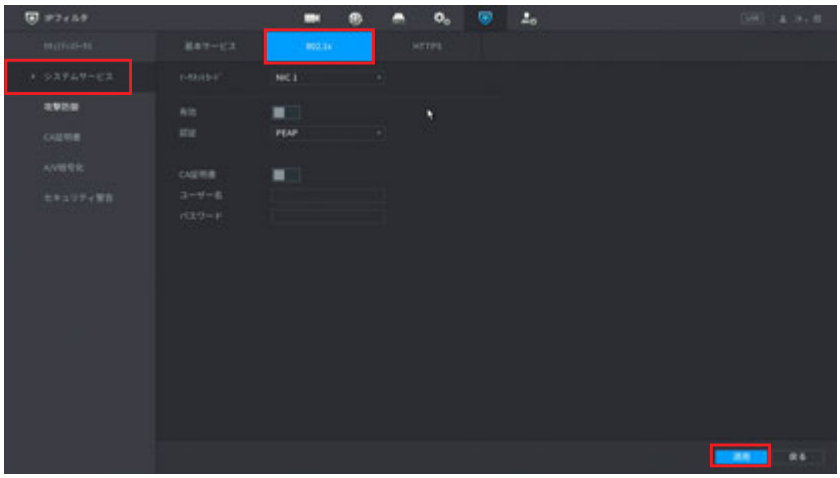
注意 **モバイルプッシュ通知、CGI、ONVIF、SSH、および NTP サーバーが有効になっている場合、安全上のリスクが生じる可能性があります。**

項目	内容
モバイルプッシュ通知	P2P クライアントに設定したデバイスへ、イベントの通知を行います。P2P アプリのインストールが必要です。（初期値：有効）
CGI	CGI プロトコルを介してリモートデバイスを追加できます。（初期値：有効）
ONVIF	ONVIF プロトコルを介してリモートデバイスを追加できます。（初期値：有効）
NTP サーバ	NTP サーバーを使用してデバイスを同期できます。（初期値：有効）
SSH	SSH サービスを利用できるようになります。（初期値：無効）
デバイス検出有効	他のデバイスでレコーダーを検索できるようになります。（初期値：有効）
プライベートプロトコル認証モード	**セキュリティモード（推奨）**：レコーダーに接続する際、ダイジェストアクセス認証を使用します。 **互換モード**：クライアントがダイジェストアクセス認証をサポートしていない場合は、このモードを選択します。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

802.1x

レコーダーが LAN に入るには、802.1x 認証に合格する必要があります。

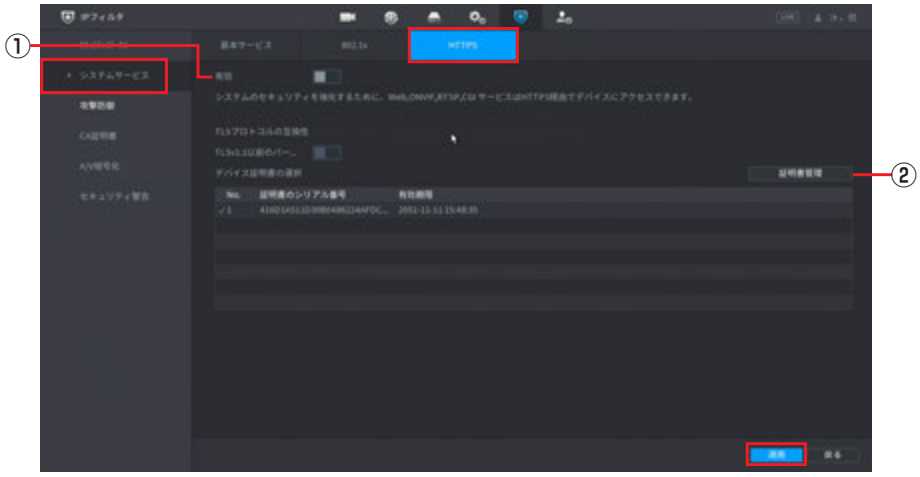


項目	内容
イーサネットカード	NIC を選択します。
有効	IEEE802.1x 認証を有効に設定します。（初期値：無効）
認証	**PEAP（初期値）**：保護された EAP プロトコルです。 **TLS**：トランスポート層のセキュリティです。 2 つの通信アプリケーションプログラム間にプライバシーとデータの整合性を提供します。
CA 証明書	CA 証明書を有効に設定します。（初期値：無効） ［証明書管理］をクリックして USB ストレージドライブから CA 証明書をインポートします。
ユーザー名	ユーザー名を入力します。
パスワード	パスワードを入力します。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

HTTPS

システムのセキュリティを強化するために、HTTPS 機能を有効にすることをおすすめ致します。



①スライダーを［有効］（青色）にします。

②［証明書管理］をクリックして、USB ストレージドライブから HTTPS 証明書を作成またはインポートします。

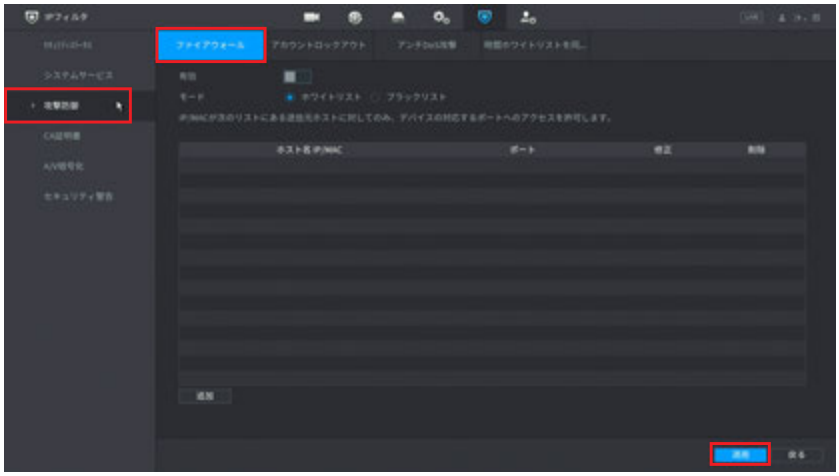
③HTTPS 証明書を選択します。

④設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

攻撃防御

ファイアウォール

ネットワークからの攻撃から防御する設定です。

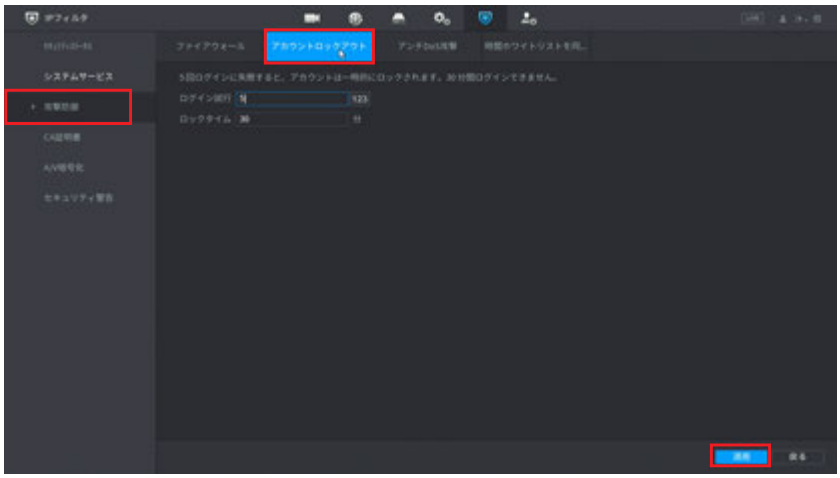


項目	内容
有効	ファイアウォールをスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：無効）
モード	**ホワイトリスト**：指定した IP アドレスのみアクセスを許可します。IP アドレスを指定せずに、「ホワイトリスト」を選択すると、リモートアクセスをすべて拒否します。 **ブラックリスト**：指定した IP アドレスからのアクセスを拒否します。
追加	タイプがネットワークアクセスの場合、IP アドレス、IP セグメント、および MAC アドレスを構成できます。 **IP アドレス**：許可または禁止されている IP アドレス、開始ポート、および終了ポートを入力します。 **IP セグメント**：IP セグメントの開始アドレスと終了アドレス、及び開始ポートと終了ポートを入力します。 **MAC アドレス**：許可または禁止されている MAC アドレスを入力します。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

アカウントロックアウト

ログインパスワードを間違えた場合の設定です。

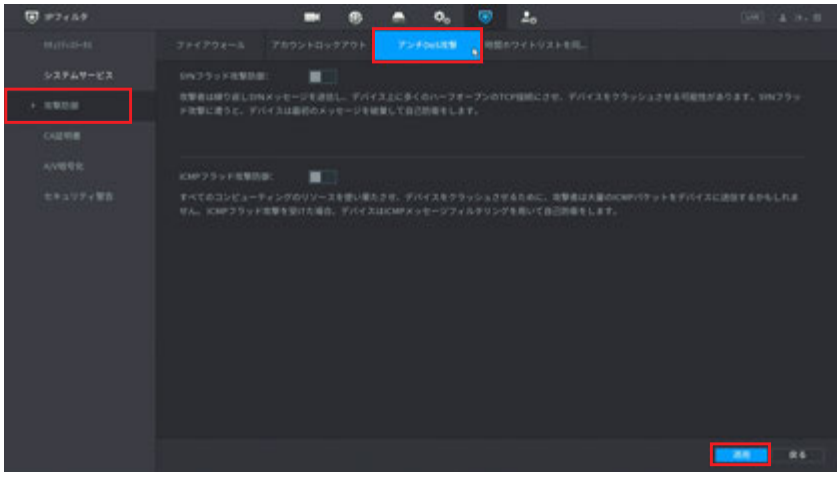


項目	内容
ログイン試行	誤ったパスワードの最大入力回数を設定します。(5 ～ 30、初期値：5) 入力が最大数を超えると、アカウントは「ロックタイム」で設定された期間ロックされ、ログインできなくなります。
ロックタイム	アカウントがロックされる期間を設定します。(5 ～ 120 分、初期値：30 分)

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

アンチ DoS 攻撃

SYN フラッド攻撃防御と ICMP フラッド攻撃防御を有効にして、レコーダーを DoS 攻撃から防御できます。

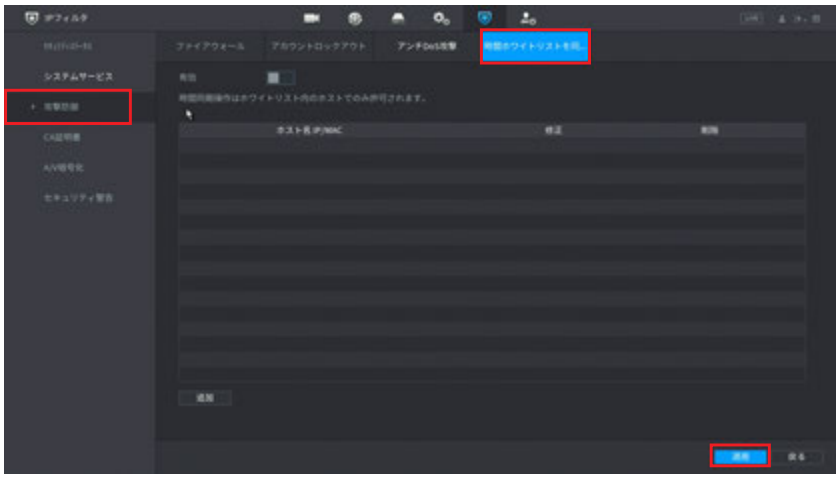


項目	内容
SYN フラッド攻撃防御	スライダーで［有効］(青色) に設定します。(初期値：無効) ※ それぞれの詳細な説明については画面の各項下に表示されています。
ICMP フラッド攻撃防御	

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

時間ホワイトリストを同期する

時間を同期するホストの設定です。



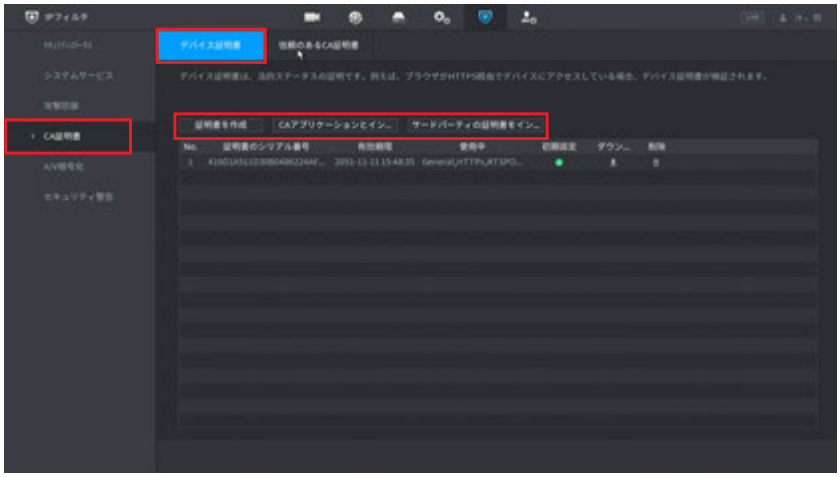
項目	内容
有効	リストに表示されたホストのみ時間を同期させることが可能となる機能を、スライダーで有効にする（青色）・しない（灰色）設定をします。（初期値：無効）
追加	タイプがネットワークアクセスの場合、IP アドレス、IP セグメント、および MAC アドレスを構成できます。
タイプ	IP アドレス、IP セグメントを選択できます。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

CA 証明書

デバイス証明書を作成またはインポートして、信頼できる CA 証明書をインストールできます。

デバイス証明書

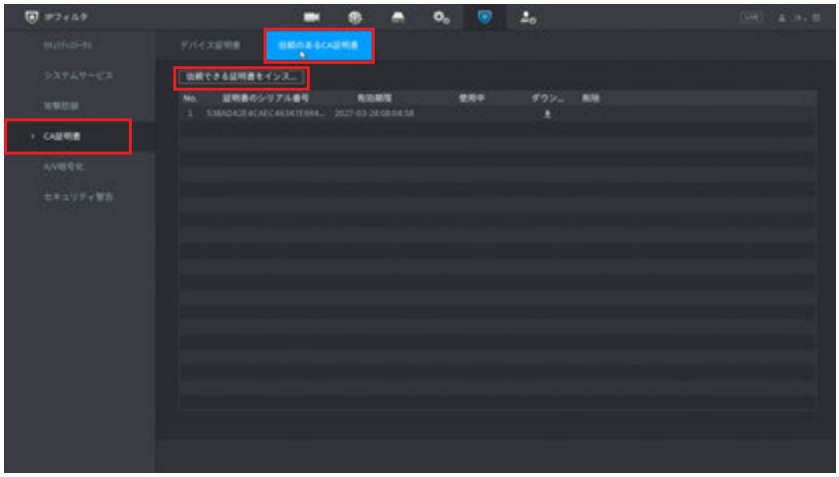


項目	内容
証明書を作成	必要な情報を入力して CA 証明書を作成します。
CA アプリケーションとインポート	画面に記載されている手順に従って、証明書要求ファイルを作成、申請し、発行された証明書をインポートします。 ※ 事前に USB ストレージドライブを挿入してください。
サードパーティーの証明書をインポート	サードパーティーの証明書をインポートします。 ※ 事前にサードパーティーの証明書が入った USB ストレージドライブを挿入してください。

経路	[ブラウザ] をクリックして、USB ドライブ内に保存されているサードパーティーの証明書を指定します。
プライベートキー	[ブラウザ] をクリックして、USB ドライブ上のサードパーティの証明書のプライベートキーを指定します。
プライベートキーパスワード	暗号化されたプライベートキーのパスワードを入力します。 ※ プライベートキーが暗号化されていない場合は、このパラメータを設定する必要はありません。

信頼のある CA 証明書

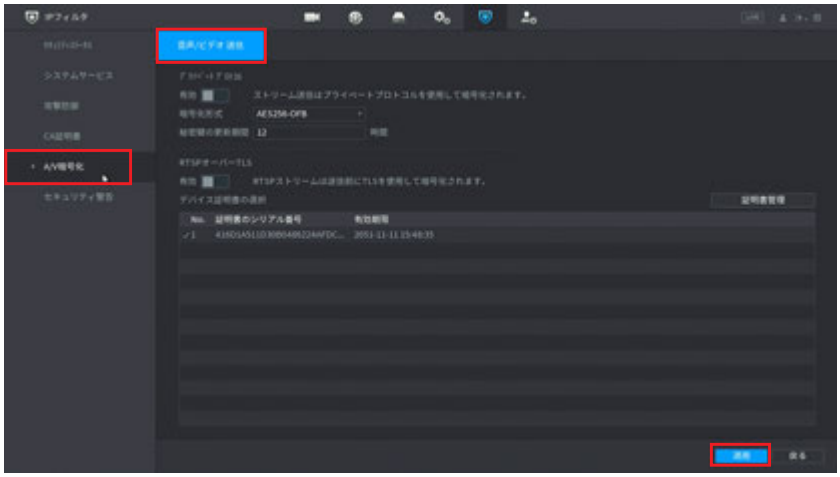
USB ストレージから、CA 証明書をインストールします。



項目	内容
信頼できる証明書をインストール	証明書をインストールします。 ※ 事前にサードパーティーの証明書が入った USB ストレージドライブを挿入してください。 **経路**：［ブラウザ］をクリックして、USB ドライブ内に保存されているサードパーティーの証明書を指定します。

A/V 暗号化

本製品は、データ送信中のオーディオとビデオの暗号化をサポートしています。



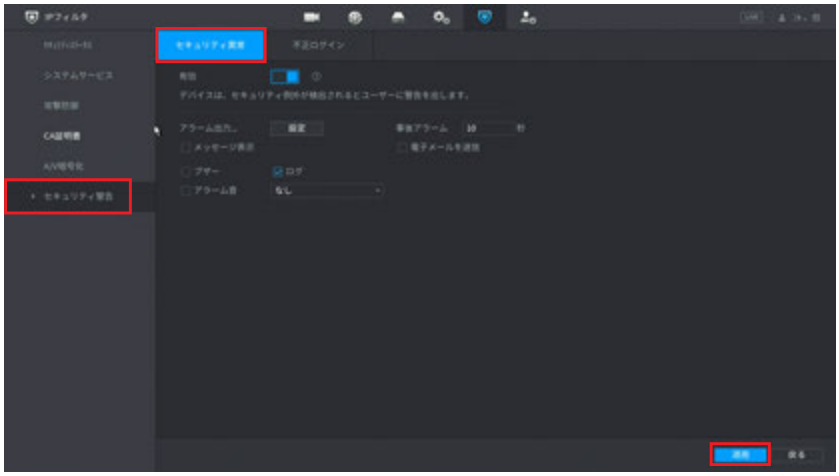
項目	内容
プライベートプロトコル	
有効	有効（青色）に設定すると、プライベートプロトコルを使用してストリームフレームを暗号化します。（初期値：無効）
暗号化形式	初期設定値のままで使用します。
秘密鍵の更新期間	シークレットキーの更新期間を 0 ～ 720 時間で設定します。（初期値：12 時間） ※「0」に設定した場合は、更新を行いません。
RTSP オーバー TLS	
有効	有効（青色）に設定すると、TLS を使用して RTSP ストリームを暗号化します。 （初期値：無効）
デバイス証明書の選択	RTSP over TLS のデバイス証明書を選択します。
証明書管理	証明書管理の詳細については「デバイス証明書」（➡ 119 ページ）をご参照ください。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

セキュリティ警告

セキュリティ異常

ネットワークからの攻撃に対し、異常を通知する設定です。

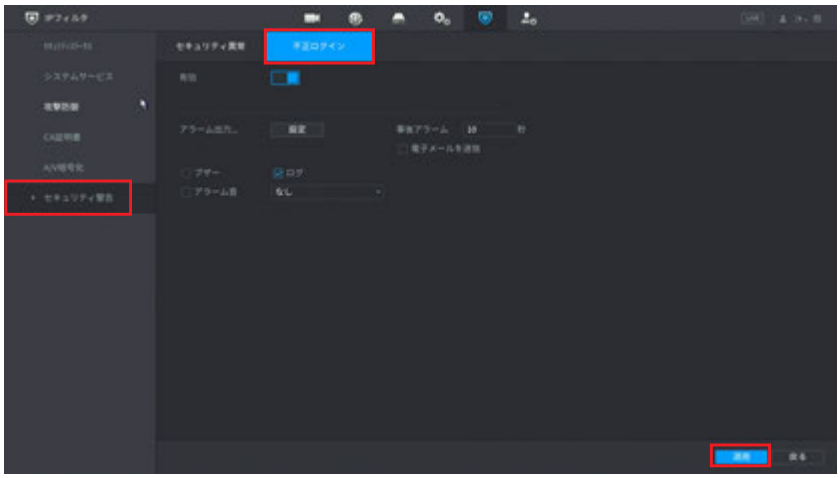


項目	内容
有効	セキュリティ異常を検出した際のアラーム通知設定をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：有効） スライダー右の(?)をクリックすると、インターネット経由での攻撃に対する監視項目を確認することができます。
アラーム出力ポート	アラームを出力した際、指定したチャンネルのアラーム出力をオンにします。
事後アラーム	アラーム出力時間を設定します。（初期値：10 秒）
メッセージ表示	アラームを出力した際、メッセージ（ポップアップウィンドウ）を表示します。
電子メールを送信	アラームを出力した際、設定した E メールアドレスにメールを送信します。
ブザー	ブザー音の有効／無効を設定します。
ログ	インテリジェンスのイベントログ保存をする／しないを設定します。
アラーム音	指定した音声ファイルを出力する／しないを設定します。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

不正ログイン

ネットワークからの不正ログインを通知する設定です。



項目	内容
有効	不正ログインを検出した際のアラーム通知設定をスライダーで［有効］（青色）に設定します。 （初期値：有効）
アラーム出力ポート	アラームを出力した際、指定したチャンネルのアラーム出力をオンにします。
事後アラーム	アラーム出力時間を設定します。（初期値：10 秒）
電子メールを送信	アラームを出力した際、設定した E メールアドレスにメールを送信します。
ブザー	ブザー音の有効／無効を設定します。
ログ	インテリジェンスのイベントログ保存をする／しないを設定します。
アラーム音	指定した音声ファイルを出力する／しないを設定します。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

アカウント

設定画面を開くには、メインメニュー下部の［アカウント］をクリックします。

ユーザー

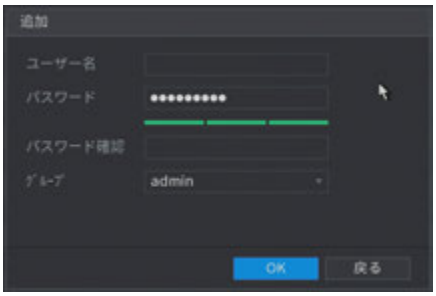
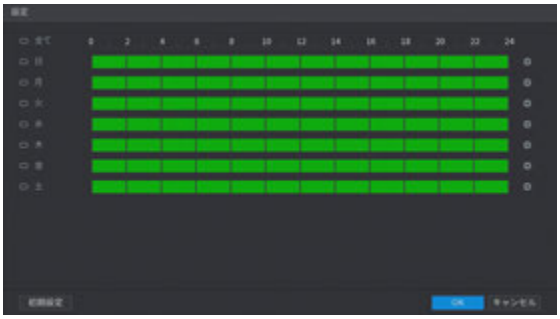
ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。

重要 **●設定したパスワードは、紛失したり、忘れないよう、厳重に管理してください。**

●パスワードを紛失した場合は、設定の変更、録画映像の再生等が行えなくなります。パスワードを紛失した場合は、お客様環境でパスワードを初期化する方法はありません。サポートセンターへお問い合わせください。「サポートサービスについて」（➡ 187 ページ）

［追加］画面

アカウントを追加するには、「追加」をクリックすると設定画面が表示されます。

項目	内容
ユーザー名	1 ～ 32 文字でユーザー名を設定します。英字 (A-Z,a-z)、数字 (0-9)、アンダーバー (_)、アットマーク (@)、ハイフン (-) が利用できます。英字の大文字と小文字は区別されます。
パスワード	8 ～ 32 文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の下側にパスワードの強度がバーで表示されます。バーが 2 本以上になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。 ※使用できない記号…　/ ＼ : * ? ‘ “ < >	% & 
パスワード（確認）	確認のため、設定したパスワードを再度入力します。
メモ	ユーザー画面に記載内容が表示されます。表示しなくても良い場合は記入不要です。
ユーザー MAC	ユーザー MAC アドレスを指定しておくと、その MAC アドレスを割り当てた機器のみしかアクセスできなくなります。
グループ	ユーザーを異なる権限のグループに設定できます。 グループの作成方法については「グループ」（➡ 127 ページ）をご参照ください。 （初期値：「admin」と「user」の 2 グループ）
期間	ユーザーがログインできる曜日や時間を制限することができます。 緑色で表示された部分がログイン可能な時間となります。 （初期値：全日） 

項目	内容
権限	付与する権限を設定します。（✓）チェックした項目に関する操作が可能になります。 **システム**：機器の操作に関する権限を設定できます。 **検索**：録画再生が可能なチャンネルを指定できます。 **ライブ**：ライブビュー映像の確認が可能なチャンネルを指定できます。

設定した内容を反映するには［OK］をクリックします。

- ●モニター管理画面で入力したユーザー名・パスワードは、すべて半角文字となります。
- ●ユーザーは最大 64 ユーザーまで登録できます。
  （あらかじめ登録されている「admin」「default」ユーザーを含む）

登録アカウントの修正

すでに登録済みのアカウントを修正する場合は をクリックします。

項目	内容
ユーザー名	ユーザー名を表示します。
パスワードの変更	パスワードを変更する場合、スライダーで［有効］（青色）に設定します。 （初期値：無効）
旧パスワード	旧パスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを設定します。
パスワード（確認）	確認のため、設定した新しいパスワードを再度入力します。
パスワードアシスト	パスワードアシストを設定、または修正します。
ユーザー MAC	ユーザー MAC アドレスを設定、または修正します。
解除パターン	解除パターンをスライダーで［有効］（青色）、もしくは［無効］（灰色）に修正します。 をクリックすると、解除パターンが設定、もしくは修正できます。

グループ

ユーザーが属するグループを追加、削除します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。

［追加］画面

グループを追加するには、「追加」をクリックすると設定画面が表示されます。

※ をクリックして、すでに登録済みのグループを修正する場合も同様の画面が表示されます。

項目	内容
グループ名	1 ～ 15 文字でグループ名を設定します。英字 (A-Z,a-z)、数字 (0-9)、アンダーバー (_)、ドット (.) が利用できます。英字の大文字と小文字は区別されます。
メモ	グループ画面に記載内容が表示されます。表示が不要な場合は記入不要です。
権限	付与する権限を設定します。(✓) チェックした項目に関する操作が可能になります。

システム	機器の操作に関する権限を設定できます。
検索	録画再生が可能なチャンネルを指定できます。
ライブ	ライブビュー映像の確認が可能なチャンネルを指定できます。

設定した内容を反映するには［OK］をクリックします。

- ●モニター管理画面で入力したグループ名は、すべて半角文字となります。
- ●グループは最大 20 グループまで登録できます。
  （あらかじめ登録されている「admin」「user」グループを含む）

ONVIF ユーザー

ONVIF ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。
※ ONVIF = Open Network Video Interface Forum

【追加】画面

ONVIF ユーザーを追加するには、「追加」をクリックすると設定画面が表示されます。
※ をクリックして、すでに登録済みの ONVIF ユーザーを修正する場合も同様の画面が表示されます。

項目	内容
ユーザー名	1 ～ 32 文字でユーザー名を設定します。英字 (A-Z,a-z)、数字 (0-9)、アンダーバー (_)、アットマーク (@)、ハイフン (-) が利用できます。英字の大文字と小文字は区別されます。
パスワード	8 ～ 32 文字でパスワードを設定します。パスワード入力欄の下側にパスワードの強度がバーで表示されます。バーが 2 本以上になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。 ※使用できない記号… / ＼ : * ? ‘ “ < >	% &
パスワード（確認）	確認のため、設定したパスワードを再度入力します。
グループ	ONVIF（※）ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。 ONVIF ユーザーを「admin」「operator」「user」のグループに設定します。 **admin**：全ての設定・操作権限 **operator**：ユーザー登録以外の設定・操作権限 **user**：設定以外の操作権限 ※ ONVIF = Open Network Video Interface Forum

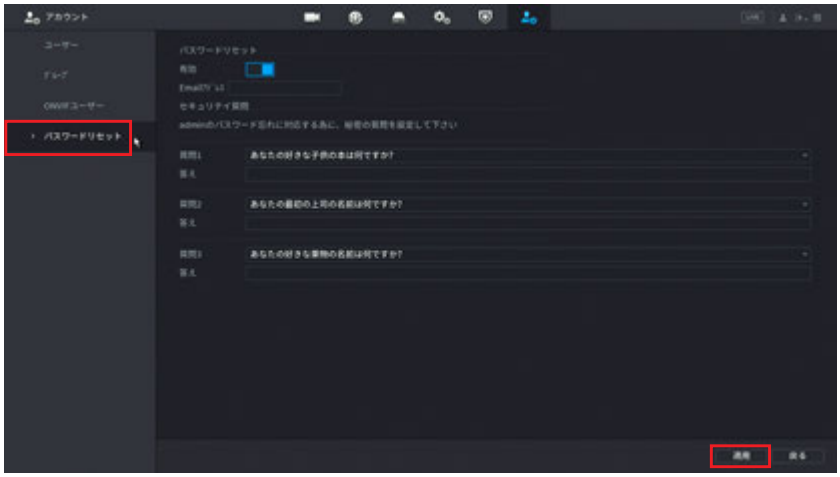
設定した内容を反映するには［OK］をクリックします。

●モニター管理画面で入力した ONVIF ユーザー名・パスワードは、すべて半角文字となります。
●ONVIF ユーザーは最大 20 ユーザーまで登録できます。
（あらかじめ登録されている「admin」ONVIF ユーザーを含む）

パスワードリセット

パスワードリセットに関する設定をします。管理者だけがこれらの操作を実行できます。

注意 **パスワードを忘れたときのために、必ずこの設定を行ってください。設定を行わないと、「admin」アカウントのパスワードを忘れた際に機器にログインできなくなります。**



項目	内容
有効	チェックするとパスワードリセットが有効になります。（初期値：無効）
Email アドレス	パスワード解除コードを受け取るメールアドレスを入力します。 ※入力したアドレスに誤りがないことを十分に確認してください。
セキュリティ質問	質問 1 ～ 3：秘密の質問を選択します。 答え：それぞれの質問の答えを入力します。

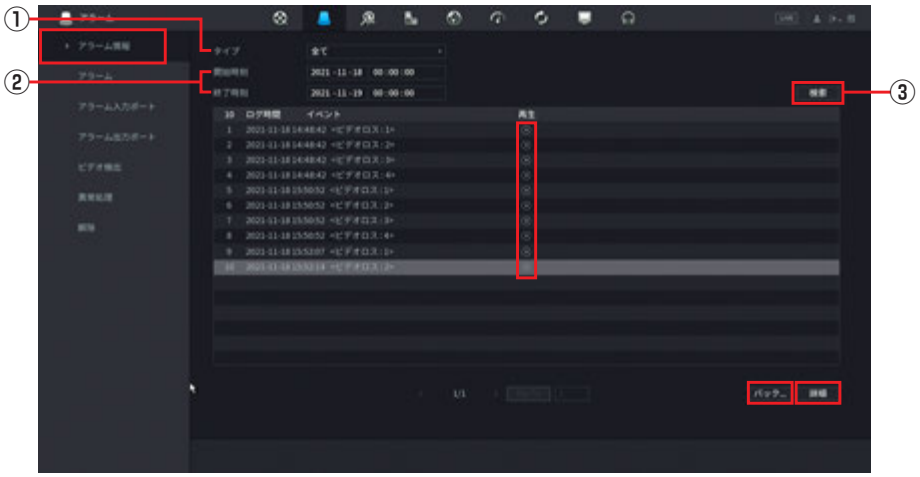
設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

アラーム

設定画面を開くには、メインメニューの［アラーム］をクリックします。

アラーム情報

各種アラーム、顔検出、インテリジェンス機能のイベントログを検索し、確認できます。



①検索したいイベントの種類を選択します。

②検索したいイベントの開始時刻・終了時刻を設定します

③検索をクリックすると、該当するイベントがリスト表示されます。

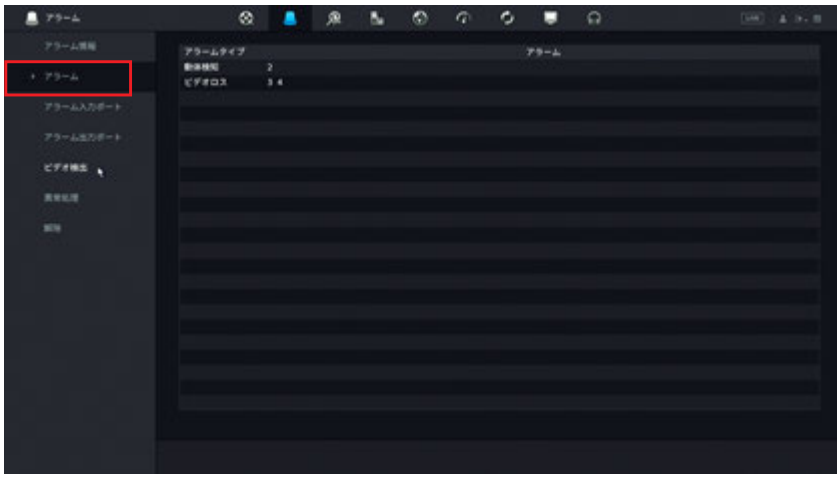
確認したいイベントを選んで をクリックすると、録画映像を確認できます。

確認したいイベントを選んでダブルクリックするか、［詳細］をクリックすると、イベントの詳細情報が確認できます。

確認したいイベントを選んで［バックアップ］をクリックすると、ファイルのバックアップが行えます。

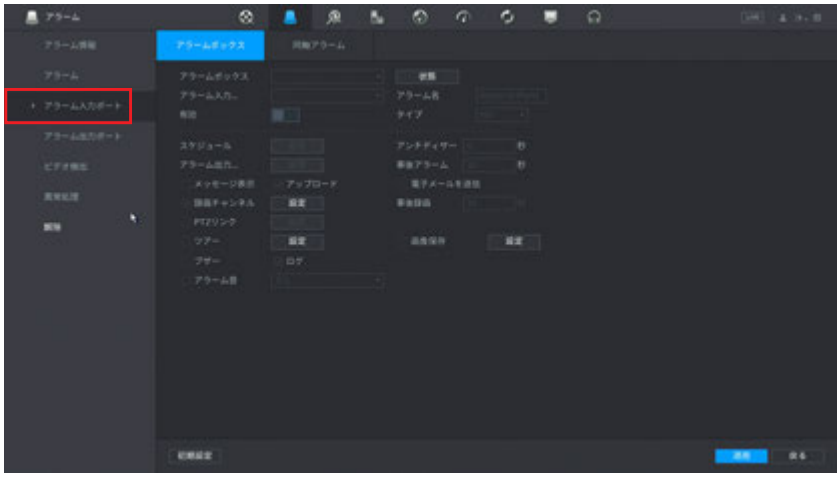
アラーム

現在発生しているアラームをアラームタイプごとに表示します。



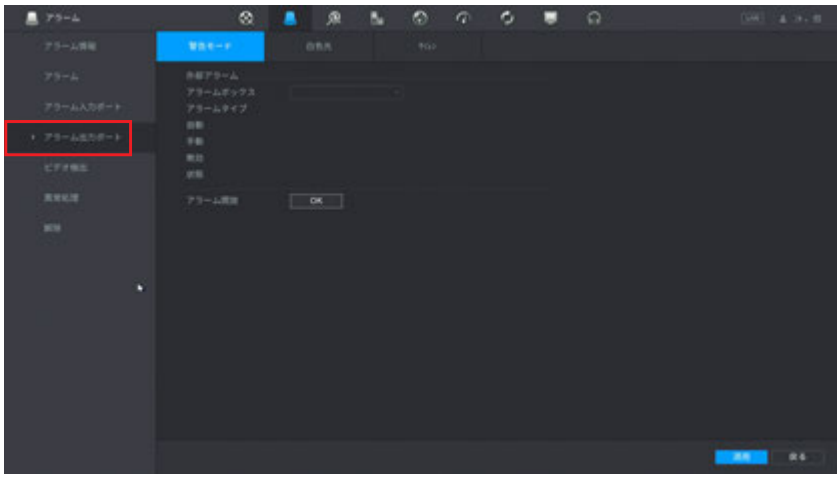
アラーム入力ポート

本製品ではこの機能をサポートしておりません。



アラーム出力ポート

本製品ではこの機能をサポートしておりません。

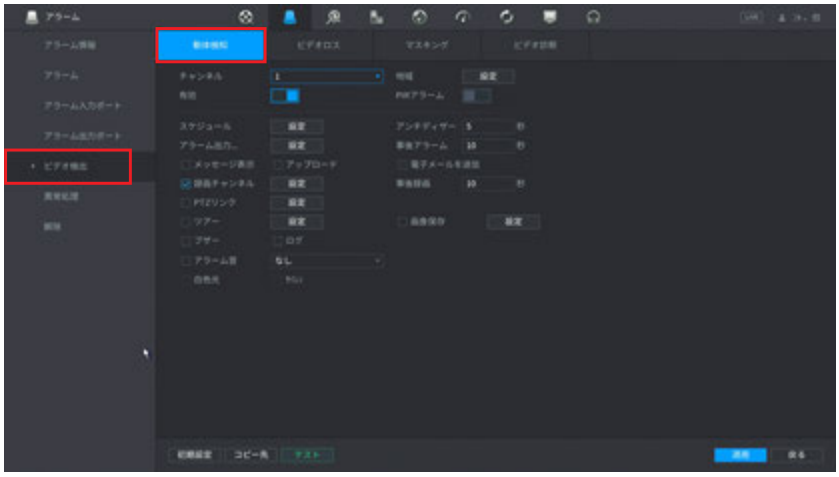


ビデオ検出

動体検知、ビデオロス、マスキング、ビデオ診断の各設定をします。

動体検知

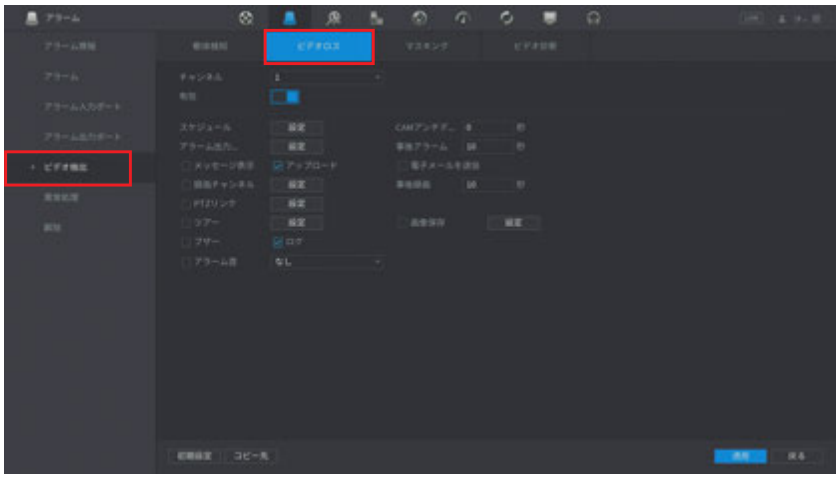
動体検知機能を有効にすると、動体を検知したときにライブビュー画面の左下に が表示されます。
初期設定では動体検知は有効になっています。



動体検知の設定方法については「動体検知の設定をする」（➡ 58 ページ）をご参照ください。

ビデオロス

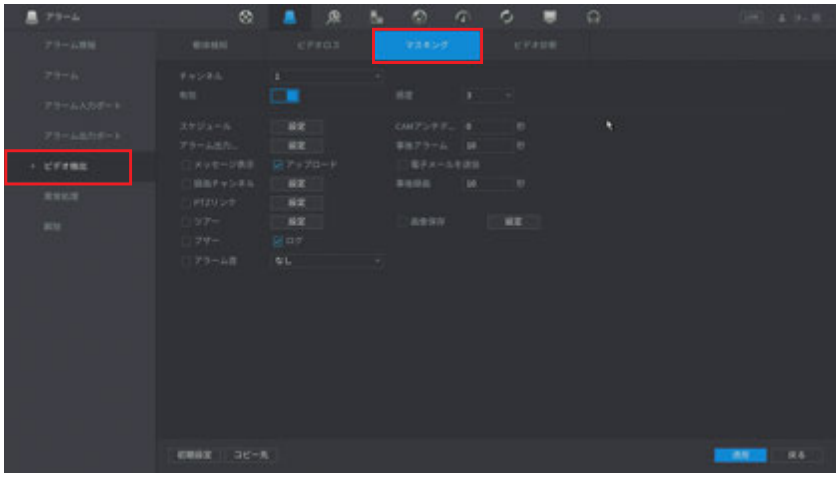
カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力し、カメラのケーブル切断などのトラブルを検知できるようになります。初期設定では有効になっています。



ビデオロスの設定方法については「ビデオロスの設定をする」（➡ 62 ページ）をご参照ください。

マスキング

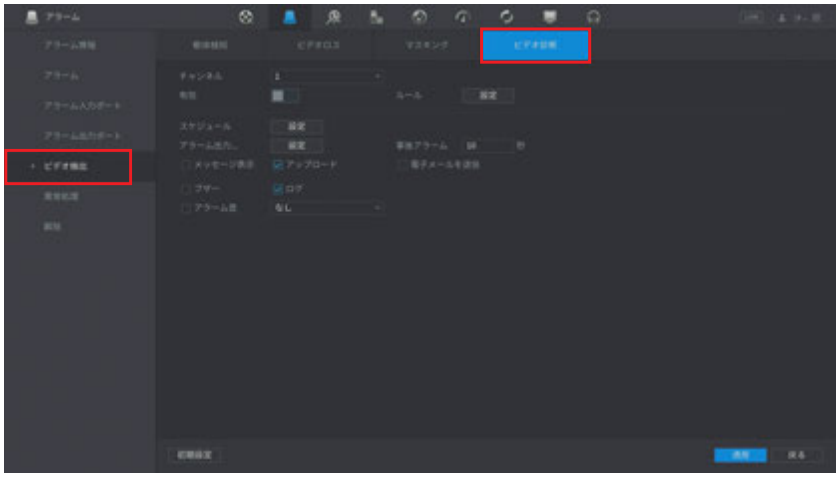
マスキング機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力し、カメラを覆い隠すようなイタズラがあったときに検知できるようになります。初期設定では無効になっています。



マスキングの設定方法については「マスキングの設定をする」（➡ 65 ページ）をご参照ください。

ビデオ診断

カメラからの映像にボケや露出過多などの異常が検知されたときにアラームを出力します。
初期設定では無効になっています。



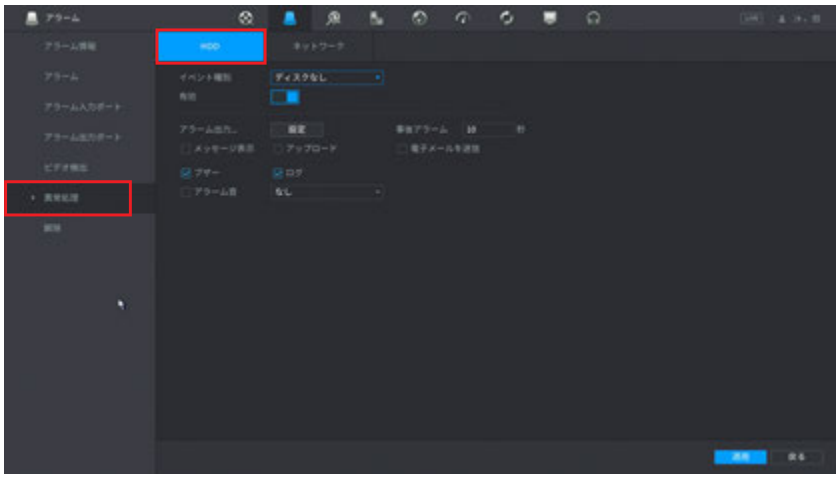
ビデオ診断の設定方法については「ビデオ診断の設定をする」（➡ 68 ページ）をご参照ください。

異常処理

本機の内蔵ハードディスク、または本機に接続した外部ネットワーク機器の異常が検知されたときにアラームを出力します。

HDD

本機の内蔵ハードディスクに異常が検知されたときにアラームを出力します。初期設定では有効になっています。

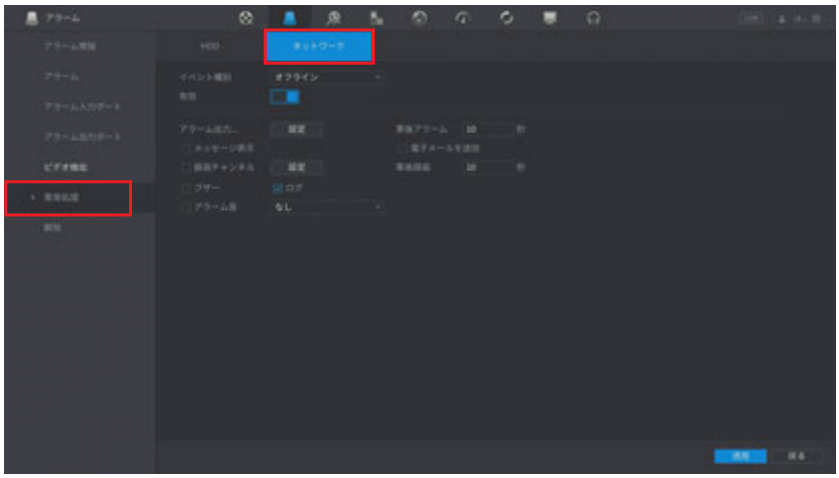


項目	内容
イベント種別	異常検知の種別を設定します。 ［ディスクなし（初期値）／ HDD エラー／容量低下］
有効	HDD 異常処理をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：有効）
アラーム出力ポート	アラームを出力した際、指定したチャンネルのアラーム出力をオンにします。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
事後アラーム	アラーム出力時間を設定します。（初期値：10 秒）
メッセージ表示	アラームを出力した際、メッセージ（ポップアップウィンドウ）を表示します。
アップロード	アラームを出力した際、アラーム信号をネットワークにアップロードします。
電子メールを送信	アラームを出力した際、設定した E メールアドレスにメールを送信します。
ブザー	ブザー音の有効／無効を設定します。
ログ	インテリジェンスのイベントログ保存をする／しないを設定します。
アラーム音	指定した音声ファイルを出力する／しないを設定します。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

ネットワーク

本機に接続した外部ネットワーク機器の異常が検知されたときにアラームを出力します。初期設定では有効になっています。

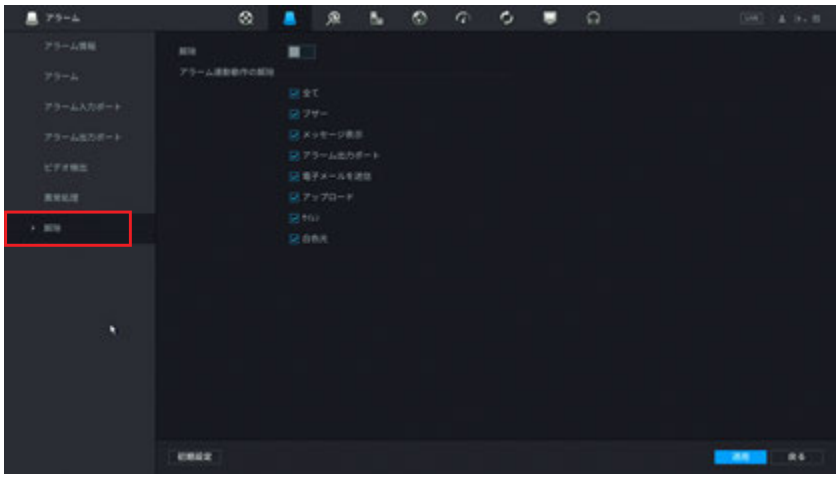


項目	内容
イベント種別	異常検知の種別を設定します。 ［オフライン（初期値）／ IP 重複／ MAC 重複］
有効	ネットワーク異常処理をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：有効）
アラーム出力ポート	アラームを出力した際、指定したチャンネルのアラーム出力をオンにします。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
事後アラーム	アラーム出力時間を設定します。（初期値：10 秒）
メッセージ表示	アラームを出力した際、メッセージ（ポップアップウィンドウ）を表示します。
電子メールを送信	アラームを出力した際、設定した E メールアドレスにメールを送信します。
録画チャンネル	録画を行うチャンネルを設定します。 ※［ストレージ］－［スケジュール］－［録画］で「インテリジェンス」のスケジュールを設定している必要があります。
事後録画	アラーム出力後の録画の遅延時間を設定します。
ブザー	ブザー音の有効／無効を設定します。
ログ	インテリジェンスのイベントログ保存をする／しないを設定します。
アラーム音	指定した音声ファイルを出力する／しないを設定します。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

解除

設定した各種アラームを一括解除できます。



項目	内容
解除	アラーム解除設定をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：無効）
アラーム連動動作の解除	解除するアラームの□（チェックボックス）をクリックします。✓（チェック）をつけたものが解除されます。「全て」をクリックすると一括選択／解除できます。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

●［初期設定］をクリックすると、設定が初期値に戻ります。

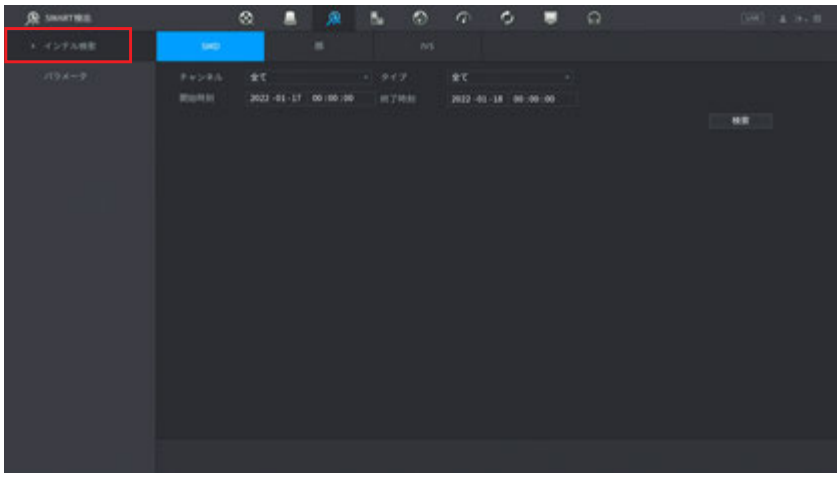
SMART 検出

SMD ／顔検出／ IVS 情報を検索し、確認できます。また、関連する設定を行います。

設定画面を開くには、メインメニューの［SMART 検出］をクリックします。

インテル検索

SMD ／顔検出／ IVS 情報を検索し、確認できます。
※検索を有効にするには、パラメータ設定で「画像保存」にチェックマークを入れてください。



①検索したい検出条件（SMD ／顔／ IVS）のタブをクリックします。
（本書では「SMD」の場合で説明しています。）

②検索したい対象のチャンネル、および対象のタイプ（人物または車両）を選択します。
（「IVS」の場合は、全て・トリップワイヤー・侵入検知・置き去り・紛失物品から選択します。）

③検索したいイベントの開始時刻・終了時刻を設定します。

④検索をクリックすると、該当するイベントがリスト表示されます。

確認したいイベントを選んで をクリックすると、録画映像を確認できます。

確認したいイベントを選んでダブルクリックするか、［詳細］をクリックすると、イベントの詳細情報が確認できます。

確認したいイベントを選んで［バックアップ］をクリックすると、ファイルのバックアップが行えます。

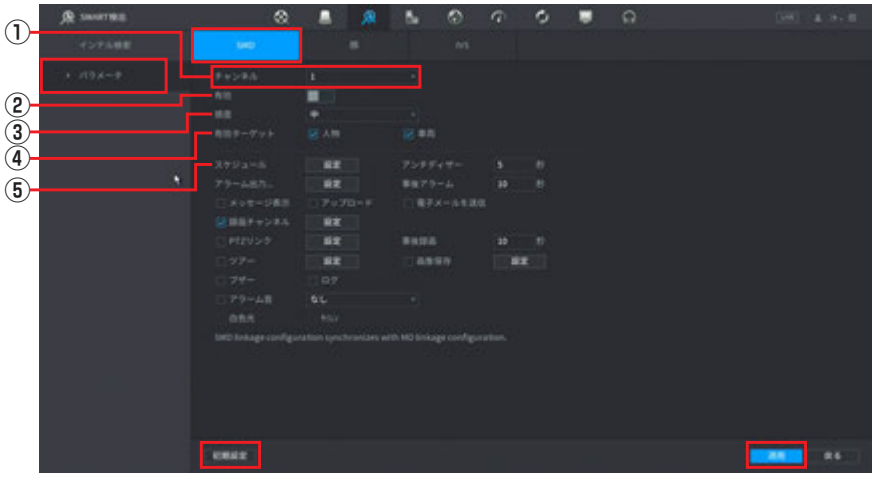
パラメータ

SMD ／顔検出／ IVS の各設定を行います。

SMD

動体検知で検知する対象を、人物または車両のみに絞って判別します。

※「SMD」を有効に設定したチャンネルでは、「動体検知」も連動して有効になります。



①SMD の設定をするカメラを［チャンネル］から選択します。

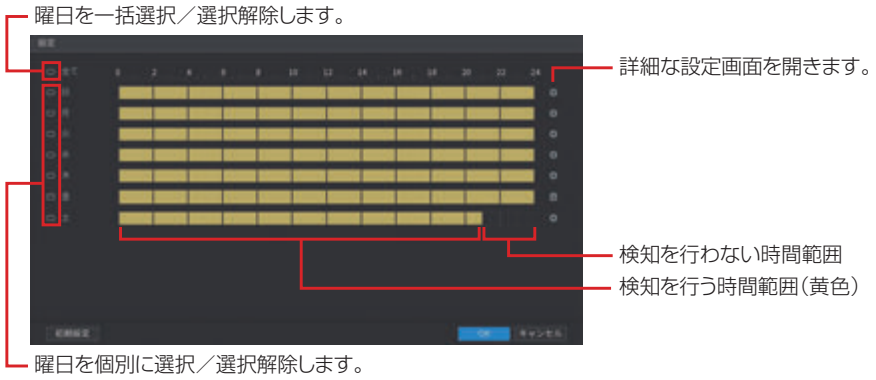
②スライダーを［有効］（青色）にします。

③感度（低／中／高）を選択します。

④対象とするターゲット（人物／車両）を選択します。

⑤スケジュール欄の［設定］をクリックして、SMD を有効にするスケジュールを設定します。

SMD を有効または無効にする時間範囲を、マウスのクリック、またはクリック＆ドラッグで設定します。



［全て］をクリックすると、 が表示された曜日を一括して時間範囲設定できます。

※［全て］をクリックして一度すべての曜日を選択してから、日曜だけをクリックして対象外にする（ が消える）、といった使いかたもできます。

⑥その他の項目を設定します。

□(チェックボックス)のあるものはクリックすると✓(チェックマーク)が付き、設定が有効になります。
［設定］をクリックすると設定画面が表示され、詳細な設定が行えます。
数値を入力する項目は、入力欄をクリックするとソフトキーボードが表示されます。

項目	内容
チャンネル	SMD 検知を行うチャンネルを設定します。
有効	SMD をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：有効）
感度	SMD の感度（低／中／高）を設定します。
有効ターゲット	SMD の検知対象（人物／車両）を設定します。
スケジュール	アラームを有効にする曜日・時間を設定します。
アンチディザー	アラームの開始から終了までの時間を設定します。
アラーム出力ポート	アラームを出力した際、指定したチャンネルのアラーム出力をオンにします。 (本製品ではこの機能をサポートしておりません。)
事後アラーム	アラーム出力時間を設定します。
メッセージ表示	アラームを出力した際、メッセージ（ポップアップウィンドウ）を表示します。
アップロード	アラームを出力した際、アラーム信号をネットワークにアップロードします。
電子メールを送信	アラームを出力した際、設定した E メールアドレスにメールを送信します。
録画チャンネル	録画を行うチャンネルを設定します。 ※［ストレージ］－［スケジュール］－［録画］で「インテリジェンス」のスケジュールを設定している必要があります。
PTZ リンク	PTZ リンクで設定されている動作の有効／無効を設定します。
事後録画	アラーム出力後の録画の遅延時間を設定します。
ツアー	アラームを出力した際、ツアー動作で表示するチャンネルを設定します。
画像保存	アラーム出力時に静止画を保存するチャンネルを設定します。 ※［ストレージ］－［スケジュール］－［録画］で「インテリジェンス」のスケジュールを設定している必要があります。
ブザー	ブザー音の有効／無効を設定します。
ログ	インテリジェンスのイベントログ保存をする／しないを設定します。
アラーム音	指定した音声ファイルを出力する／しないを設定します。 (本製品ではこの機能をサポートしておりません。)
白色光	カメラに搭載されたライトを点滅する／しないを設定します。 (本製品ではこの機能をサポートしておりません。)
サイレン	カメラに搭載されたサイレンを鳴動する／しないを設定します。 (本製品ではこの機能をサポートしておりません。)

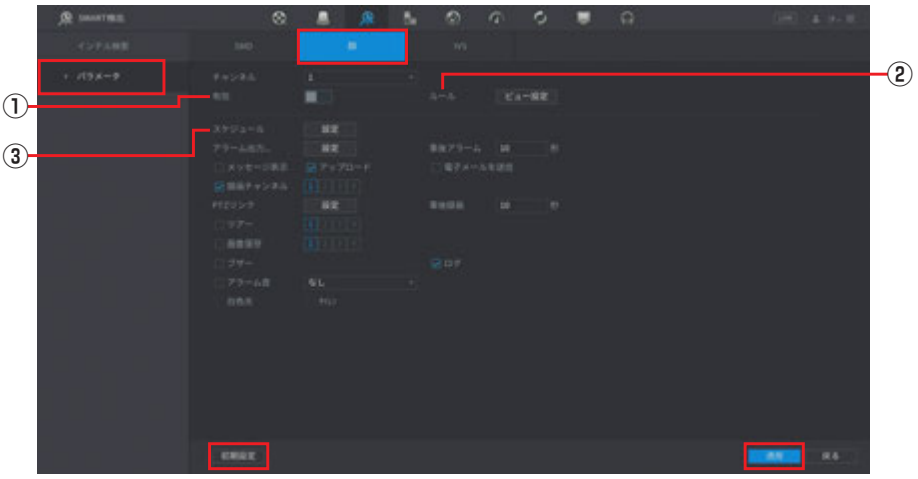
●［初期設定］をクリックすると、設定が初期値に戻ります。

⑥設定後、［適用］をクリックして設定を完了します。

顔

※顔検出が利用できるのは「チャンネル 1」のみです。他のチャンネルではご利用になれません。

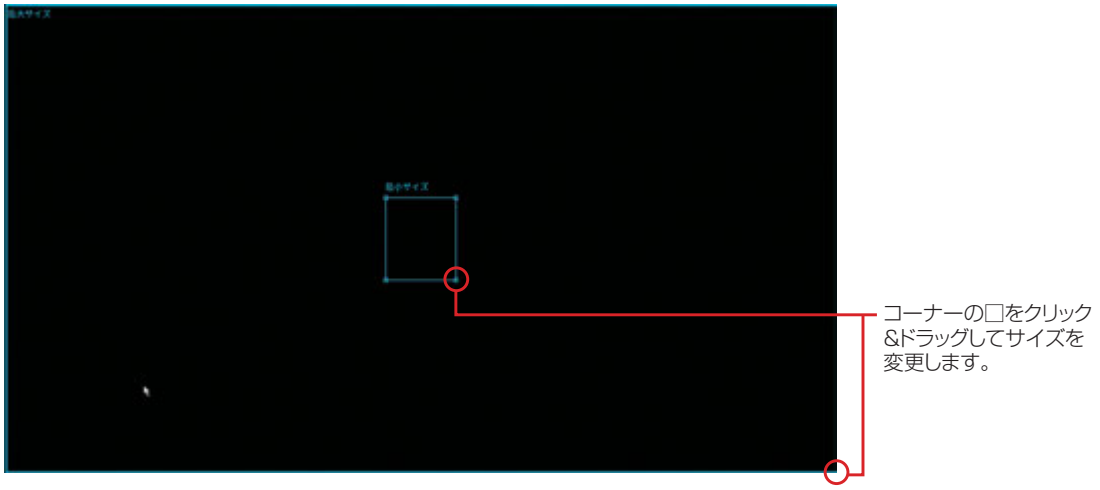
注意 **「チャンネルタイプ」の設定で「IP」の入力信号にチェックがある場合、顔検出は IP カメラの接続チャンネルのみ設定することができます。同軸カメラの接続チャンネルで設定する場合は、「チャンネルタイプ」の設定画面で「IP」の入力信号のチャンネルがないように変更してください。**



①スライダーを［有効］（青色）にします。

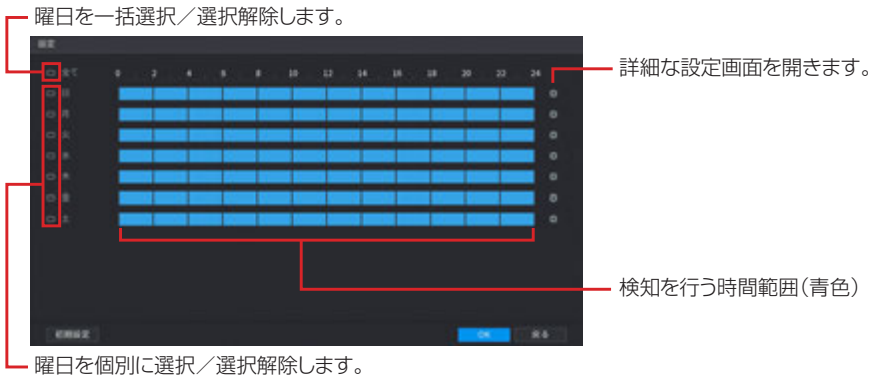
②ルール欄の［ビュー設定］をクリックし、表示された画面で顔検出の対象とする最小サイズ・最大サイズをそれぞれ設定します。

右クリックでパラメータ画面に戻ります。



③スケジュール欄の［設定］をクリックして、顔検出を有効にするスケジュールを設定します。

顔検出を有効または無効にする時間範囲を、マウスのクリック、またはクリック＆ドラッグで設定します。



［全て］をクリックすると、🔗が表示された曜日を一括して設定できます。

※［全て］をクリックして一度すべての曜日を選択してから、日曜だけをクリックして対象外にする（🔗が消える）、といった使いかたもできます。

④その他の項目を設定します。

□(チェックボックス)のあるものはクリックすると✓(チェックマーク)が付き、設定が有効になります。
［設定］をクリックすると設定画面が表示され、詳細な設定が行えます。
数値を入力する項目は、入力欄をクリックするとソフトキーボードが表示されます。

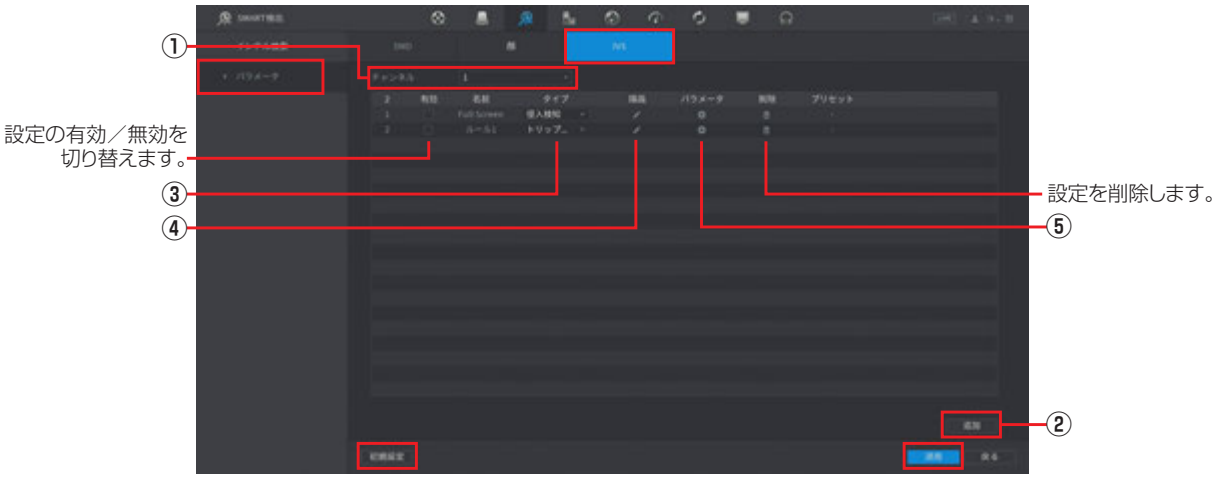
項目	内容
チャンネル	顔検出を行うチャンネルを設定します。
有効	顔検出をスライダーで［有効］（青色）に設定します。（初期値：有効）
ルール	「ビュー設定」を押すと画面が開きます。 最小サイズ・最大サイズの各枠（水色）が表示されます。 顔検出の対象とする最小サイズ・最大サイズを設定します。
スケジュール	アラームを有効にする曜日・時間を設定します。 「ビュー設定」を押すと画面が開きます。
アラーム出力ポート	アラームを出力した際、指定したチャンネルのアラーム出力をオンにします。 (本製品ではこの機能をサポートしておりません。)
事後アラーム	アラーム出力時間を設定します。
メッセージ表示	アラームを出力した際、メッセージ（ポップアップウィンドウ）を表示します。
アップロード	アラームを出力した際、アラーム信号をネットワークにアップロードします。
電子メールを送信	アラームを出力した際、設定したＥメールアドレスにメールを送信します。
録画チャンネル	録画を行うチャンネルを設定します。
PTZ リンク	PTZ リンクで設定されている動作の有効／無効を設定します。
事後録画	アラーム出力後の録画の遅延時間を設定します。
ツアー	アラームを出力した際、ツアー動作で表示するチャンネルを設定します。
画像保存	アラーム出力時に静止画を保存するチャンネルを設定します。 ※［ストレージ］－［スケジュール］－［録画］で「インテリジェンス」のスケジュールを設定している必要があります。
ブザー	ブザー音の有効／無効を設定します。
ログ	インテリジェンスのイベントログ保存をする／しないを設定します。
アラーム音	指定した音声ファイルを出力する／しないを設定します。
白色光	カメラに搭載されたライトを点滅する／しないを設定します。 (本製品ではこの機能をサポートしておりません。)
サイレン	カメラに搭載されたサイレンを鳴動する／しないを設定します。 (本製品ではこの機能をサポートしておりません。)

●［初期設定］をクリックすると、設定が初期値に戻ります。

⑤設定後、［適用］をクリックして設定を完了します。

IVS

画面内に任意の基準線や基準領域を設定して動体検知を行います。



①IVS 検知の設定をするカメラを［チャンネル］から選択します。

②ルールを追加したい場合は、［追加］をクリックします。

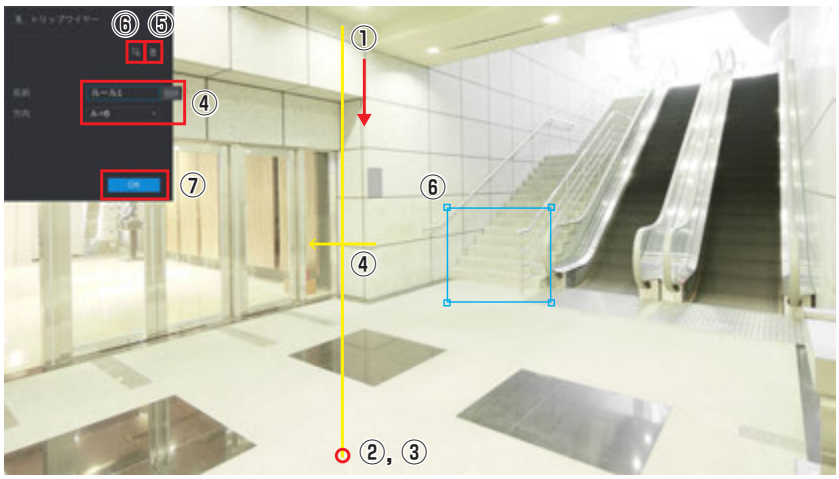
※ 10 件まで追加できます。

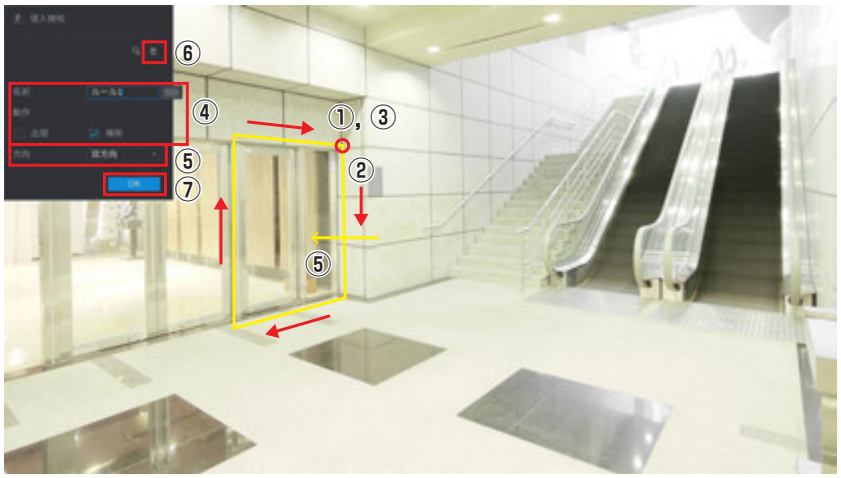
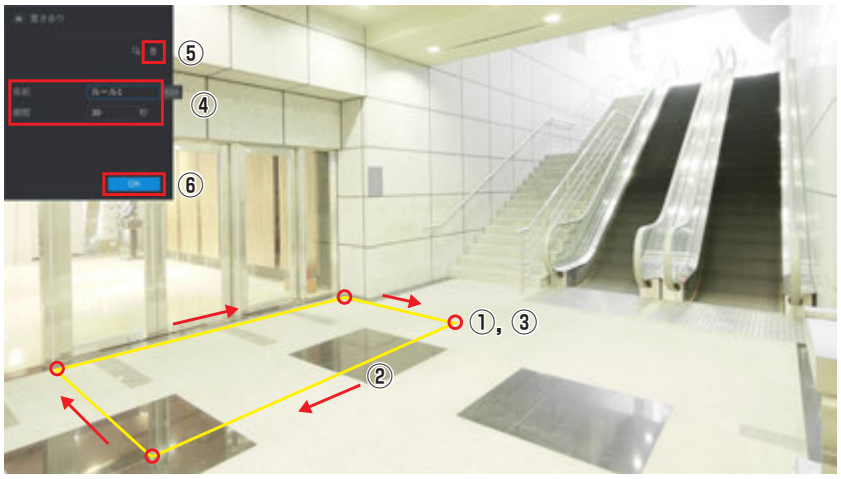
③「タイプ」欄のプルダウンをクリックし、IVS の種類を選択します。

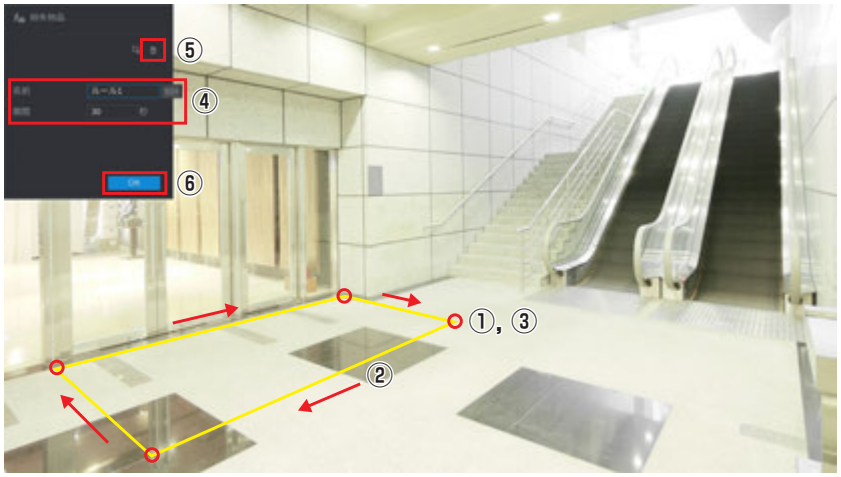
項目	内容
トリップワイヤー	基準線を越えたときにイベントを発生します。
侵入検知	基準領域に侵入したときにイベントを発生します。
置き去り	基準領域内に一定時間放置された状態が検知されたときにイベントを発生します。
紛失物品	基準領域内から一定時間存在しない状態が継続された際にイベントを発生します。

④「描画」欄の をクリックし、表示された画面で検知基準をマウスで描画して設定します。

※ 描画や設定のしかたについては下表の該当欄をご参照ください。

項目	内容
トリップワイヤー	 ①基準線の始点とする部分でマウスをクリックします。 ②基準線の終点とする部分までマウスを移動させます。 黄色い線が引かれるので、終点に設定する位置で再度クリックします。 ③マウスを右クリックして基準線を確定します。 ④名前を入力し（任意）、「方向」でトリップワイヤーの方向を設定します。 ⑤やり直す場合は （削除）をクリックします。 ⑥ターゲットフィルターをクリックし、中央の青枠をドラッグ拡大すると、検知範囲から除外したいエリア設定できます。 ⑦［OK］をクリックします。

項目	内容
侵入検知	 ①基準線の始点とする部分でマウスをクリックします。 ②マウスを移動させると黄色い線が引かれるので、角でクリックしながら基準領域を囲っていき、終点に設定する位置で再度クリックします。 ③マウスを右クリックして基準領域を確定します。 ④名前を入力し（任意）、「動作」で「出現」・「横断」のいずれかを選択します。「横断」の場合は侵入・退場・双方向の方向を設定します。 ⑤「方向」で侵入検知の方向を設定します。 ⑥やり直す場合は（削除）をクリックします。 ⑦［OK］をクリックします。
置き去り	 ①基準線の始点とする部分でマウスをクリックします。 ②マウスを移動させると黄色い線が引かれるので、角でクリックしながら基準領域を囲っていき、終点に設定する位置で再度クリックします。 ③マウスを右クリックして基準領域を確定します。 ④名前を入力し（任意）、「期間」で放置時間を設定します。 ⑤やり直す場合は（削除）をクリックします。 ⑧［OK］をクリックします。

項目	内容
紛失物品	 ①基準線の始点とする部分でマウスをクリックします。 ②マウスを移動させると黄色い線が引かれるので、角でクリックしながら基準領域を囲っていき、終点に設定する位置で再度クリックします。 ③マウスを右クリックして基準領域を確定します。 ④名前を入力し（任意）、「期間」で紛失検知までの時間を設定します。 ⑤やり直す場合は（削除）をクリックします。 ⑥［OK］をクリックします。

⑤「パラメータ」欄の をクリックし、表示された画面でその他の項目を設定します。

□（チェックボックス）のあるものはクリックすると✓（チェックマーク）が付き、設定が有効になります。
［設定］をクリックすると設定画面が表示され、詳細な設定が行えます。
数値を入力する項目は、入力欄をクリックするとソフトキーボードが表示されます。

項目	内容
スケジュール	アラームを有効にする曜日・時間を設定します。 「ビュー設定」を押すと画面が開きます。
アラーム出力ポート	アラームを出力した際、指定したチャンネルのアラーム出力をオンにします。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
事後アラーム	アラーム出力時間を設定します。
メッセージ表示	アラームを出力した際、メッセージ（ポップアップウィンドウ）を表示します。
アップロード	アラームを出力した際、アラーム信号をネットワークにアップロードします。
電子メールを送信	アラームを出力した際、設定したＥメールアドレスにメールを送信します。
録画チャンネル	録画を行うチャンネルを設定します。

項目	内容
PTZ リンク	PTZ リンクで設定されている動作の有効／無効を設定します。
事後録画	アラーム出力後の録画の遅延時間を設定します。
ツアー	アラームを出力した際、ツアー動作で表示するチャンネルを設定します。
画像保存	アラーム出力時に静止画を保存するチャンネルを設定します。 ※［ストレージ］－［スケジュール］－［録画］で「インテリジェンス」のスケジュールを設定している必要があります。
ブザー	ブザー音の有効／無効を設定します。
ログ	インテリジェンスのイベントログ保存をする／しないを設定します。
アラーム音	指定した音声ファイルを出力する／しないを設定します。
白色光	カメラに搭載されたライトを点滅する／しないを設定します。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
サイレン	カメラに搭載されたサイレンを鳴動する／しないを設定します。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

⑥設定後、［OK］をクリックして設定画面を閉じます。

⑦設定したルールを有効にするには「有効」の□（チェックボックス）をクリックし、✓（チェック）をつけます。

⑧設定後、［適用］をクリックして設定を完了します。

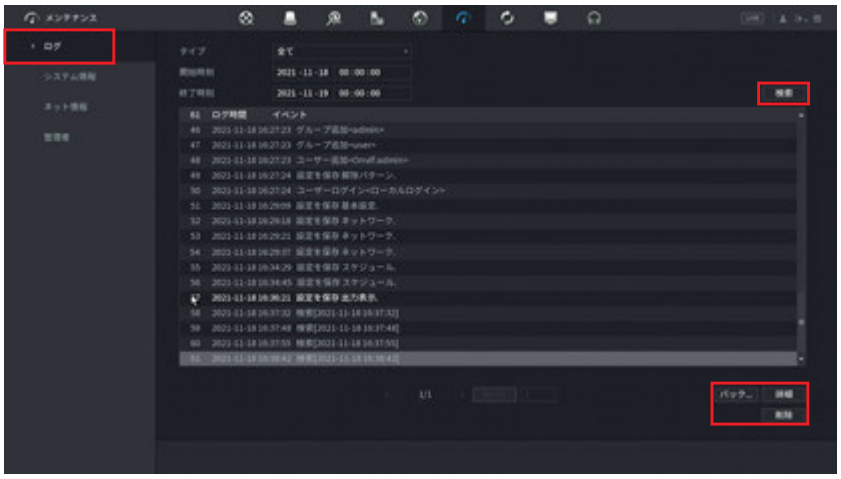
●［初期設定］をクリックすると、設定が初期値に戻ります。

メンテナンス

設定画面を開くには、メインメニューの［メンテナンス］をクリックします。

ログ

ユーザーが実行した操作とデバイスのステータスの履歴を検索、表示します。
また、ログのバックアップや削除を行うこともできます。



項目	内容
タイプ	ログの種類を選択します。［全て］を選択することもできます。 ［全て（初期値）・システム・設定・ストレージ・録画・アカウント・ログ消去・再生］
開始時刻	ログを検索する時間を設定します。範囲は最大で 1 ヶ月です。
終了時刻	

ログを検索する

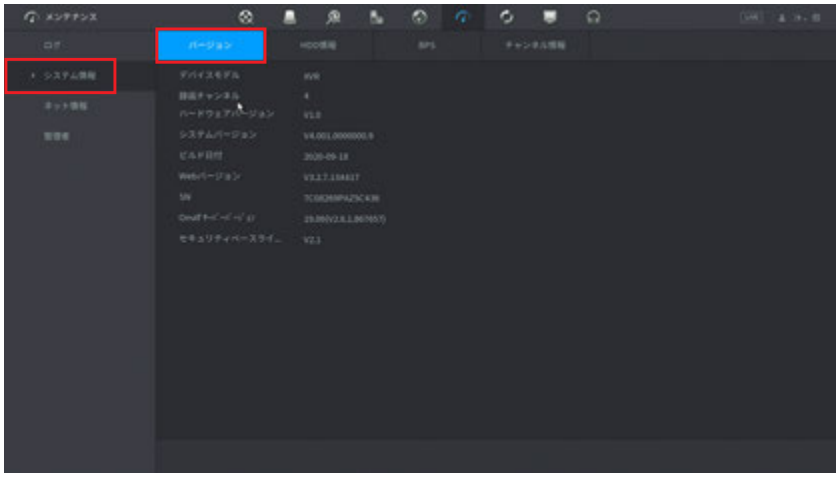
検索したいログの「タイプ」、「開始時刻」、「終了時刻」を選択し、［検索］をクリックすると、該当するログがリスト表示されます。

- ［バックアップ］をクリックすると、USB ストレージデバイスにデータをバックアップできます。
- ［詳細］をクリックすると、ログの詳細を確認できます。
- ［削除］をクリックすると、すべてのログを削除します。

システム情報

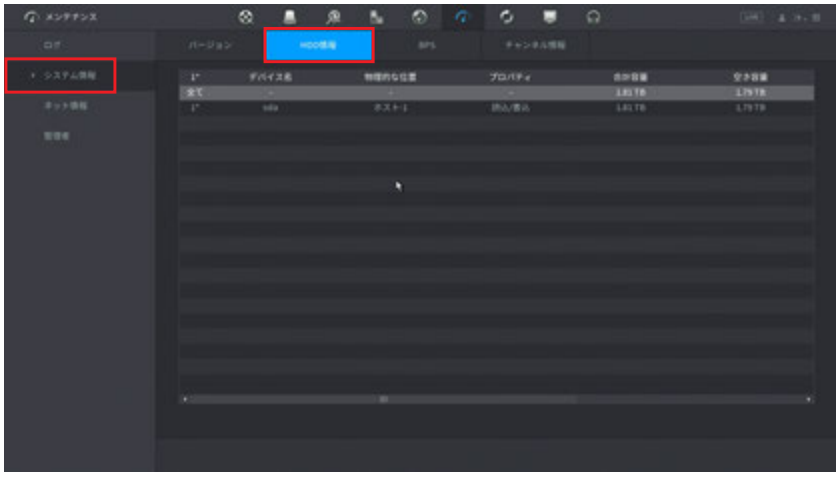
■バージョン

システムの基本情報を表示します。



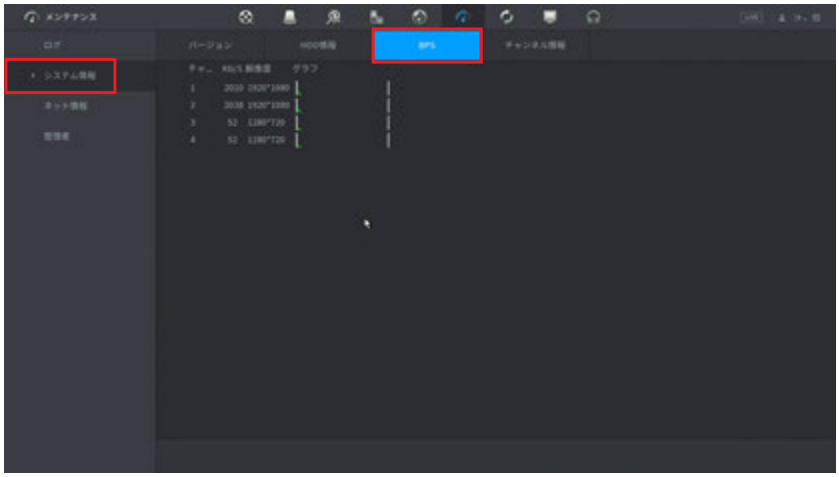
■ HDD 情報

ハードディスクの状態を表示します。



■ BPS

各チャンネルのリアルタイムデータストリームレートと解像度を表示します。



■チャンネル情報

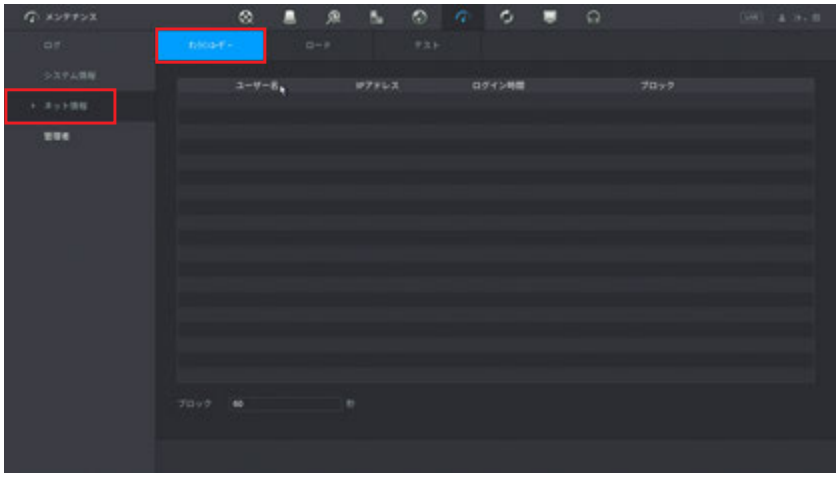
各チャンネルに接続されているカメラ情報を表示します。

※有効のチェックは外さないでください。

ネット情報

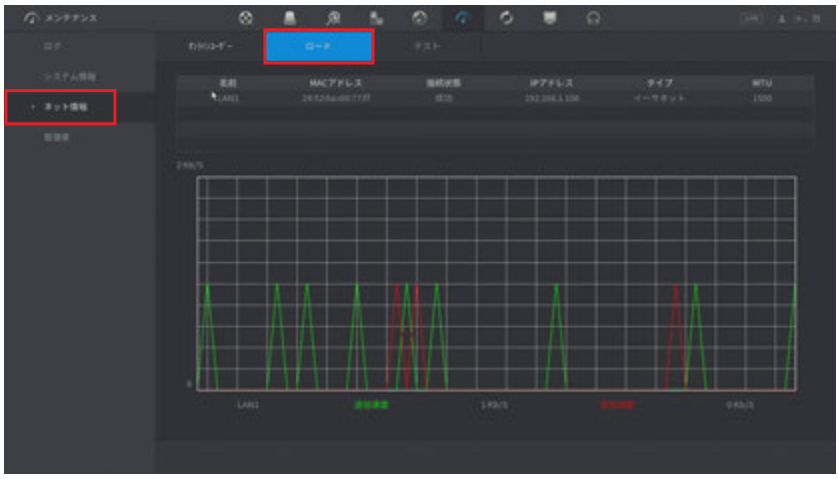
■オンラインユーザー

現在管理画面にログインしているユーザーを表示します。



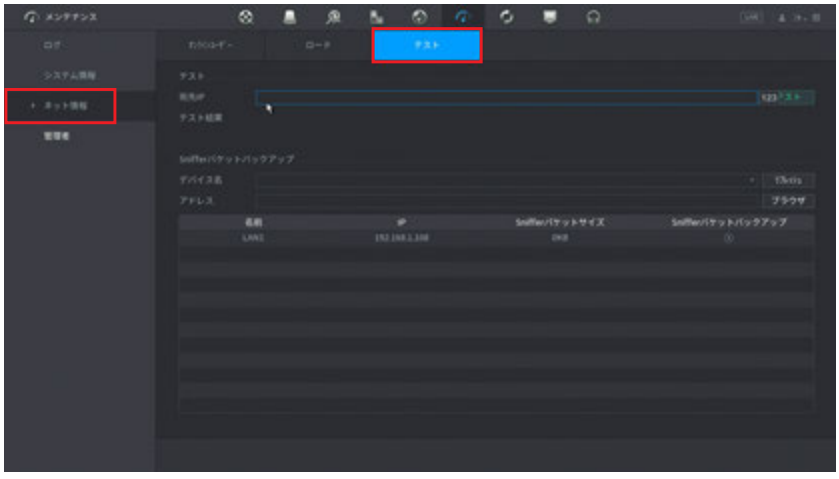
■ロード

ネットワークに流れているデータ量をリアルタイムに折れ線グラフで表示します。緑色の線は、本製品から送出しているデータ量、赤色の線は本製品が受信しているデータ量を表します。



■テスト

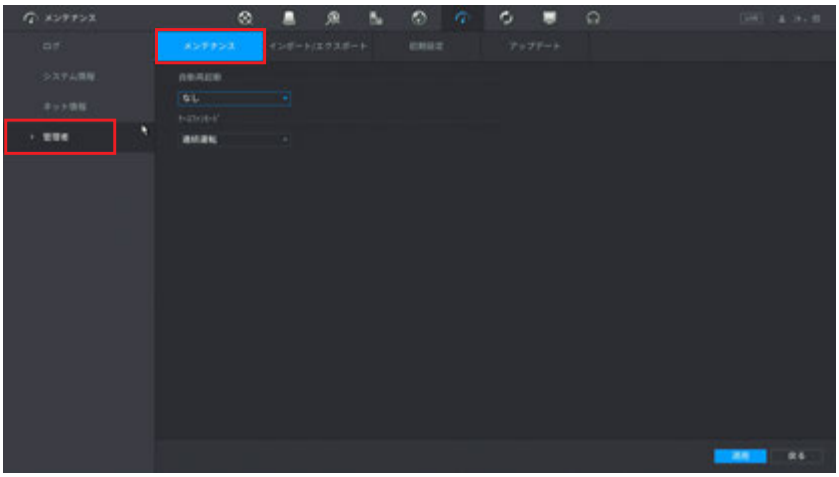
ローカルネットワーク内の指定した宛先に対してパケットを送信し、パケット喪失率やネットワーク状態をテストします。



管理者

■メンテナンス

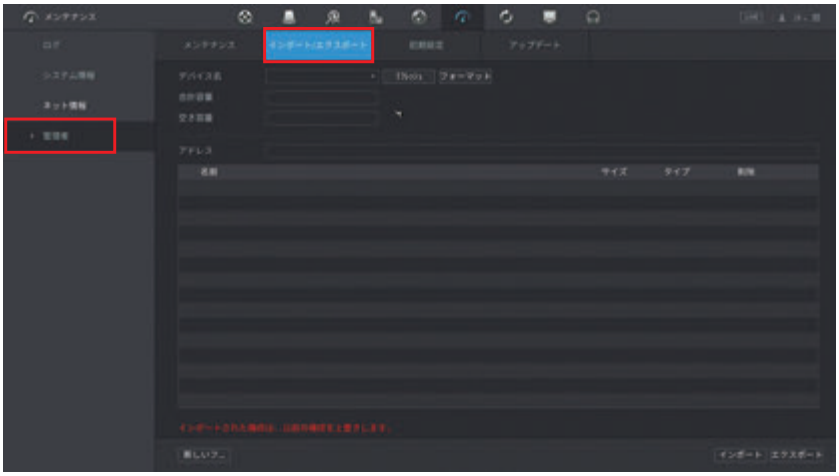
指定した時間にレコーダーを自動的に再起動したり、ファンの動作を制御する設定を行います。



項目	内容
自動再起動	自動的に再起動する曜日と時間を設定します。（初期値：なし） 「なし」以外を選択すると、時間の設定欄が表示されますので、プルダウンから時間を選びます（1 時間単位）。 ✎ 再起動中は映像録画が停止します。
ケースファンモード	ファンの動作を設定します。 **連続運転（初期値）**：ファンが常に動作します。 **自動**：温度が上昇した際にファンが動作します。

■インポート／エクスポート

システム設定内容のバックアップを行います。
USB ストレージデバイスに設定をエクスポートし、同じ設定を行いたい他のレコーダー（同一機種に限る）に設定をインポートしたり、システムを初期化した際に容易に復元したりすることが可能です。



設定情報をエクスポートする

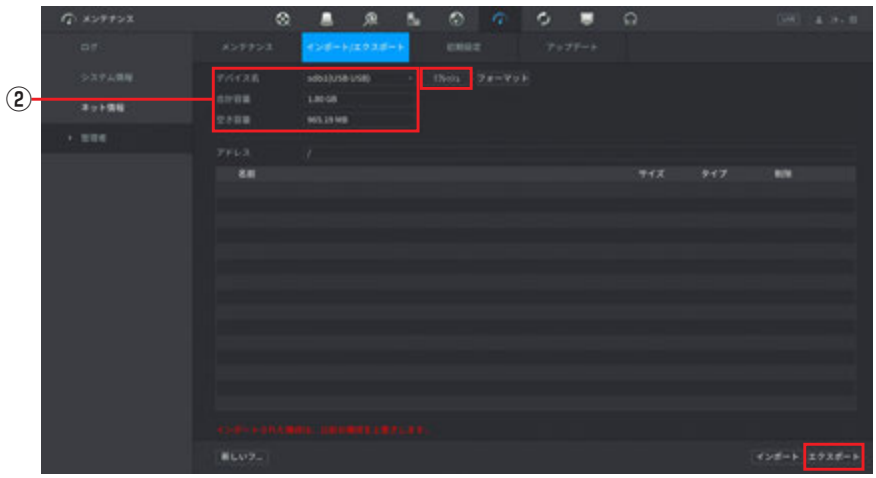
現在の設定内容を USB ストレージデバイスにエクスポート（書き出し）します。

①バックアップに使用する USB メモリをレコーダーの USB 端子に接続します。

USB メモリが認識されると以下の画面が表示されるので、右クリックで画面を閉じます。

②接続した USB メモリの容量などを確認し、［エクスポート］をクリックするとファイルがエクスポートされます。

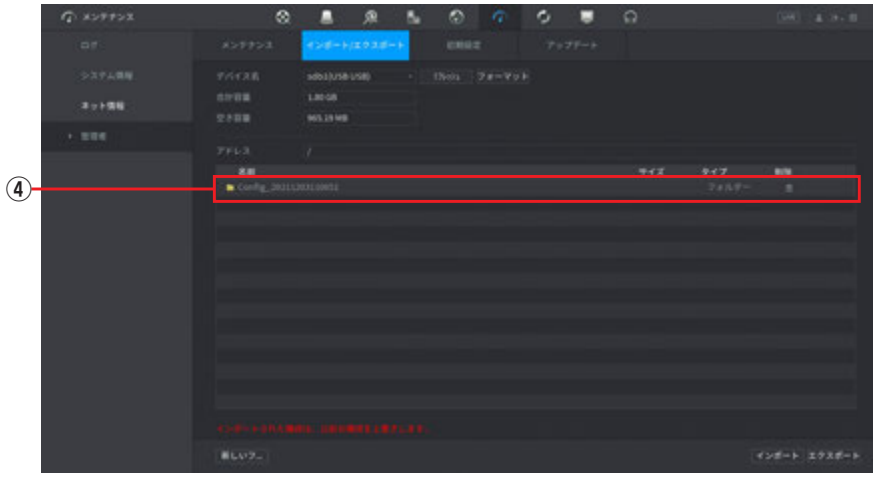
※表示されない場合は［リフレッシュ］をクリックしてください。



③エクスポートが終了すると確認画面が表示されるので、［OK］をクリックします。

④元の画面に戻りますのでバックアップファイルのフォルダが作成されたことを確認します。

バックアップファイルは”Config_〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇（〇は日時を表す 14 桁の数字）”というフォルダに格納されます。



設定情報をインポートする

設定内容を保存した USB ストレージデバイスから設定をインポート（読み込み）します。

設定情報のインポート後は、再起動が必要になります。

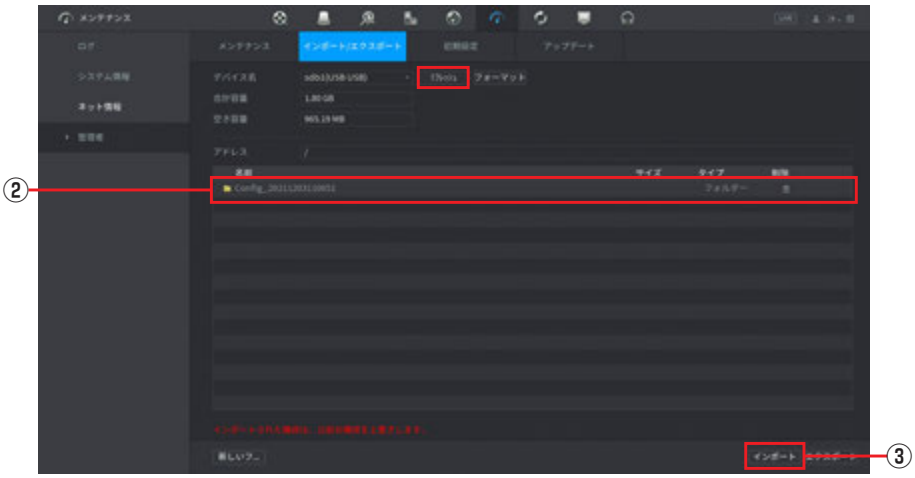
①バックアップに使用する USB メモリをレコーダーの USB 端子に接続します。

USB メモリが認識されると以下の画面が表示されるので、右クリックで画面を閉じます。

②USB メモリ内のファイルが表示されます。バックアップファイルのフォルダがあることを確認します。

バックアップファイルは”Config_ ○○○○○○○○○○○○○○（○は日時を表す 14 桁の数字）”というフォルダに格納されています。

※表示されない場合は［リフレッシュ］をクリックしてください。



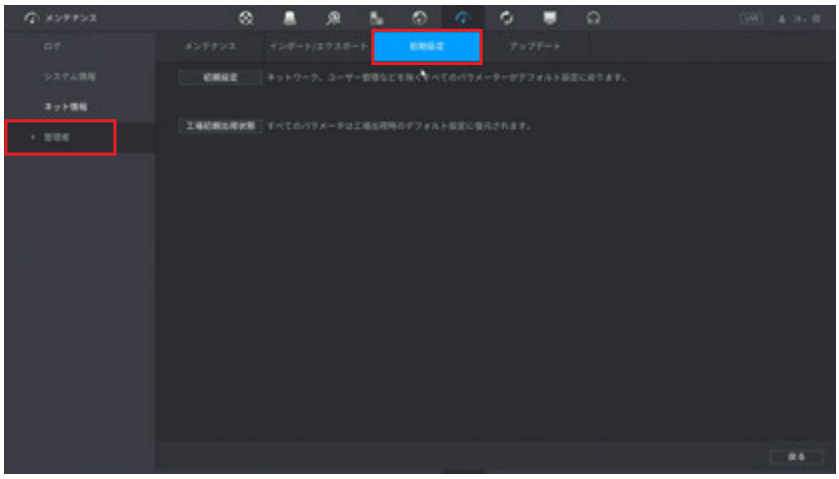
③バックアップファイルのフォルダを選択し、［インポート］をクリックするとファイルのインポートが開始されます。

④インポートが終了すると確認画面が表示されるので、［OK］をクリックします。

⑤再起動を促す画面が表示されるので［OK］をクリックし、レコーダーを再起動します。

■初期設定

設定をデフォルトあるいは工場出荷時の設定に戻すことができます。実行すると、システムが再起動します。

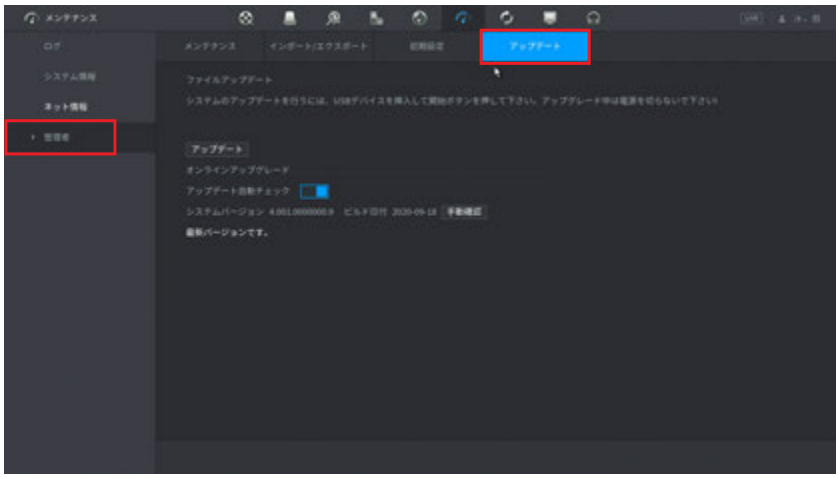


項目	内容
初期設定	ネットワーク設定とユーザー設定をのぞいた設定を、デフォルトの状態に戻します。
工場出荷設定	すべての設定を工場出荷時に戻します。 ネットワーク設定およびユーザー設定も初期化されます。

カメラ側に設定が保存される内容に関しては、この機能で工場出荷設定に戻すことができない項目もあります。カメラの工場出荷設定も合わせて実行してください。

■アップデート

システムのアップデートや、バージョン No を確認することができます。



※アップデートに関する詳細については DX アンテナホームページをご覧ください。

バックアップ

設定画面を開くには、メインメニュー画面の をクリックして 2 ページ目を表示し、［バックアップ］をクリックします。

バックアップ

本製品のハードディスクに保存されている映像を特定の条件で検索し、USB ストレージデバイスにファイルとして保存することができます。

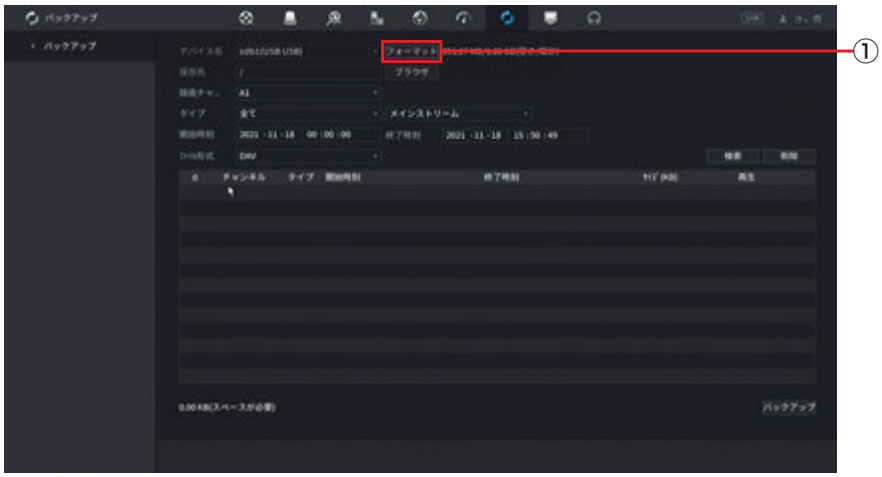
バックアップの使用方法については「録画データをバックアップする」（➡ 52 ページ）をご参照ください。

USB ストレージデバイスのフォーマット

データのバックアップに使用する USB ストレージデバイスを本製品でフォーマットする場合は、以下の手順で行います。
USB ストレージデバイスを USB 端子に差し込むと、USB デバイスのウインドウが表示されますので、右クリックで消してから以下の操作を行います。

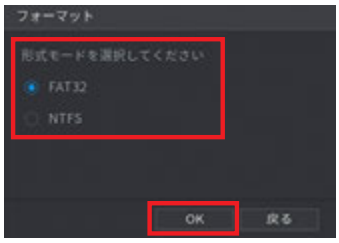
① **メインメニュー画面の をクリックして２ページ目を表示し、［バックアップ］をクリックします。**

② **デバイス名横に表示されている［フォーマット］をクリックします。**



③ **パスワード入力画面が表示されるので、パスワードを入力して［OK］をクリックします。**
※パスワードは“admin”アカウントのパスワードを入力してください。

④ フォーマット形式の確認画面が表示されるので、いずれかを選んで［OK］をクリックするとフォーマットを開始します。



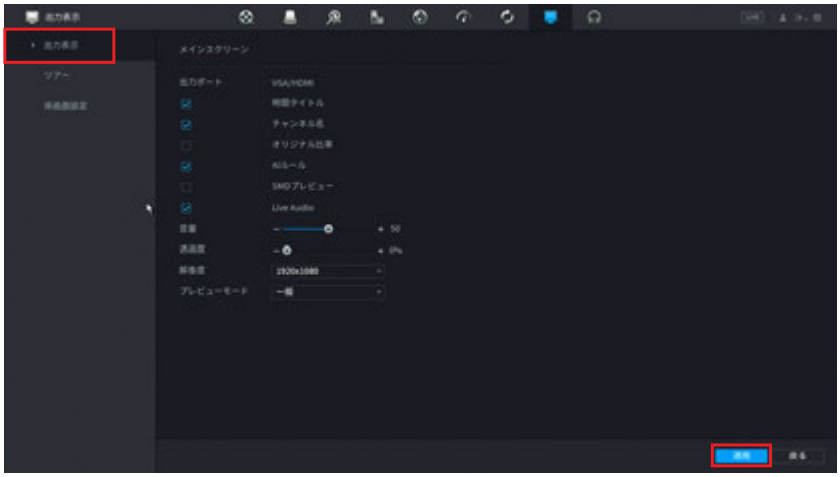
⑤ フォーマットが完了すると確認画面が表示されるので、［OK］をクリックします。

出力表示

設定画面を開くには、メインメニュー画面の をクリックして２ページ目を表示し、
［出力表示］をクリックします。

出力表示

管理画面の画面表示を設定をします。

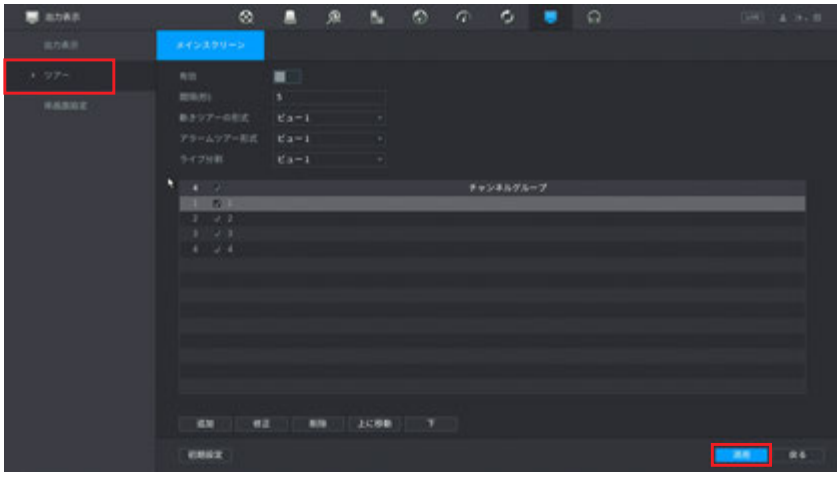


項目	内容
出力ポート	メイン画面のポートを表示します。
時間タイトル	ライブビュー映像表示画面にレコーダーの時刻を表示します。
チャンネル名	ライブビュー映像表示画面にチャンネル名とイベントアイコンを表示します。
オリジナル比率	ビデオ画像がチャンネルウィンドウに実際のサイズで表示されます。
AI ルール	SMART 検出機能で設定したエリアをライブビュー画面に表示します。
SMD プレビュー	最大で 3 つの SMD ボックスを同時に表示できます。
Live Audio	ライブビュー画面のチャンネルウィンドウでの、オーディオ調整機能を有効にします。
音量	スライダーを動かして、ライブオーディオの音量を調整します。（初期値：50）
透過度	グラフィカルユーザーインターフェイス（GUI）の透過性を構成します。 値が大きいほど、GUI の透明度が高くなります。
解像度	管理画面の解像度を選択します。 ［8ch の場合　1920 × 1080 ／ 1280 × 1024（初期値）／ 1280 × 720］ ［4ch の場合　1920 × 1080 ／ 1280 × 1024（初期値）］
プレビューモード	**一般（初期値）**：通常の表示です。 **顔リスト表示**：ライブビュー画面の下に顔リストのビューが表示されます。

設定した内容を反映するには［OK］をクリックします。

ツアー

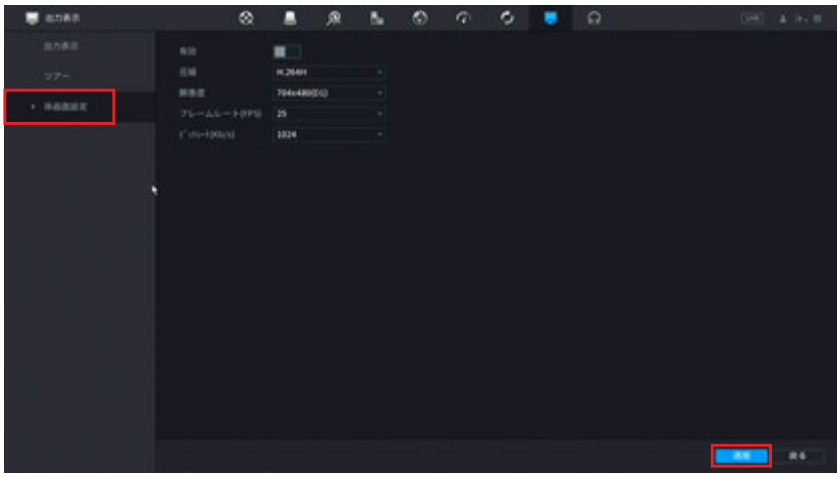
ツアー時の画面表示を設定します。



ツアーの設定方法については「ツアー表示機能を使う」（➡ 73 ページ）をご参照ください。
設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

孫画面設定

Web 管理画面で表示する際、1 つのチャンネルで複数のビデオソースを表示できるよう設定します。



項目	内容
有効	チェックすると、孫画面が有効になります。（初期値：無効）
圧縮	デバイスの機能に応じてビデオ圧縮規格を選択します。（初期値：H.264H）
解像度	孫画面の解像度を選択します。 ［704 × 480（D1）（初期値）／352 × 480（HD1）／704 × 240（BCIF）／352 × 240（CIF）］
フレームレート（FPS）	1 秒あたりのフレーム数を設定します。数値が大きいほど滑らかな映像になります。 ［1 ～ 30（初期値：25）］
ビットレート（Kb/s）	1 秒あたりの転送ビット数値を選択します。 ※ 設定可能範囲は選択している解像度により異なります。

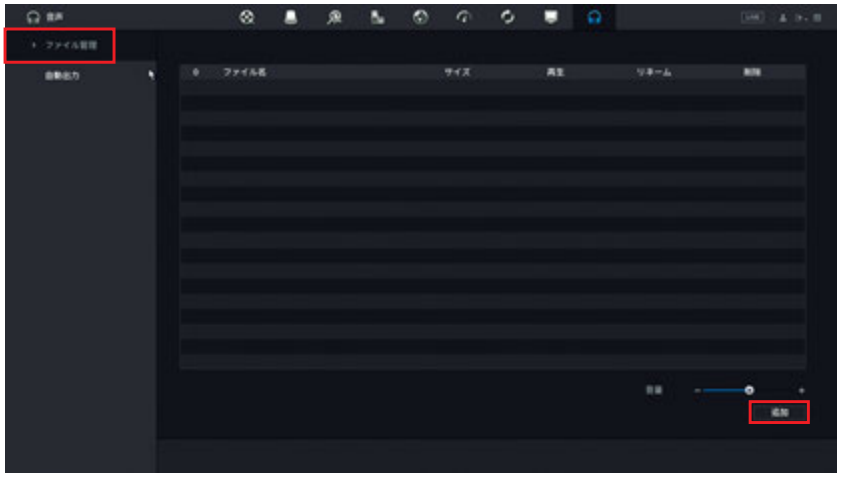
設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

音声

設定画面を開くには、メインメニュー画面の をクリックして２ページ目を表示し、
［音声］をクリックします。

ファイル管理

音声ファイルの追加や削除、設定を行います。



設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

音声ファイルを読み込む

音声ファイルを保存したUSBストレージデバイスからデータを読み込みます。
（音声ファイルの形式はMP3のみ対応）

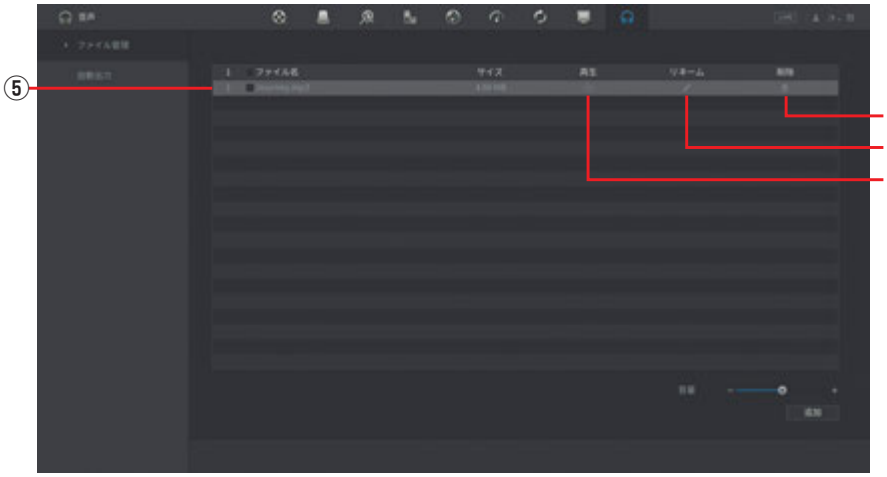
①音声ファイルが保存されたUSBメモリをレコーダーのUSB端子に接続します。
USBメモリが認識されると以下の画面が表示されるので、右クリックで画面を閉じます。

②画面右下の［追加］をクリックすると、USBメモリのデバイス情報画面が表示されます。
※表示されない場合は［リフレッシュ］をクリックしてください。

③読み込みたい音声ファイルの□（チェックボックス）に✓（チェック）を入れ、[OK]をクリックします。

④読み込みに成功すると確認画面が表示されるので、[OK]をクリックします。

⑤元の画面に戻りますので、選択した音声ファイルがリストに表示されていることを確認します。



音声ファイルを削除します。
音声ファイルの名前を変更できます。
音声ファイルを試聴できます。
クリックするたび再生･停止を繰り返します。

自動出力

カメラに接続したスピーカーなどから、設定した内容で音声ファイルを出力することができます。
（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）

※あらかじめ音声ファイルを読み込んでおく必要があります。
➡ 160 ページ「音声ファイルを読み込む」

項目	内容
期間	音声出力を行う時間帯を設定します。
ファイル名	音声出力を行うファイルを選択します。
間隔	繰り返し出力を行う場合、出力の間隔（分）を設定します。（初期値：60 分）
繰り返す	繰り返し出力を行う場合、繰り返す回数を設定します。
出力ポート	音声出力を行う出力ポートを選択します。

設定した内容を反映するには［適用］をクリックします。

設定―ブラウザから Web 管理画面にアクセスする

Web 管理画面について

本製品の管理画面は、LAN 経由でパソコン上のウェブブラウザからアクセスすることもできます。

1 管理用 PC で InternetExplorer を開き、以下のページを表示します。

http://192.168.1.108（初期 IP アドレス）

●管理用 PC の IP アドレスを「192.168.1.100」など同じネットワークセグメント内に設定し、ブラウザから上記アドレスにアクセスしてください。

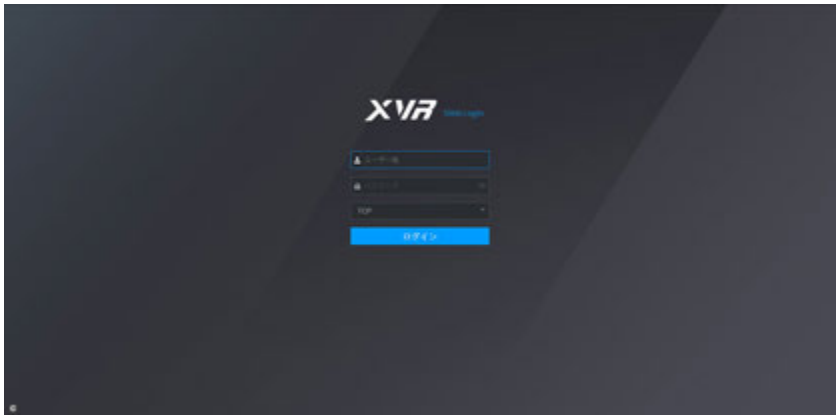
ルーターなど DHCP サーバー機能がある機器を接続すると、「192.168.1.108」ではアクセスできなくなります。その場合は、本製品に割り振られている IP アドレスを入力してアクセスしてください。

本製品の IP アドレスを確認する場合は、本製品とモニターを HDMI ケーブルで接続し、ログインします。

ライブビュー画面でライブビュー表示の映像を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。「メインメニュー」→「ネットワーク」で「TCP/IP」を表示します。IP アドレス欄に記載されている値が、本製品の IP アドレスとなります。

2 ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。

※３番目の欄は TCP のままログインしてください。



●admin ユーザーで複数の PC からでもログインすることができます。
この場合、設定変更などを保存する場合には、最後に保存した人の設定が有効になります

●Web 管理画面にログインするためのパスワードは、モニター管理画面と共通です。すでに変更済みの場合は、変更されたパスワードを入力してください。

3 プラグインのインストールについて

初めてライブビューを表示する場合、「プラグインをインストールしてください！」というメッセージが表示されます。クリックしてインストールしてください。

①「webplugin.exe を実行または保存しますか？」と表示されたら、「実行（R)」をクリックします。

②「実行しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

設定メニューについて

メインメニュー画面

メインメニュー
（1ページ目）

をクリックしてページを切り替えます。

メインメニュー
（2ページ目）

（マウスのホイールでも切り替えることができます。）

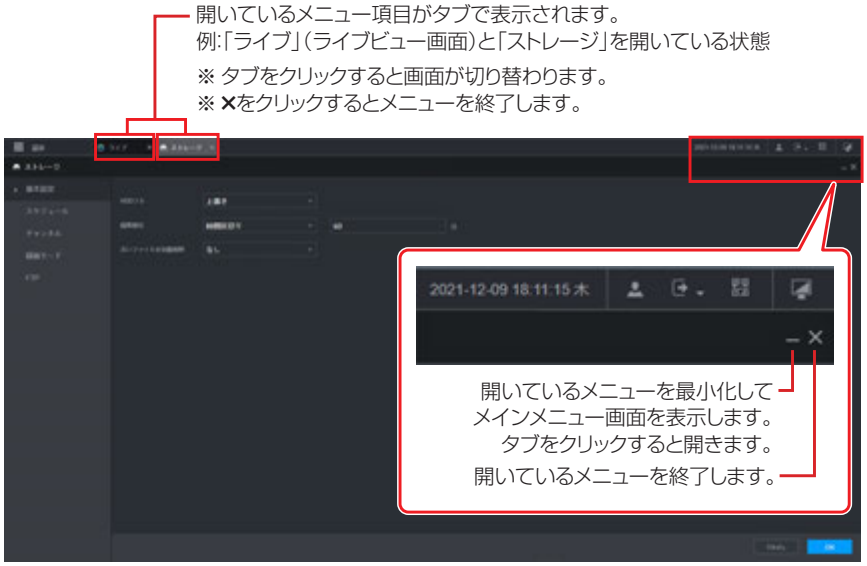
メニュー項目	内容	ページ
1 ページ目		
ライブ	ライブビュー画面を表示します。	166 ページ
検索	録画映像を検索し、映像の再生を行います。	38 ページ
アラーム	アラーム入／出力の設定やシステムの警告などを設定します。	130 ページ
SMART 検出	解析内容の設定を行います。	137 ページ
POS	（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）	—
IoT		
2 ページ目		
メンテナンス	録画状態や本システムの状態、システム設定の復元／初期化、本システムのアップデートなどを行います。	146 ページ
バックアップ	バックアップの設定を行います。	154 ページ
出力表示	解像度などの表示設定を行います。	157 ページ
音声	音声に関する設定を行います。	159 ページ
設定メニュー（ページ左上「設定」クリックで表示）		
カメラ	映像の設定やカメラの操作を行います。	78 ページ
ネットワーク	IP アドレスなど、ネットワークの設定を行います。	89 ページ
ストレージ	録画スケジュールやハードディスクの設定を行います。	101 ページ

メニュー項目	内容	ページ
システム	本製品のシステム設定を行います。	110 ページ
IP フィルタ	ネットワークのセキュリティ設定を行います。	113 ページ
アカウント	アカウントに関する設定を行います。	124 ページ

メニュー画面の基本操作

メニューを開く・閉じる

PC のウェブブラウザと同じように、各メニュー項目はタブで開きます。複数のメニューを開いた状態でタブを切り替えて表示したり、タブを閉じることでメニューを終了したりすることができます。

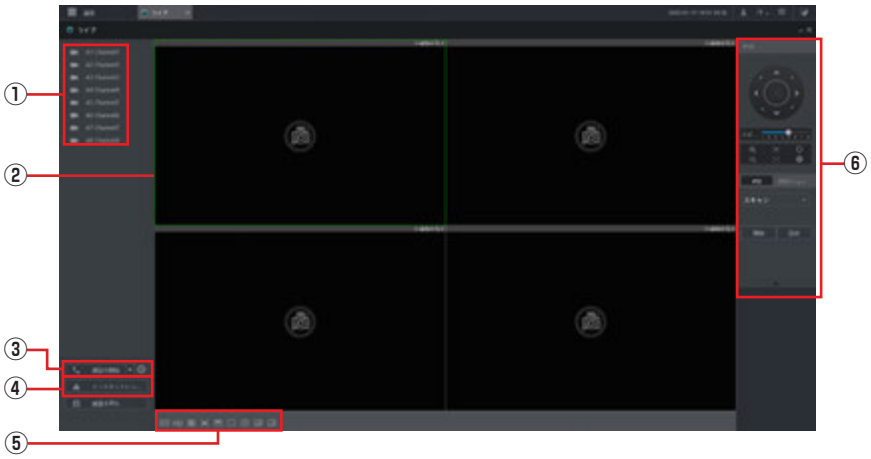


その他の表示・操作

番号	項目	内容
①	日付	現在の日付と時刻を表示します。
②	ログイン アカウント名	マウスのカーソルを合わせると、現在ログインしているアカウント名を表示します。
③	ログアウト／ 再起動／ シャットダウン	選択した終了動作（ログアウト／再起動／シャットダウン）を行います。
④	リモート コントロール情報	遠隔でレコーダーの映像の表示、録画映像の再生、設定変更を行う際に必要な情報（QR コード）を表示します。 ※「P2P」（➡ 100 ページ）
⑤	デスクトップに 戻る	メインメニューを表示します。

ライブビュー画面

ライブビューにカメラ画像を表示するには、ライブビューの枠内をクリックし、枠が緑に選択されている状態で、カメラ選択リストのチャンネルをクリックしてください。



※ ご使用の環境により、ライブビュー画面に切り替わった直後に、4ch モデルにもかかわらず 8 分割の画面が表示される場合があります。
その場合は、数秒後に正常な４分割の画面に切り替わりますので、そのままお待ちください。

番号	項目	内容
①	**カメラ選択リスト**	ライブビューに表示するカメラをクリックして選択することができます。 ※ カメラの右側のプルダウンメニューでメインストリームとサブストリームの選択ができます。 接続中の同軸カメラです。 未接続の同軸カメラです。
②	**ライブビュー**	本製品に接続している同軸カメラのライブビューが表示されます。
③	**通話の開始**	（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）
④	**インスタントレコード**	すべてのチャンネルの手動録画を行います。

<table>
<tr><th>番号</th><th>項目</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>⑤</td><td>画面表示</td><td>
<table>
<tr><td> </td><td>画面比率を変更します。(※)</td></tr>
<tr><td> </td><td>画質を変更します。(※)</td></tr>
<tr><td> </td><td>(本製品ではこの機能をサポートしておりません。)</td></tr>
<tr><td> </td><td>全画面表示にします。右クリックで元に戻ります。</td></tr>
<tr><td> </td><td>(本製品ではこの機能をサポートしておりません。)</td></tr>
<tr><td> </td><td>1 画面のみ表示します。</td></tr>
<tr><td> </td><td>4 分割表示します。
(8ch モデルでは4チャンネルのみ選択･表示します)</td></tr>
<tr><td> </td><td>6 分割表示します。(※)
(4ch モデルにはこの機能はありません。8ch モデルでは 6 チャンネルのみ選択・表示します。)</td></tr>
<tr><td> </td><td>8 分割表示します。(※)
(4ch モデルにはこの機能はありません。)</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑥</td><td>PTZ コントロールパネル</td><td>PTZ 制御パネルを表示します。電動可変焦点同軸カメラ CCE3CDZ1、CCE3CBZ1 の 2 機種は、ズーム制御・フォーカス調整を行うことができます。(パン制御、チルト制御は将来の機能拡張用の設定項目となります。現在はご利用になれません。)</td></tr>
</table>

(※): Webブラウザの Google Chrome または、Microsoft Edge は非対応のため、表示されません。
なお、Microsoft Edge をご利用の場合、Internet Explorer（IE）モード を有効にすることでご利用可能です。

メニュー一覧

Web ブラウザ上で本製品の設定を行います。設定内容はモニター管理画面とほぼ同じです。
※ 詳細な説明については下表に記載されているモニター管理画面の各説明ページをご参照ください。

設定メニュー

●カメラ

メニュー項目		内容	ページ
画像		映像の画像設定を行います。	78 ページ
エンコード	音声／ビデオ	音声・ビデオのエンコード設定を行います。	80 ページ
	スナップショット	スナップショット画像のサイズや画質を設定します。	82 ページ
	オーバーレイ	録画映像上に表示される文字の設定を行います。	83 ページ
	保存先	スナップショット、録画の保存先を設定します。	—
PTZ		パン・チルト・ズーム機能を設定します。	86 ページ
チャンネルタイプ		IP カメラの入力チャンネルの追加、またはチャンネルごとに入力できるカメラ信号を設定できます。	87 ページ

●ネットワーク

メニュー項目		内容	ページ
TCP/IP		TCP/IP の設定をします。	89 ページ
ポート		ポートの設定をします。	90 ページ
Wi-Fi		（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）	91 ページ
3G/4G	3G/4G	（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）	92 ページ
	モバイル設定	（本製品ではこの機能をサポートしておりません。）	—
PPPoE		PPPoE の設定をします。	93 ページ
DDNS		DDNS の設定をします。	94 ページ
UPnP		ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。	95 ページ
電子メール		アラーム発生時に送信する E メールの設定をします。	96 ページ
SNMP		SNMP を使用して本製品と通信し、情報を取得します。	97 ページ
マルチキャスト		本製品に接続する Web クライアントの数が多いときは、マルチキャストを使用することができます。	98 ページ
アラームセンター		設定を有効にすると、指定のサーバーに自動で送信します。	99 ページ
自動登録		デバイスを容易にするためのプロキシサーバーを登録します。	99 ページ

メニュー項目	内容	ページ
P2P	P2P の設定をします。	100 ページ

●ストレージ

メニュー項目		内容	ページ
基本設定		ストレージの基本的な設定をします。	101 ページ
スケジュール	録画	録画のスケジュールを設定することができます。	102 ページ
	スナップショット	スナップショットのスケジュールを設定することができます。	102 ページ
チャンネル		接続している HDD のフォーマットが行えます。	103 ページ
録画モード		チャンネルごとのメインストリーム・サブストリーム録画、およびスナップショットの録画設定（自動·手動·無効）を確認、設定できます。	104 ページ
FTP		録画した映像とスナップショットを FTP サーバーに保存して表示できます。	108 ページ

●システム

メニュー項目		内容	ページ
一般設定	基本設定	システムの基本的な設定をします。	110 ページ
	日付時刻	本システムの時刻を設定します。	111 ページ
	休日設定	休日を定義します。定義した休日は、録画スケジュールを設定するときに利用します。	112 ページ

●IP フィルタ

メニュー項目		内容	ページ
セキュリティステータス		レコーダーのセキュリティ設定状態を把握することができます。	113 ページ
システムサービス	基本サービス	レコーダーのセキュリティの基本情報を設定できます。	114 ページ
	802.1x	802.1x の基本情報を設定できます。	115 ページ
	HTTPS	HTTPS の基本情報を設定できます。	115 ページ
攻撃防御	ファイアウォール	送信元ホストがデバイスの対応するポートへアクセスできるかどうかを、リストで表示します。	116 ページ
	アカウントロックアウト	ログインに失敗したときのロックに対する試行回数とロック時間を設定します。	117 ページ
	アンチ DoS 攻撃	SYN フラッド攻撃防御と ICMP フラッド攻撃防御を有効にして、レコーダーを DoS 攻撃から防御できます。	117 ページ
	時間ホワイトリストを同期する	時刻同期を操作できるホストを設定します。	118 ページ
CA 証明書	デバイス証明書	デバイス証明書を作成またはインポートします。	119 ページ
	信頼のある CA 証明書	信頼できる CA 証明書をインストールします。	120 ページ
A/V 暗号化	音声／ビデオ送信	データ送信中のオーディオとビデオの暗号化を設定します。	121 ページ
セキュリティ警告	セキュリティ異常	デバイスのセキュリティに問題が発生した場合の設定ができます。	122 ページ
	不正ログイン	外部からの不正ログインに対する設定ができます。	123 ページ

●アカウント

メニュー項目		内容	ページ
アカウント	ユーザー	ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。	124 ページ
	グループ	ユーザーが属するグループを追加、削除します。	127 ページ
ONVIF ユーザー		ONVIF ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。	128 ページ
パスワードリセット		パスワードリセットに関する設定をします。	129 ページ

メインメニュー（1 ページ目）

●ライブ

メニュー項目	内容	ページ
ライブ	ライブビュー画面を表示します。	166 ページ

●検索

メニュー項目	内容	ページ
検索	録画映像の検索・再生画面を表示します。	38 ページ

●アラーム

メニュー項目		内容	ページ
アラーム情報		各種アラーム、顔検出、インテリジェンス機能のイベントログを検索し、確認できます。	130 ページ
アラーム入力ポート		アラーム入力を設定します。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）	131 ページ
アラーム出力ポート		アラーム出力を設定します。 （本製品ではこの機能をサポートしておりません。）	131 ページ
ビデオ検出	動体検知	動体を検知したときにアラームを出力する、動体検知の設定をします。	132 ページ
	ビデオロス	カメラからの映像信号が失われたときにアラームを出力する、ビデオロスの設定をします。	132 ページ
	マスキング	カメラが覆われたときにアラームを出力する、マスキングの設定をします。	133 ページ
	ビデオ診断	カメラからの映像にボケや露出過多などの異常が検知されたときにアラームを出力する、ビデオ診断の設定をします。	133 ページ
異常処理	HDD	本機の内蔵ハードディスクに異常が検知されたときにアラームを出力します。	134 ページ
	ネットワーク	本機に接続した外部ネットワーク機器の異常が検知されたときにアラームを出力します。	135 ページ
解除		設定した各種アラームを一括解除できます。	136 ページ

●SMART 検出

メニュー項目		内容	ページ
インテル検索	SMD	SMD ／顔検出／ IVS 情報を検索し、確認できます。	137 ページ
	顔		
	IVS		
パラメータ	SMD	動体検知で検知する対象を、人物または車両のみに絞って判別します。	138 ページ
	顔	画面内の顔を検知して録画を行います。	140 ページ
	IVS	画面内に任意の基準線や基準領域を設定して動体検知を行います。	142 ページ

●POS

本製品ではこの機能をサポートしておりません。

●IoT

本製品ではこの機能をサポートしておりません。

メインメニュー（2 ページ目）

●メンテナンス

メニュー項目		内容	ページ
ログ		ユーザーが実行した操作とデバイスのステータスの履歴を表示します。	146 ページ
システム情報	バージョン	システムの基本情報を表示します。	147 ページ
	HDD 情報	ハードディスクの状態を表示します。	147 ページ
	チャンネル情報	各チャンネルに接続されているカメラ情報を表示します。	148 ページ
ネット情報	オンラインユーザー	現在管理画面ログインしているユーザーを表示します。	149 ページ
管理者	メンテナンス	指定した時間にレコーダーを自動的に再起動したり、ファンの動作を制御する設定を行います。	150 ページ
	インポート／エクスポート	システム設定内容のバックアップを行います。	150 ページ
	初期設定	設定をデフォルトあるいは工場出荷時の設定に戻します。	153 ページ
	アップデート	システムのアップデートや、バージョン No を確認することができます。	153 ページ

●バックアップ

メニュー項目	内容	ページ
バックアップ	バックアップの設定をします。	154 ページ

●出力表示

メニュー項目		内容	ページ
出力表示		管理画面の画面表示を設定をします。	157 ページ
ツアー	**メイン スクリーン**	ツアー 時の画面表示を設定します。	158 ページ
孫画面設定		Web 管理画面で表示する際、1 つのチャンネルで複数のビデオソースを表示できるよう設定します。	158 ページ

●音声

メニュー項目	内容	ページ
ファイル管理	音声ファイルの追加や削除、設定を行います。	159 ページ
自動出力	カメラに接続した外部マイクなどから、設定した内容で音声ファイルを出力することができます。	161 ページ

その他—こんなときは

共通

カメラを本製品に接続しても認識されない

●接続カメラの確認をしてください。「チャンネルタイプ」（➡ 87 ページ）
・モニター管理画面：［カメラ］—［チャンネルタイプ］
・Web 管理画面：［カメラ］—［チャンネルタイプ］

●接続状況を確認してください。「チャンネル情報」（➡ 148 ページ）
・モニター管理画面：［メンテナンス］—［システム情報］—［チャンネル情報］
・Web 管理画面：［メンテナンス］—［システム情報］—［チャンネル情報］

ライブビューに映像が表示されない

●映像の解像度を下げてください。「エンコード」（➡ 80 ページ）
・モニター管理画面：［カメラ］—［エンコード］
・Web 管理画面：［カメラ］—［エンコード］

●ライブビューの表示にサブストリームを使用します。
・モニター管理画面：サブストリームは使用できません。
・Web 管理画面：「カメラ選択リスト」（➡ 166 ページ）

●ライブビュー画面でカメラの切り替えができない
➡ダブルクリックで表示させたシングルウィンドウ（1 画面表示）の時に「前」「次」ボタンがクリックできない場合、カメラウィンドウ下にある画面分割ボタンで再度 1 画面表示へ切り替えてください。

ライブビューは表示されているが録画が見つからない

●録画スケジュールが正しく設定されているか確認してください。「録画」（➡ 102 ページ）
・モニター管理画面：［ストレージ］—［スケジュール］
・Web 管理画面：［ストレージ］—［スケジュール］

●本製品に設定されている時間とタイムゾーンが正しいか確認してください。「時刻」（➡ 111 ページ）
・モニター管理画面：［システム］—［一般設定］—［日付時刻］
・Web 管理画面：［システム］—［一般設定］—［日付時刻］

●ハードディスクが正常に動作しているか確認してください。「HDD 情報」（➡ 147 ページ）
・モニター管理画面：［メンテナンス］—［システム情報］—［HDD 情報］
・Web 管理画面：［メンテナンス］—［システム情報］—［HDD 情報］

●録画データが上書きされていないか確認する。「ストレージ」（➡ 101 ページ）
HDD の残り容量がなくなったときに録画データを上書きする設定になっていると、もっとも古いデータから上書きされます（ファイル単位でデータを削除）。
・モニター管理画面：［ストレージ］―［基本設定］
・Web 管理画面：［ストレージ］―［基本設定］

動体検知がうまく働かない

●動体検知の設定を確認してください。「動体検知」（➡ 58 ページ）
・モニター管理画面：［アラーム］―［ビデオ検出］―［動体検知］
・Web 管理画面：［アラーム］―［ビデオ検出］―［動体検知］

マウスが動かない

●付属のマウスを使用してください。
●USB 延長ケーブルを使用している場合は、直接本製品に接続してください。
●マウスが故障している可能性もあります。他の USB タイプのマウスに交換してお試しください。
●一度レコーダーの電源を切り、再度電源を入れてください。この時、VGA または HDMI のモニターがレコーダーに接続されていることを確認してください。

キーボードから文字入力ができない

●USB 接続等の外部キーボードは、本製品に接続しても利用できません。
文字の入力を行う際は、画面に表示されるソフトキーボードをマウスでクリックして入力してください。

カメラの Web 管理画面で設定した設定値とは異なる設定値がレコーダーの設定画面に表示されている

●本製品とカメラを組み合わせて使用する場合には、デジタルビデオレコーダーでのみ設定の変更を行ってください。

バックアップした録画データを Windows 付属のプレイヤーで再生できない

●本製品からバックアップした映像データは、カメラの「エンコード - ビデオ圧縮」で選択した圧縮形式（H.264（MPEG-4）または H.265（MPEG-H））で出力されます。
下記アプリで H.265 形式の動画を再生する場合には、Microsoft 社のホームページから「HEVC ビデオ拡張機能」をインストールしてください。
・Windows Media Player
・Windows 10　映画&テレビアプリ

＜マイクロソフト社：デバイス製造元からの HEVC ビデオ拡張機能＞
https://www.microsoft.com/ja-jp/store/p/hevc-videoextension/9n4wgh0z6vhq

USB デバイスで、ファイルフォルダが認識できない

●USB デバイスのファイルフォルダ名が、日本語などの 2 バイトコードの場合は認識できません。1 バイトコードの文字でファイルフォルダを作成してください。

モニターに画面が映らない

●デジタルビデオレコーダーの初期出力解像度は 1920 × 1080/60Hz です。
接続するモニターが上記解像度に対応していない場合は、接続する前にデジタルビデオレコーダーの出力解像度を設定してください。（157 ページ「画面表示」参照）

●Web 管理画面からモニター出力解像度を変更する

①ネットワーク端子に LAN ケーブルで PC を接続します（13 ページ参照）。

②PC のウェブブラウザでデジタルビデオレコーダーの Web 管理画面にログインします（163 ページ参照）。

③［出力表示］―［出力表示］の「解像度」を、デジタルビデオレコーダーに接続しているモニターが対応している解像度に変更します。

画面がはみ出して切れた状態で表示される

●TV 側の映像設定によっては、レコーダーからの映像が一部表示されない状態になります。
TV のオーバースキャン機能（従来のテレビ方式との互換性を持たせるために、画面の周囲を表示しない機能）によるものです。
ジャストスキャンまたはアンダースキャン等へ設定変更してください。（設定方法について詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください）
また、レコーダー側の出力（画面表示解像度）は、お使いのテレビの画素数（水平×垂直）に近い解像度を選択してください。「出力表示」（➡ 157 ページ）

本製品の PoE 端子につながれた同軸カメラにネットワーク端子側のパソコンからアクセスできない

●パソコンから、同軸カメラへ直接アクセスすることはできません。
同軸カメラの管理画面にアクセスするときは、デジタルビデオレコーダー管理画面、Web 管理画面共に［カメラ］画面からアクセスしてください。「カメラ」（➡ 78 ページ）

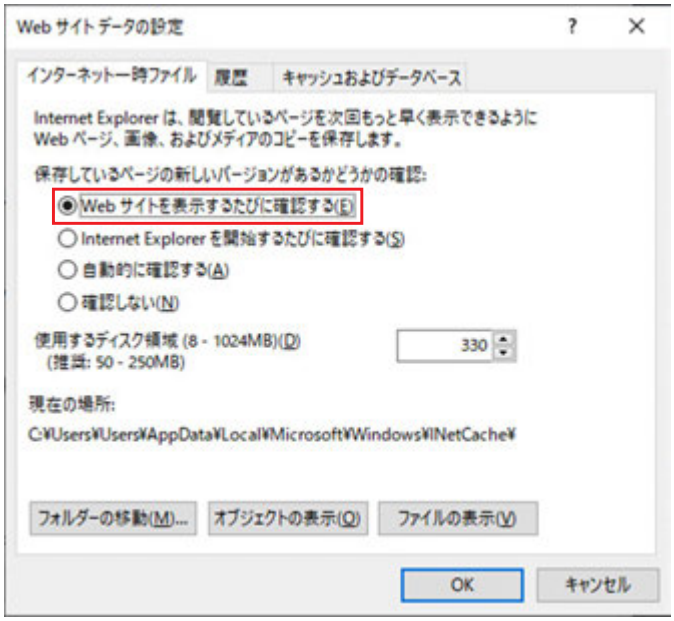
Web 管理画面

Web プラグイン（ActiveX）を読み込めない

●プラグインのインストールが始まったら、ブラウザを閉じてください。

●ファイアウォールを無効にして、ウイルス対策プログラムを停止してください。

●Web ページにアクセスするたびに、ブラウザが新しいバージョンのページがあるか確認する設定にします。
① Internet Explorer 設定メニューの［インターネットオプション］をクリック。
② ［全般］ — ［設定］ — ［インターネット一時ファイル］画面で［Web サイトを表示するたびに確認する］を選択。



ライブビューが表示されない

ライブビュー画面上の映像情報で、ビットレートが［0Mbps］になっていないか確認してください。

0Mbps になっている場合

ファイアウォールを無効にし、ウイルス対策プログラムを停止してください。

0Mbps ではない場合

パソコンのグラフィックカードドライバが正しく機能しているか確認し、必要な場合はドライバを再インストールしてください。

ライブビュー画面でカメラの切り替えができない

ダブルクリックで表示させたシングルウィンドウ表示（1 画面表示）のときに、「前」「次」ボタンがクリックできない場合は、カメラウインドウ下にある画面分割ボタンで、再度シングルウィンドウ表示（1 画面表示）に切り替えてください。

その他—付録編

使用上のご注意

〈対応同軸カメラ〉

本製品は、DX アンテナ製の CCE3C シリーズの同軸カメラに対応しています。

〈本製品について〉

- 設置設定後の環境の変化などにより正常な動作が行われない場合があります。
- 電源は常時 100V が確保できるコンセントを使用してください。
- 本製品設置時、他機器など重ね置きなどせず十分なスペースに設置してください。（熱による不具合などの防止の為）
- HDD の交換は行わないでください。データ紛失、不具合などの原因となります。
- 高所から落下した場合、破損や故障の原因になります。

〈お手入れ時〉

- お手入れするときは電源をオフにしてください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。変色などの原因になります。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

〈使用・取り扱いについて〉

- 高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤作動する場合があります。
- 通気口をふさいで使用しないでください。故障の原因になります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用すると、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離して使用してください。
- 長期間の使用に関して、安全にお使い頂くために専門業者による定期点検をお願いします。長期間使用すると外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障、事故につながることがあります。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられており、ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますので、ご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- 本製品の取り扱いは慎重にお願いいたします。落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。破損や故障の原因になります。
- 本体に強い衝撃や振動を与えると、破損や故障の原因になります。
- ご利用のネットワーク環境、被写体、アクセス数により、画像更新速度が遅くなることがあります。
- 動きの速い物体を写した場合には、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。
- カメラの解像度を 4 対 3 の比率になる設定にした場合、映像は左右方向が圧縮され縦長に表示されます。

〈データの取り扱いについて〉

- 外的要因により、まれに録画できなくなる場合が発生します。随時、録画状態の確認をしてください。
- 本製品に記録された情報内容と、本製品とともに使用する記憶媒体に記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合がございます。本製品が廃棄、譲渡、修理などで第 3 者に渡る場合には、その取り扱いに十分にご注意ください。
- 万一、本製品内のデータが消失した場合、データの復旧につきましては、弊社ではいかなる保証もいたしかねます。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

設置上のご注意

〈設置場所について〉

●本製品は、屋内専用です。屋外での使用はできません。長時間直射日光の当たるところや、冷房・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態で使用してください。

●照明、火災報知機、誘導灯などの既設設備の妨げにならないように設置してください。

●以下のような場所での設置および使用はできません。
直射日光の当たる場所／プールなど、薬剤を使用する場所／厨房などの湿気、蒸気、油分の多い場所／溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所／放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所／海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所／使用温度範囲を超える場所／車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）／ほこりの多い場所

〈設置作業前の注意〉

●当社の同軸カメラおよびデジタルビデオレコーダーをご使用になるネットワーク回線を、他の目的（一般業務用など）のネットワーク回線と混在してご利用いただくことは、保証いたしません。

〈雷に対する保護に関する注意〉

●LANケーブルを使って本機をネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

〈電波障害に関する注意〉

●テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

〈時刻設定に関する注意〉

●時刻の設定については、本書の「時刻」（➡ 111 ページ）をお読みください。

〈使用しなくなった際の注意〉

●本製品を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

このマニュアルについて

●このマニュアルの著作権は、DX アンテナ株式会社が所有しています。
●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
●このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
●Microsoft、Windows は米国 MicrosoftCorporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名／社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における ® および TM は省略させていただきました。

動作環境

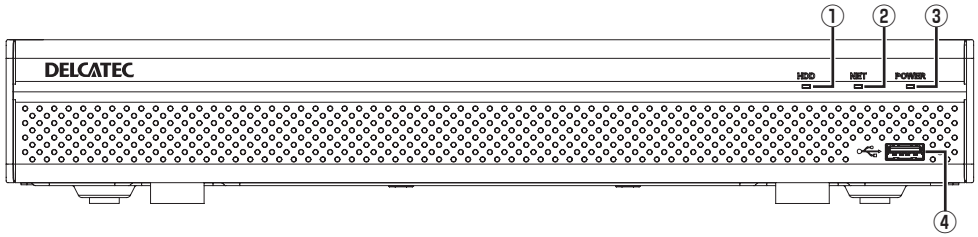
Web ベースの管理画面、次の環境のみサポートしています。

対応 OS	Windows 10
対応ブラウザ	Internet Explorer11

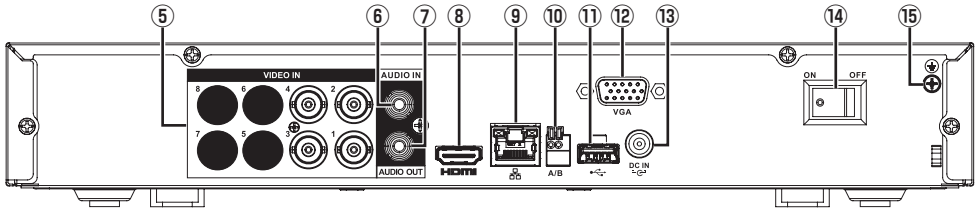
各部の名称とはたらき

■ CCE3R421・CCE3R441・CCE3R461

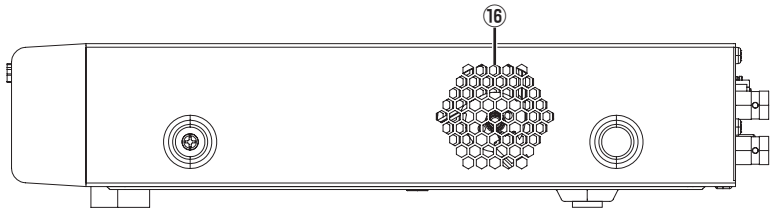
本体正面



本体背面



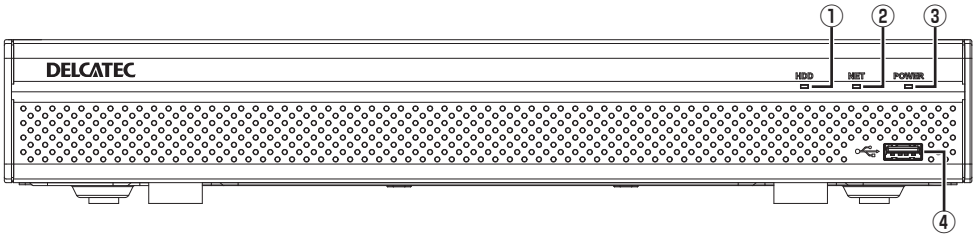
本体側面



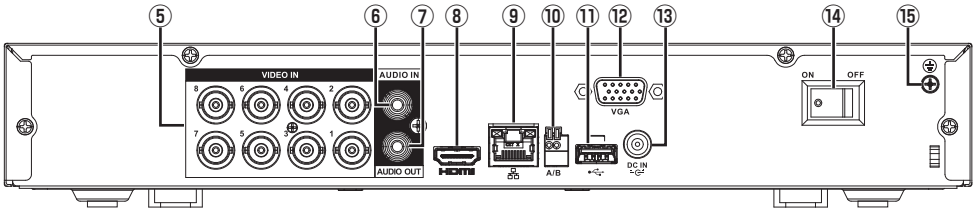
① HDD ランプ	点灯：ハードディスクに異常がある 点滅：データを読み込み／書き込み中
② NET ランプ	点灯：ネットワークに接続中
③ POWER（電源）ランプ	点灯：正常動作中 点滅：起動中
④ USB 端子	操作用のマウス、または USB ストレージデバイスを接続します。
⑤ VIDEO IN 端子	PoC 給電に対応した端子です。同軸カメラを接続します。
⑥オーディオ入力	音声入力端子です。
⑦オーディオ出力	音声出力端子です。
⑧ HDMI 出力端子	モニターと HDMI 接続して本製品の管理画面を表示します。
⑨ネットワーク端子	LAN ケーブルを接続します。
⑩ RS-485 通信ポート	PTZ などの制御装置に接続します。
⑪ USB 端子	操作用のマウス、または USB ストレージデバイスを接続します。
⑫ VGA 出力端子	モニターと VGA 接続して本製品の管理画面を表示します。
⑬ DC 入力端子	電源アダプターを接続します。
⑭電源スイッチ	電源のオン / オフを切り替えます。
⑮アース端子	アース線を接続します。
⑯排気口	使用中はふさがないでください。

■ CCE3R841・CCE3R881

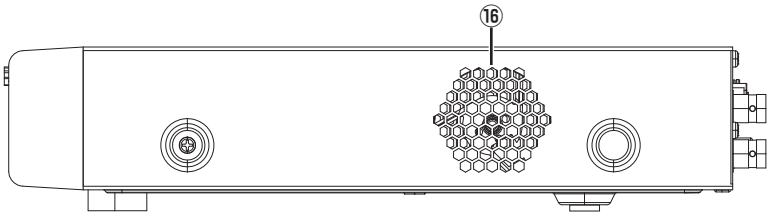
本体正面



本体背面



本体側面



① HDD ランプ	点灯：ハードディスクに異常がある 点滅：データを読み込み／書き込み中
② NET ランプ	点灯：ネットワークに接続中
③ POWER（電源）ランプ	点灯：正常動作中 点滅：起動中
④ USB 端子	操作用のマウス、または USB ストレージデバイスを接続します。
⑤ VIDEO IN 端子	PoC 給電に対応した端子です。同軸カメラを接続します。
⑥オーディオ入力	音声入力端子です。
⑦オーディオ出力	音声出力端子です。
⑧ HDMI 出力端子	モニターと HDMI 接続して本製品の管理画面を表示します。
⑨ネットワーク端子	LAN ケーブルを接続します。
⑩ RS-485 通信ポート	PTZ などの制御装置に接続します。
⑪ USB 端子	操作用のマウス、または USB ストレージデバイスを接続します。
⑫ VGA 出力端子	モニターと VGA 接続して本製品の管理画面を表示します。
⑬ DC 入力端子	電源アダプターを接続します。
⑭電源スイッチ	電源のオン / オフを切り替えます。
⑮アース端子	アース線を接続します。
⑯排気口	使用中はふさがないでください。

パソコンの IP アドレスの確認方法

本製品の管理画面にアクセスできない場合に、本製品の管理画面に接続するパソコンの IP アドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。
ここで説明している IP アドレスの確認方法は、本製品に接続する有線クライアントおよび無線 LAN 子機の IP アドレスを確認するときにも使用できます。
※本製品には DHCP サーバー機能はないため、パソコンには IP アドレスを割り当てません。

Windows10 の場合

1 **［スタート］→［Windows Powershell］→［Windows Powershell］をクリックします。**

2 **「Windows Powershell」画面が表示されますので、「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、［Enter］キーを押します。**

入力する文字は半角英数字です。
●「"xxx" は、内部コマンド ･･･」と表示された場合は、入力間違いです。もう一度入力してください。

ネットワーク接続情報が表示されます。
有線 LAN 接続は「イーサネットアダプターローカルエリア接続」、無線 LAN 接続は「Wireless LAN adapter ワイヤレスネットワーク接続」の「IPv4 アドレス」に現在の IP アドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます（xxx は任意の数字）。

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。（https://qa.dxantenna.co.jp/faq_detail.html?id=1015）

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。This product is designed for use in japan only.No technical support is available in foreignlanguagesotherthan Japanese.

カスタマーセンター
土･日･祝日もご利用ください!
DXアンテナ株式会社
ナビダイヤル
0570-033-083
※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話･PHSからもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。
(1908)
■ 受付時間 9：30～17：00（夏季・年末年始休暇は除く）
■ 一部の IP 電話で上記番号がご利用になれない場合：050-3818-9016
ホームページアドレス
https://www.dxantenna.co.jp/